

SHARP®

マルチメディアプロジェクター

形 エックスジー ピー エイチ エックス

名 **XG-PH50X**
(標準ズームレンズ付き)

形 エックスジー ピー エイチ エックス エヌ

名 **XG-PH50X-N**
(レンズなし)

取扱説明書



Conference Series

このたびはシャープマルチメディアプロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……8ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

はじめに

基本的な使いかた

設置する

接続する

試してみる

便利な機能

付録

まず

はじめに

もくじ	2	リモコンの使いかた	19
この取扱説明書の見かた	5	・リモコンの使用範囲	19
付属品について	6	・乾電池の入れかた	19
安全に正しくお使いいただくために	8	・ワイヤードリモコンの使いかた	20
使用上のご注意	13	・リモコンモードの切り換え	20
各部のなまえとはたらき	15	・リモコンをワイヤレスマウスとして使用する... 21	

基本的な使いかた

基本的な使いかた	22
----------------	----

設置する

本機を設置する	24	・反転映像を投映するとき	25
・本機の設置のしかた	24		

接続する

接続する	26	・RGBアナログ出力端子付きビデオ機器を 市販の5RCA/RGBケーブルを 使って接続する	34
・各入力端子とおもに接続する機器	26	・色差(コンポーネント)出力端子付き ビデオ機器と接続する	35
接続する機器と使用するケーブル例	27	・S映像ケーブルや映像ケーブルを 使って接続する	36
コンピュータを接続する	29	プロジェクターをコンピュータで制御する	37
・RGBケーブルを使って接続する	29	RGB入力端子付きモニターを接続する	38
・5BNC/15ピンミニD-subケーブルを 使って接続する	30	アンプやその他のオーディオ機器と 接続する	38
・DVIデジタルケーブルを使って 接続する	31		
ビデオ機器を接続する	32		
・HDMIデジタル出力端子付きビデオ 機器を市販のDVI/HDMIデジタル ケーブルを使って接続する	32		
・DVIデジタル出力端子付きビデオ機器を 市販のDVIデジタルケーブルを 使って接続する	33		

さあ

使ってみる

電源の入れかた/切りかた	39	• 入力を切り換える	47
投映のしかた	40	• 本体の音量を調整する	48
• レンズシフト機能を使って		• 出力した音声を一時的に消す	48
投映位置を調整する	40	• 画像の一部を拡大表示する	48
• アジャスターを使って		• 画像を静止状態にする	49
投映角度を調整する	41	• 投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ ...	49
• フォーカス(ピント)を調整する	42	• 入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ ...	50
• 投映画像の大きさを調整する	42	• 投映画面を黒にする(ブラックスクリーン) ...	52
• 画面の台形歪みを補正する		• 休憩時間を表示する	52
(キーストーン補正)	43		

便利な機能

メニュー内容一覧	53	• 登録した調整内容を呼び出す	69
メニュー操作のしかた	58	• 入力信号に合わせた解像度を選ぶ	
• メニュー画面で調整する	58	(特殊モード設定)	69
• メニュー画面で設定する	60	• 入力信号の情報を確認する(入力信号確認) ..	70
投映した映像を調整・設定する		• コンピュータの画面を自動調整する	
(映像調整メニュー)	62	(自動同期調整機能)	70
• 映像モードを選ぶ	62	• 自動同期調整時の画面表示機能	71
• 見やすい映像に調整する	62	出力した音声を調整・設定する	
• 色味を変える(色温度設定)	63	(音声調整メニュー)	72
• 白レベル(白伸長)を調整する	63	• 音声を調整する	72
• プログレッシブモードを選択する	64	• 音声出力を設定する(音声出力設定) ..	72
• ドットのちらつきやノイズを軽減する		• 内蔵スピーカーのオン/オフを設定する	
(DNR)	64	(スピーカー設定)	73
• INPUT 1 (入力) 1/2/3端子に接続		本機を楽しむための設定をする	
した機器の信号タイプを設定		(オプション(1)メニュー)	74
する(入力信号タイプ設定)	65	• 2つの画像を表示する(P in P)	74
カラーマネージメント機能		• 入力信号の種類によって、画像の表示を	
(C.M.S.メニュー)	66	切り換える(画面サイズ設定)	74
• カラー設定モードを選ぶ	66	• 映像を上下にシフトする(デジタルシフト) ..	75
• ユーザー設定で6色それぞれの特性を		• 画面に表示されている情報を消す	
個別に調整する対象の色を選ぶ ..	66	(OSD表示)	75
-対象色の明るさを設定する	66	• INPUT(入力) 4/5端子に接続した	
-対象色の彩度を設定する	67	機器の映像信号方式を設定する	
-対象色の色相を設定する	67	(映像信号方式設定)	76
-色の設定をリセットする	67	• 投映画像を取り込む	
-色の設定値を確認する	67	(カスタムイメージキャプチャ) ...	76
コンピュータの画面を調整・設定する		• 無信号時に投映する画面を設定する	
(同期調整メニュー)	68	(無信号時画面設定)	77
• 縦縞模様やチラツキを軽減する(同期調整) ...	68	• オープニング時に投映する画面を設定する	
• 画面調整の内容を登録する	68	(オープニング画面設定)	77

もくじ(つづき)

便利な機能

・消費電力を低減する(エコモード設定) ...	78	・2台のプロジェクターでスタック投映する ための設定を簡単に行う (簡単スタック設定)	85
・入力信号を自動的に検出する (自動入力サーチ)	78	・プロジェクターの操作ボタンをロックする (キーロック)	85
・無信号状態が続くとときに電源を自動的に待機 状態にする(無信号時自動電源オフ機能) ...	79	・使わない入力モードをスキップする (入力設定)	86
・プロジェクターを不正に使用できないよう にする(システムロック設定)	79	・RS-232Cの通信速度を設定する (RS-232C設定)	86
設置時に設定しておく便利な機能 (オプション(2)メニュー)	82	・電源が待機状態時の消費電力をおさえる (モニター出力設定)	87
・「オプション(2)」メニューを有効にするために パスワードを設定する(パスワード設定) ..	82	・電源が待機状態時の消費電力をおさえる (LAN/RS232C設定)	87
・ランプ使用時間を確認する (ランプ時間(残率))	83	・プロジェクター修理時に使う設定 (サービスモード)	88
・ランプモードを設定する(ランプモード設定) ..	83	・設定値を工場出荷状態に戻す	88
・投映環境に合わせた投映方式を選択する (投映方式設定)	84	その他の機能 (言語選択メニュー／一覧メニュー) ...	89
・複数のプロジェクターを一括制御する (スタック設定)	84	・画面に表示する言語を選択する(言語選択) ...	89
		・調整内容を一覧で確認する(一覧)	89

こんなときは

付録

PDF取扱説明書の見かた (Windows®, Macintosh®)	90	RGB入力信号(推奨信号)一覧表	98
お手入れのしかた	91	故障かな?と思ったら	100
お知らせ表示について	92	アフターサービスについて	102
ランプを交換する	94	お客様ご相談窓口のご案内	103
・ランプについて	94	仕様	104
・ランプ使用上のご注意	94	用語集	105
・ランプ交換時のご注意	94	索引	106
・ランプ交換のしかた	95		
・ランプ使用時間をリセットする	97		

XG-PH50X-N(レンズなし)/XG-PH50X(標準ズームレンズ付き)をご購入のお客様へ
別売レンズは7ページで紹介しております。用途に合わせてご購入いただきますようお願いいたします。

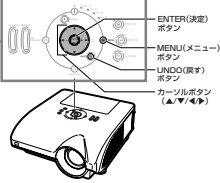
この取扱説明書の見かた

※画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なります。

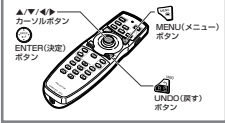
メニュー操作のしかた

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。調整は次の手順に従って行います。
(設定方法は60～61ページをご覧ください。)

使用するボタンです



使用するボタンです



メニュー画面で調整する

例: 「明るさ」を調整するとき
 ・本体のボタンを使って操作することもできます。

1 **を押す**
 ・選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 **←または→** を押し、調整するメニュー項目を選ぶ


メニュー項目

明るさ
色温度
色相
緑
青
赤
白
黒
コントラスト
ガンマ
シャドウ
ハイライト
リセット

メモ
 ・入力4または入力5のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

表示される画面です

入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例



58

お知らせ

- 特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ

- 操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをするときは

91ページ

故障かな?と思ったら

100、101ページ

索引

106ページ

付属品について

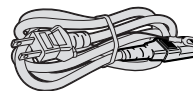
付属品



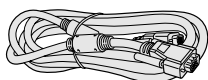
リモコン



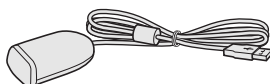
単3形乾電池 (2本)



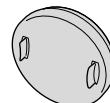
電源コード (1.8m)
(この電源コードは
XG-PH50X/XG-PH50X-N
専用品です)



RGBケーブル (3m)



リモートマウスレシーバー
(1.6m)



標準ズームレンズ用キャップ
(XG-PH50X装着出荷)

• CD-ROM

• 取扱説明書 (本書)

• 保証書 (箱に貼り付け)

別売品のご案内

ケーブル

3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル (3m) AN-C3CP

- コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクタ (市販品) が必要な場合があります。

ランプ

ランプユニット1 AN-PH5LP1

ランプユニット2 AN-PH5LP2

- 本製品のICチップの中には、米国テキサスインスツルメンツ社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリングもしくはディスアセンブリングをすることは禁じられております。
- DLP™ (Digital Light Processing)、DMD™ (Digital Micromirror Device) は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
- Macintosh®はアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- Adobe®、Adobe® Reader®はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標または商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

別売レンズのご案内

XG-PH50X-N(レンズなし)、XG-PH50Xの使用用途にあわせた6種類の別売レンズがあります。別売レンズのご購入や取り付けは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(レンズ使用時には、レンズに付属の取扱説明書をご覧ください。)レンズの交換はサービスマンが行います。(XG-PH50Xに標準装備しているレンズは、AN-PH3EZ標準ズームレンズです。)

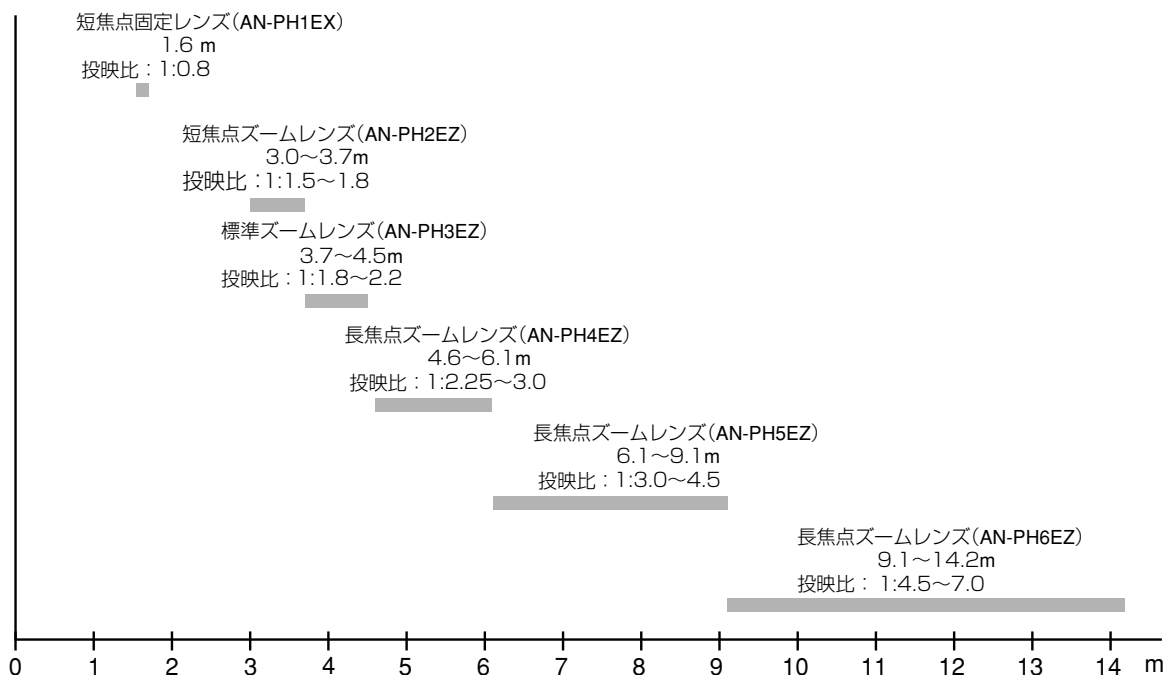
レンズ

レンズ		100型画面投映時の距離
短焦点固定レンズ (0.8倍)	AN-PH1EX	1.6m
短焦点ズームレンズ (1.5~1.8倍)	AN-PH2EZ	3.0~3.7m
標準ズームレンズ (1.8~2.2倍) (XG-PH50X標準装備)	AN-PH3EZ	3.7~4.5m
長焦点ズームレンズ (2.25~3.0倍)	AN-PH4EZ	4.6~6.1m
長焦点ズームレンズ (3.0~4.5倍)	AN-PH5EZ	6.1~9.1m
長焦点ズームレンズ (4.5~7.0倍)	AN-PH6EZ	9.1~14.2m

・レンズについて詳しくは、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。

投映距離 (4:3標準モードで100型画面のとき)

スクリーン



安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なおいや音がするなど
異常状態のときは電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



電源プラグ
を抜く

● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



分解禁止

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

警告

表示された電源電圧で使用する



100V使用

- 表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは



電源プラグを抜く

- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない



禁止

- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない

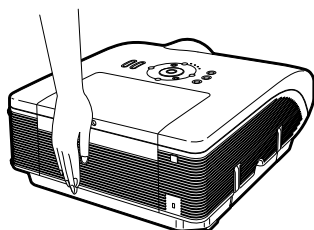


禁止



高温注意

- 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは



販売店に依頼する

- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にもものや水などを入れない



禁止

- この機器の開口部（通風孔など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源プラグを抜く

- 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



水ぬれ禁止



水ぬれ禁止

- こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



接触禁止

- 感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

警告

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着した状態では使用しない



● ホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



風呂、シャワー室での使用禁止

● 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



禁止

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



禁止

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



交換を依頼する

● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かない



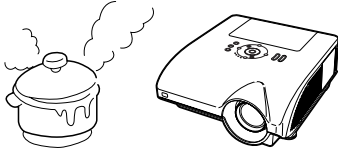
禁止

● 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



重いものを置かない



禁止

● この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

● この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがない



禁止

● この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。冷却ファン部(排気側)は、壁などから30cm以上はなして設置してください。



禁止

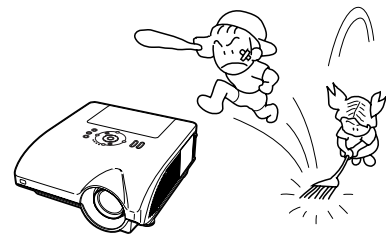
● 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

置台に据えつけるときは



転倒防止

● キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。



⚠ 注意

<p>設置場所を変える場合は必ず接続線ははずす</p>  <p>接続線ははずす</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設置場所を変える場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>電源コードを熱器具に近づけない</p>  <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない</p>  <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>旅行などで長時間で使用にならないときは電源プラグを抜く</p>  <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p>  <p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 	<p>お手入れのときは電源プラグを抜く</p>  <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む</p>  <p>確実に差し込む</p>	<p>3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する</p>
 <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。 ● 電源プラグは、根元まで差し込んでゆりみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。 	 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 注意

電池は幼児の手の届く所に置かない



禁止



- 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液が漏れたときは素手でさわらない



禁止

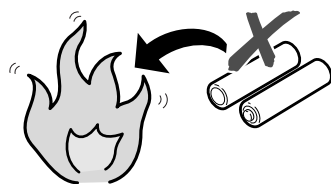


- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない
乾電池は充電しない



禁止

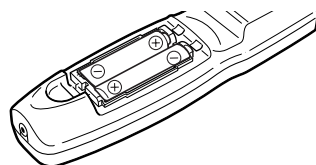


- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス \oplus とマイナス \ominus の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる



表示どおりに入れる

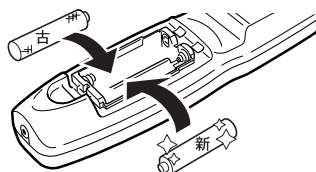


- 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない
新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



禁止

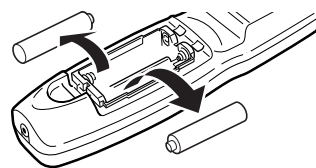


- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す



電池を取り出す



- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

ホコリ、湿気の少ないところへ

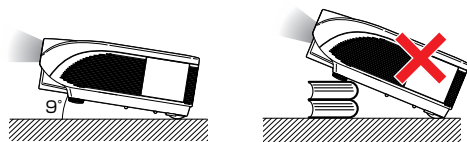
- 湿気やホコリの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

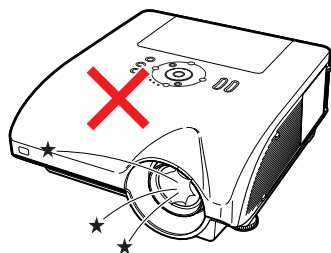
プロジェクターは9°以上傾けないようにしてください

- 設置範囲は9°までです。



衝撃を与えないでください

- レンズには、特にご注意ください表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



高温、低温の場所はさけてください

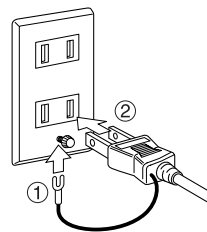
- 使用温度範囲 5°C~40°C
- 保存温度範囲 -20°C~60°C

排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがらない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

電源コードの接続について

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



使用上のご注意(つづき)

取り扱い時のご注意

- 取り扱うときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、長時間使用しない、または収納する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。
- 取り扱うときは、レンズ部を持たないでください。
- 収納するときは、レンズキャップを取り付けてください。(15ページ)
- 直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。収納ケースやプロジェクターの変形・変色の原因になります。

接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

使用時のご注意

目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

ランプ交換に関する注意

- 「ランプについて」(94ページ)もご覧ください。
- 廃棄の方法について
このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプユニットに関する注意

- ランプが破裂するとガラス破片でケガをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

海外でご使用になるときは

- お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

別売レンズを取り付けるときは

- 別売レンズの取り付けは、販売店にご依頼ください。

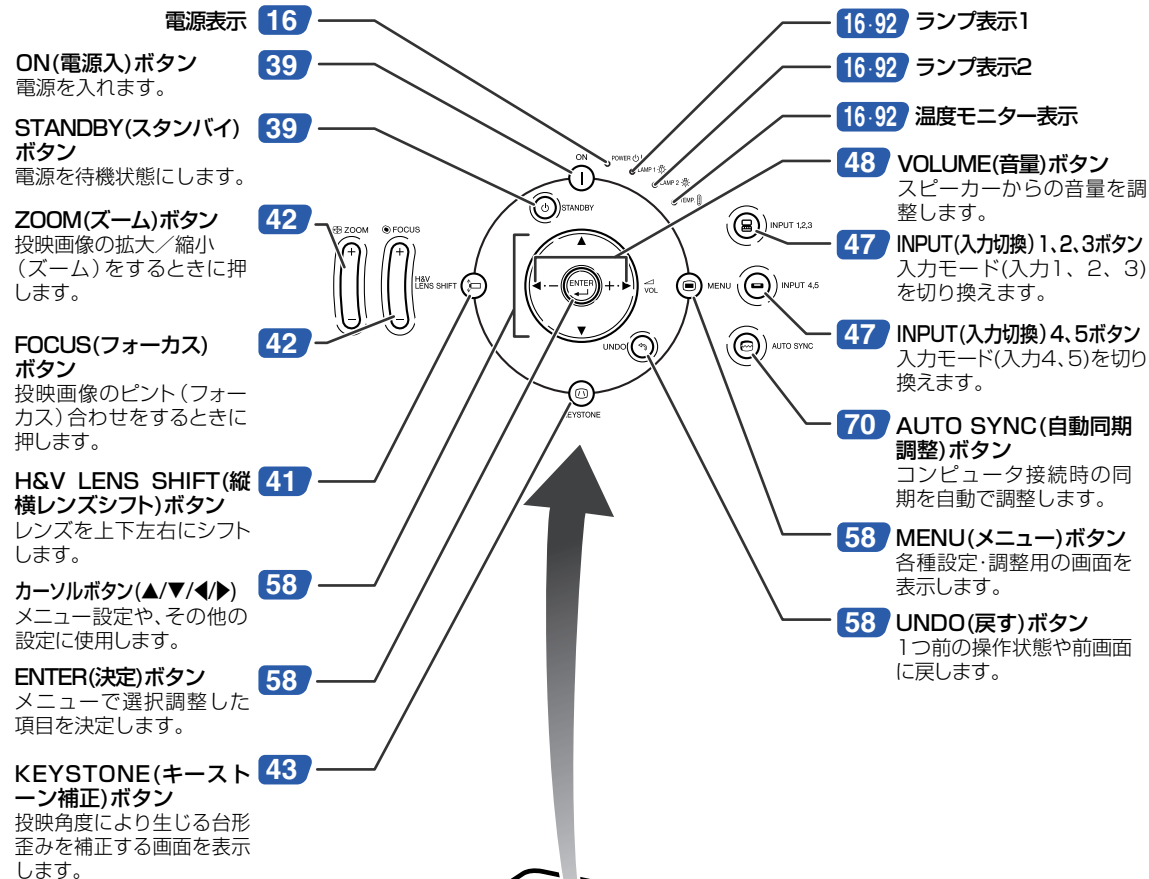
・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

各部のなまえとはたらき

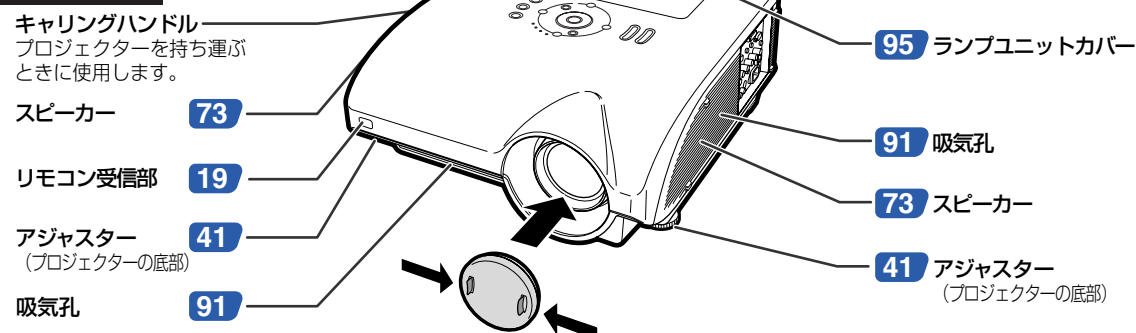
■の中の数字は参照ページを示します。

本体

天面操作部



前面／側面



レンズキャップの取り付け
レンズキャップをカチッと音がするところまで、はめ込みます。
レンズキャップの取り外し
レンズキャップをまっすぐ引き抜きます。



各部のなまえとはたらき(つづき)

本体のランプ表示について

電源表示

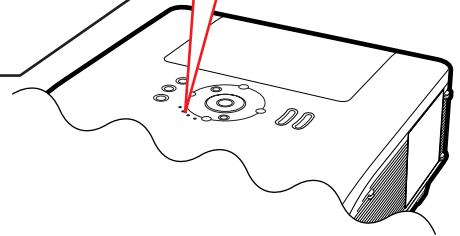
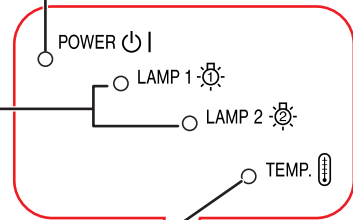
赤色点灯…スタンバイ中です
緑色点灯…電源「入」の状態です
赤色点滅…吸気孔カバーが開いています
(91ページ)

ランプ表示1、2

緑色点灯…正常
緑色点滅…光源起動中
赤色点灯…ランプが正常に起動(点灯)しなかったとき、ランプの交換時期となったときです
(92ページ)

温度モニター表示

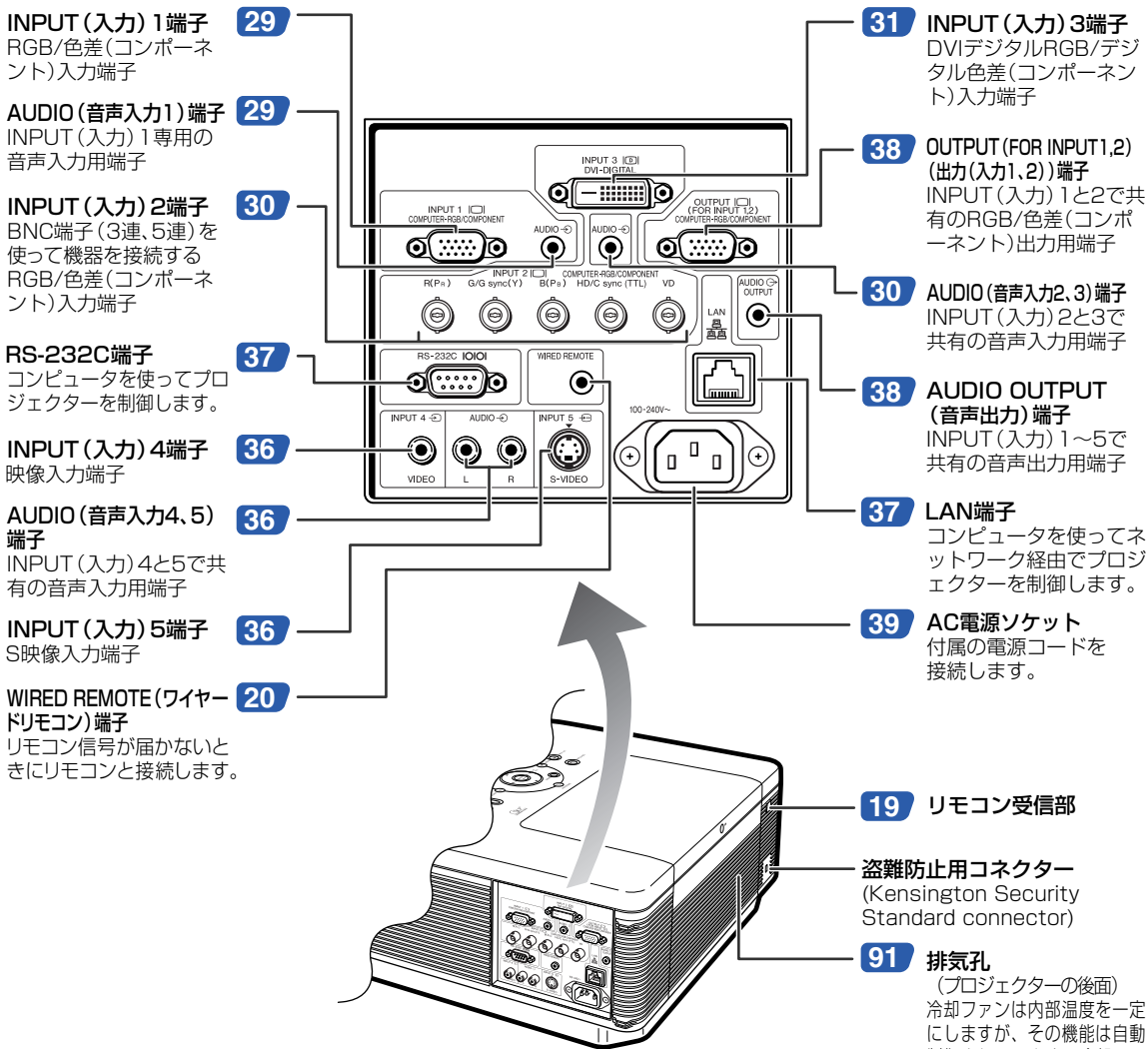
消灯…正常
赤色点滅/点灯…内部温度が高くなっています
(92ページ)



の中の数字は参照ページを示します。

本体側面

側面端子 …… 詳しくは26ページの「各入力端子とおもに接続する機器」をご覧ください。



盗難防止用コネクターについて

- 市販の盗難防止用ケーブル (Kensington社製) などを接続することができます。



■盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

各部のなまえとはたらき (つづき)

■の中の数字は参照ページを示します。

リモコン

FOCUS (フォーカス) ボタン
 投映画像のピント (フォーカス) を合わせます。

STANDBY (スタンバイ) ボタン
 電源を待機状態にします。

ZOOM (ズーム) ボタン
 投映画像を拡大 / 縮小します。

KEYSTONE (キーストーン補正) ボタン
 投映角度により生じる台形歪みを補正する画面を表示します。

マウス / カーソルボタン (▲/▼/◀/▶)
 ・ ADJ./MOUSE (調整 / マウス) 切換スイッチがMOUSEのときに、マウスボタンとして働きます。
 ・ ADJ./MOUSE (調整 / マウス) 切換スイッチがADJ.のときに、カーソルボタンとして働きます。

ENTER (決定) ボタン
 メニューで選択・調整した項目を決定します。

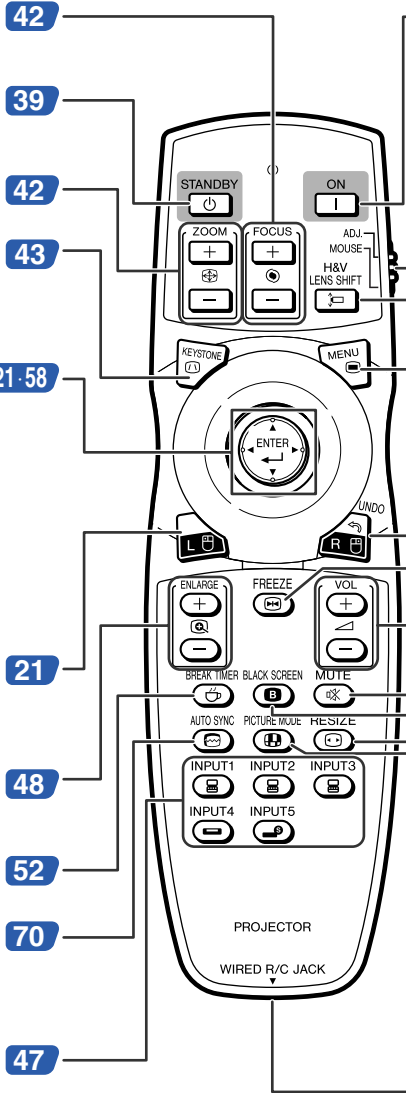
L-CLICK (左クリック) ボタン
 ADJ./MOUSE (調整 / マウス) 切換スイッチがMOUSEのときに、左クリックボタンとして働きます。

ENLARGE +/- (拡大 / 縮小) ボタン
 投映画像を部分拡大 / 縮小します。

BREAK TIMER (休憩時間) ボタン
 休憩時間を設定します。

AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン
 コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

INPUT (入力切換) 1、2、3、4、5 ボタン
 入力モードを切り換えます。



39 ON (電源入) ボタン
 電源を入れます。

20 ADJ./MOUSE (調整 / マウス) 切換スイッチ
 リモコンのモードを切り換えます。

41 H&V LENS SHIFT (縦横レンズシフト) ボタン
 レンズを上下左右にシフトします。

58 MENU (メニュー) ボタン
 各種設定・調整用の画面を表示します。

21-58 R-CLICK / UNDO (右クリック / 戻す) ボタン
 ・ ADJ./MOUSE (調整 / マウス) 切換スイッチがMOUSEのときに、右クリックボタンとして働きます。
 ・ ADJ./MOUSE (調整 / マウス) 切換スイッチがADJ.のときに、1つ前の操作状態や前画面に戻します。

49 FREEZE (静止画) ボタン
 映像を静止画の状態にします。

48 VOLUME (音量) ボタン
 スピーカーからの音量を調整します。

48 MUTE (ミュート) ボタン
 プロジェクターの音声を一時的に消します。

52 BLACK SCREEN (ブラックスクリーン) ボタン
 投映画像を一時的に消します。

50 RESIZE (画面サイズ切換) ボタン
 映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

49 PICTURE MODE (映像モード) ボタン
 映像に合わせて映像モードを切り換えます。

20 WIRED R/C JACK (ワイヤードリモコン) 端子
 リモコン信号が届かないときに、プロジェクターと接続します。

メモ

- マウス / カーソルボタンとADJ./MOUSE (調整 / マウス) 切換スイッチ以外のボタンは、暗いところでも見やすい蓄光ラバーを採用しています。(蓄光ラバーの発光の強さは、時間の経過とともに減衰します。)

リモコンの使いかた

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。

メモ

- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

リモコン使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの動きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

乾電池の入れかた

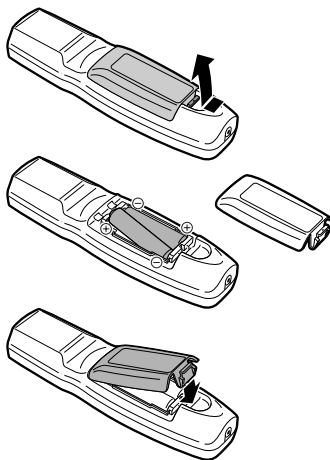
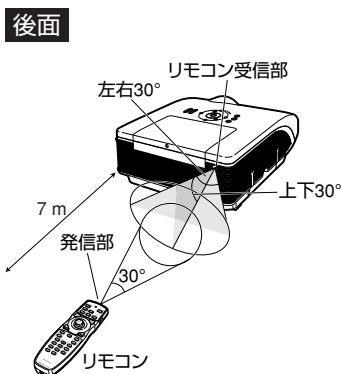
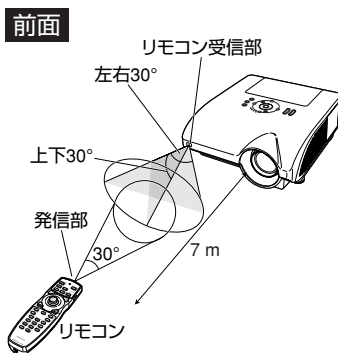
乾電池〔単3形2本〕

1 カバーのつめを押して、矢印の方向に開ける

2 付属の乾電池を入れる

- プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。

3 カバーの突起をリモコンの穴に差し込み、矢印の方向に閉める



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

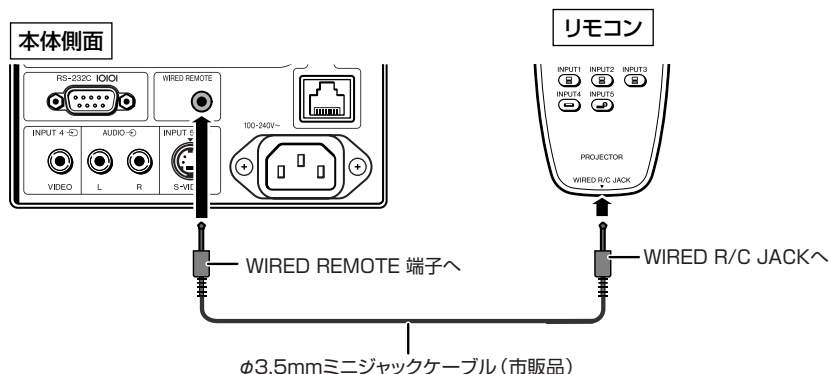
⚠ 注意

- 乾電池の⊕極と⊖極は、表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

リモコンの使いかた (つづき)

ワイヤードリモコンの使いかた

プロジェクターの設置位置や設定方法により、リモコン信号が届かない場合は、市販のケーブルを使って、リモコンをプロジェクターに接続することができます。



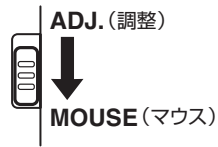
リモコンモードの切り換え

リモコンには、プロジェクター操作のための調整モードと、コンピュータのマウス操作のためのマウスモードがあります。モードの切り換えは、リモコン側面のADJ./MOUSE (調整/マウス) 切換スイッチで行います。

プロジェクター操作



マウス操作



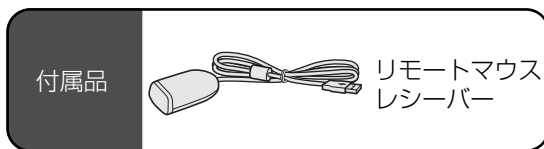
お知らせ

- リモコンをワイヤレスマウスとして使用するとき、付属のリモートマウスレシーバをコンピュータに接続してください。接続のしかたは21ページをご覧ください。

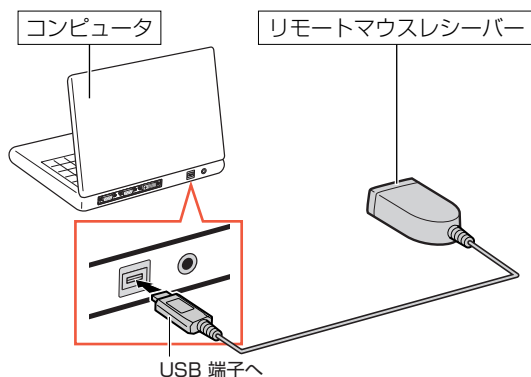
リモコンをワイヤレスマウスとして使用する

付属のリモートマウスレシーバーをコンピュータに接続すると、コンピュータのマウス操作を付属のリモコンで操作することができます。

1 リモートマウスレシーバー(付属品)をコンピュータのUSB端子に接続する



2 リモコン側面のADJ./MOUSE(調整/マウス)切換スイッチをMOUSE(マウス)の位置にスライドする



3 マウス機能を使う

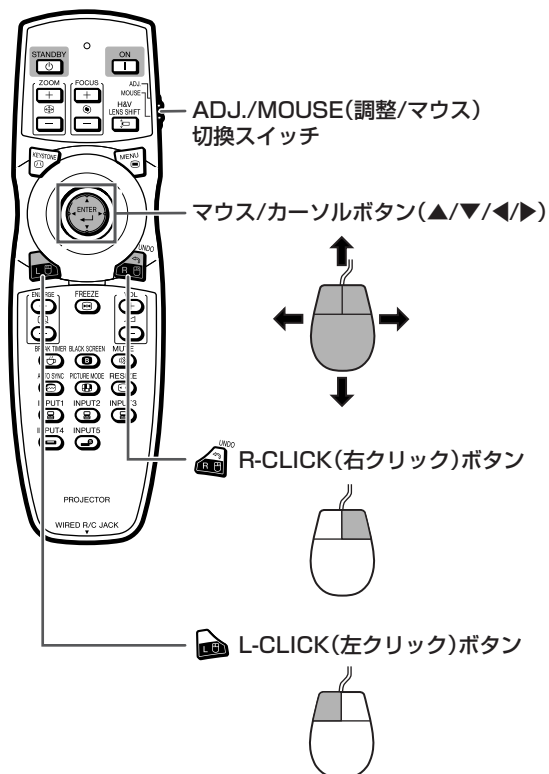
・リモコンをリモートマウスレシーバーに向けて操作します。

■ポインタを動かすとき
▲/▼/◀/▶を押します。

■左クリックするとき
L-CLICKを押します。

■右クリックするとき
R-CLICKを押します。

■クリックボタンがひとつのマウス(Macintoshなど)の場合
L-CLICK または R-CLICK を押します。(L-CLICK、R-CLICKは同じ動きをします。)



メモ

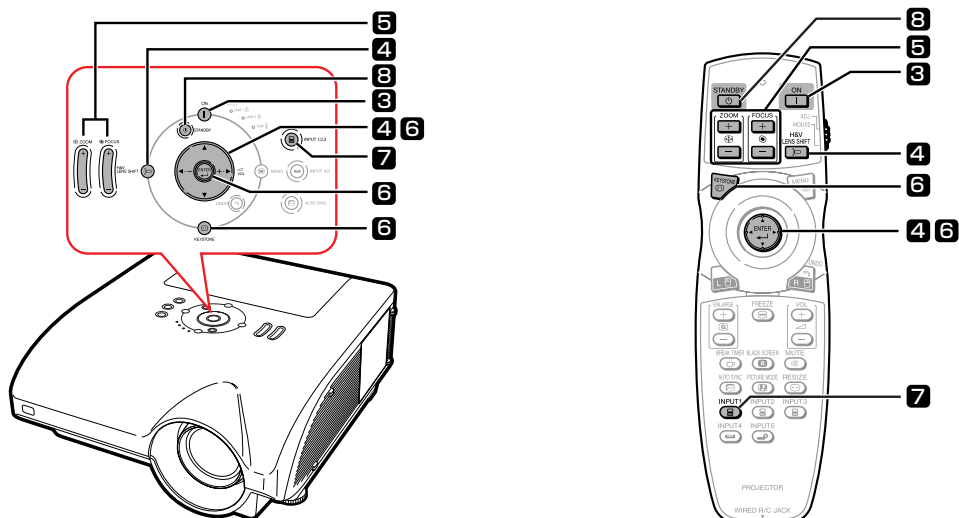
- ・この機能はMicrosoft® Windows® OSとMac® OSでのみ動きます。
- ・ただし、OSがWindows® 95以前、Windows® NT4.0以前または、Mac® OS 8.5以前の場合は、USBをサポートしていないため動きません。
- ・コンピュータ側でUSB接続が認識されたことを確認してください。
- ・ワイヤードリモコンとして使用しているときは、ワイヤレスマウス機能は使用できません。

基本的な使いかた

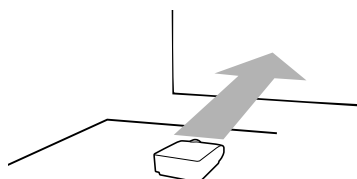
このページでは、本機の基本的な使いかた（コンピュータを接続して投映）を説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

設置から投映まで

ここでは、本機とコンピュータの接続を例に説明します。

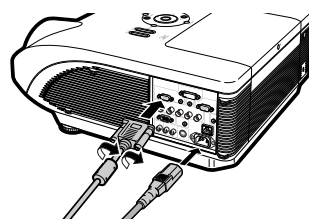


1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く



➡ 24ページ

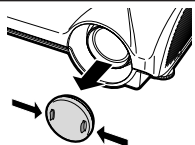
2. 電源コードおよびコンピュータを接続する



ほかの機器を接続する場合は、32～38ページをご覧ください。

➡ 29、39ページ

3. レンズキャップを外し、電源を入れる



本体の  またはリモコンの  を押す




➡ 39ページ

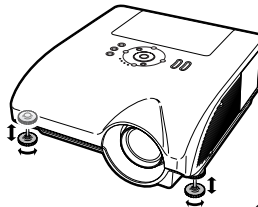
4. 投映角度を調整する

投映角度を調整する

• アジャスターで調整する





• レンズを上下左右にシフトする

- ① 本体の  またはリモコンの  を押す
- ② 本体またはリモコンの  を押して調整する










➡ 40、41ページ

5. 投映された画像のフォーカス（ピント）とサイズを調整する

1. 本体の  またはリモコンの  を押してフォーカス（ピント）をあわせる
2. 本体の  またはリモコンの  を押して画面サイズをあわせる

➡ 42ページ

6. 台形歪みを補正する（4点補正）

1. 本体の  またはリモコンの  を押す
2. 本体の  またはリモコンの  を押す
3. 本体またはリモコンの  を押して、投映画面の左上の位置を指定する
4. 本体の  またはリモコンの  を押して位置を確定する
5. 手順3、4を行い、投映画面の右上、右下、左下の位置も指定する
 - 左下の位置を確定すると、画面の補正が行われ終了します。

➡ 43ページ

7. 入力モードを選ぶ

本体の  またはリモコンの  を押して「入力1」を選ぶ




▼画面表示(RGB信号入力時)



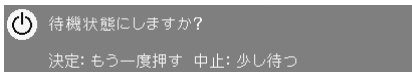
- 本体の  を押すと、 入力1 → 入力2 → 入力3 の順番で切り換わります。本体の  を押すと、入力4と入力5が交互に切り換わります。
- リモコンで入力モードを切り換えるときは、 /  /  /  /  を押して切り換えます。

➡ 47ページ

8. 電源を切るときは

本体の  またはリモコンの  を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、 を押す

▼画面表示



- 冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

➡ 39ページ

本機を設置する

本機の設置のしかた

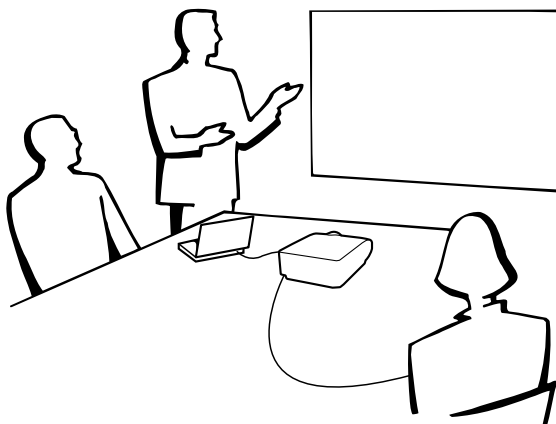
プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心（水平方向）にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んで見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。

基本的な設置（前面からの投映）

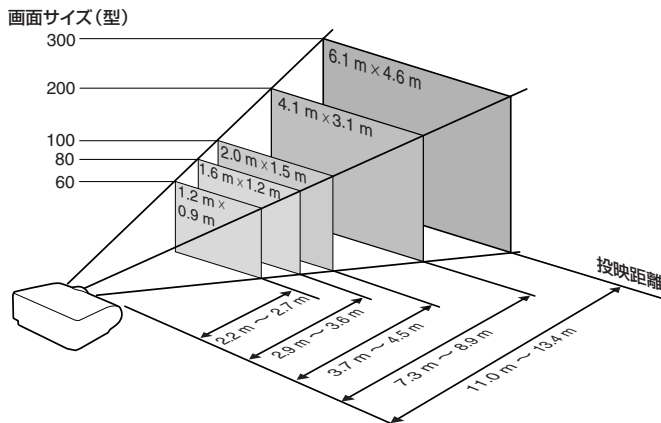
- 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。）



投映画像の大きさと設置距離のめやす

詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。

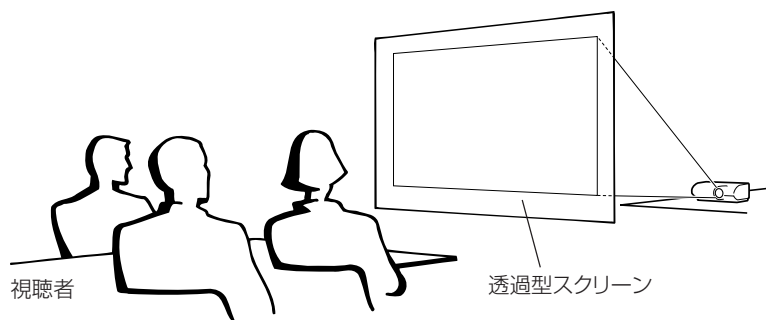
例：コンピュータ入力時の「標準」モード（ビデオ入力時は「ズーム」モード）で標準ズームレンズ（AN-PH3EZ）を使用した場合



反転映像を投映するとき

スクリーン背後からの投映

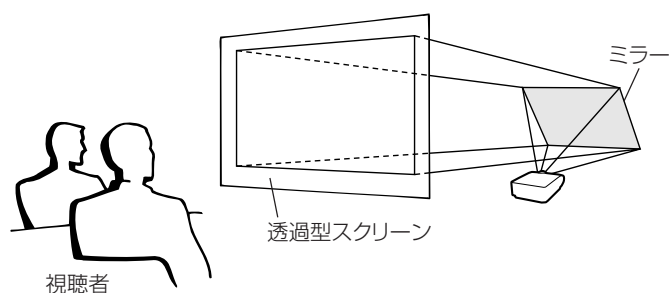
- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- 「オプション(2)」メニューの「投映方式」で「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(84ページ)



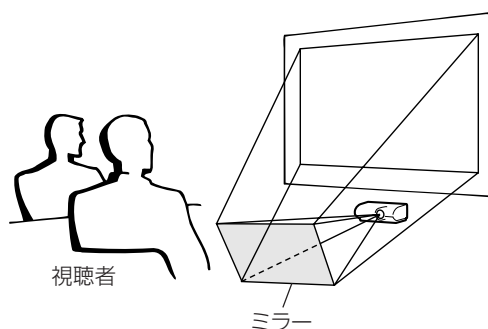
ミラーを使った投映

- レンズの正面にミラー（表面鏡）を設置してください。
- 図のように透過型スクリーンを視聴者とミラーの間に設置し投映するときは、「オプション(2)」メニューの「投映方式」で「フロント」に設定してください。(84ページ)
- 視聴者側にミラーを置くときは、「オプション(2)」メニューの「投映方式」で「リア」に設定してください。(84ページ)

「フロント」に設定



「リア」に設定



📖 お知らせ

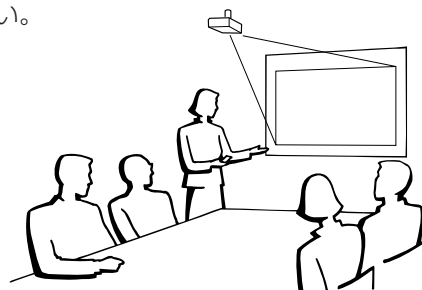
- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投映

- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび天吊り用取り付けアダプター「AN-NV6T」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。

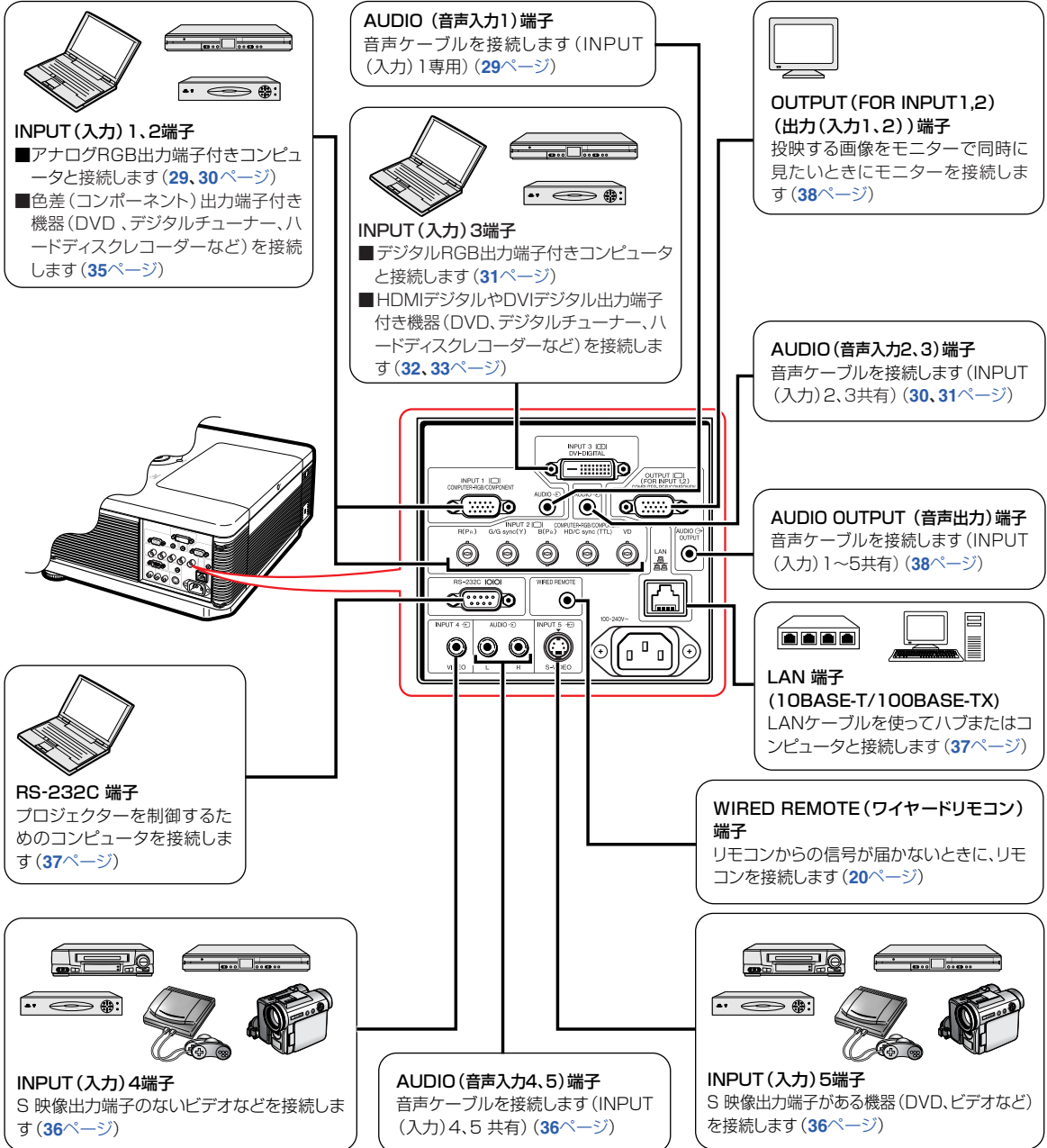
別売の天吊り用取り付けアダプター「AN-NV6T」の取り付けは、天吊り用取り付けアダプターに付属されている説明書をご覧ください。

- 「オプション(2)」メニューの「投映方式」で「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。(84ページ)




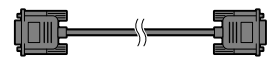
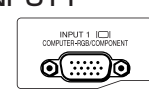
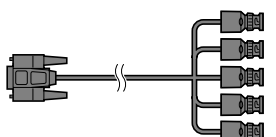
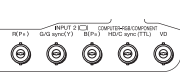
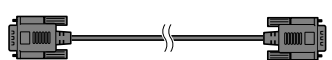
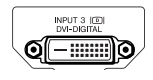
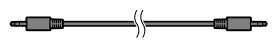




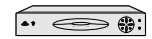


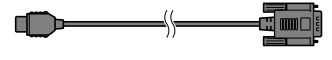
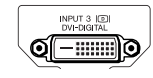
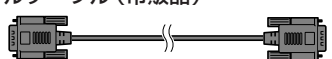
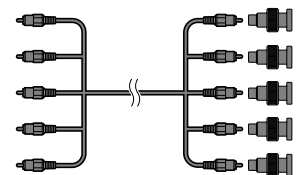
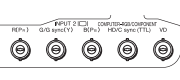
接続する

各入力端子とおもに接続する機器

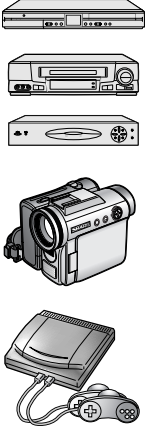
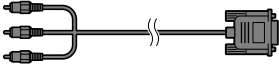
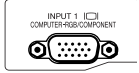
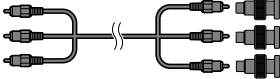
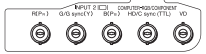
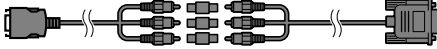
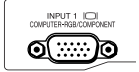
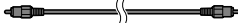

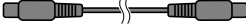

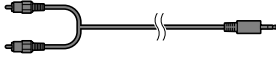



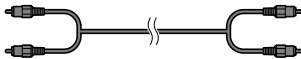



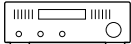
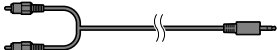



接続する機器と使用するケーブル例

• 使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
コンピュータ 	RGB映像出力端子	RGBケーブル (付属品) 	INPUT 1 COMPUTER/RGB/COMPONENT 
		5BNC/15ピンミニD-subケーブル (市販品) 	INPUT 2 
	DVIデジタル映像出力端子	DVIデジタルケーブル (市販品) 	INPUT 3 
	コンピュータ音声出力端子	コンピュータ音声ケーブル (φ3.5ステレオミニタイプ/市販品) 	AUDIO (INPUT 1用)  AUDIO (INPUT 2, 3用) 
AV機器     	HDMIデジタル映像出力端子	DVI/HDMIデジタルケーブル (市販品)  • 音声コードは28ページ※2に接続します。	INPUT 3 DVI-DIGITAL 
	DVIデジタル映像出力端子	DVIデジタルケーブル (市販品)  • 音声コードは28ページ※2に接続します。	
	RGB映像出力端子	5RCA/RGBケーブル (市販品) BNC/RCA変換プラグ (市販品)  • 音声コードは28ページ※2に接続します	INPUT 2 

接続する機器と使用するケーブル例(つづき)

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
AV機器 	色差 (コンポーネント) 映像出力端子	3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル(別売品:AN-C3CP)  ・音声コードは※1に接続します。	INPUT 1 
		BNC-RCA変換プラグ(市販品) 色差(コンポーネント)ケーブル(市販品)  ・音声コードは※2に接続します。	INPUT 2 
	D映像出力端子	3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル(別売品:AN-C3CP) 中継プラグ(市販品) D色差(コンポーネント)変換ケーブル(市販品)  ・音声コードは※1に接続します。	INPUT 1 
		映像ケーブル(市販品)  ・音声コードは※3に接続します。	INPUT 4 
	S映像出力端子	S映像ケーブル(市販品)  ・音声コードは※3に接続します。	INPUT 5 
	音声出力端子	音声ケーブル(ピンジャックφ3.5ステレオミニタイプ、市販品)  AUDIO (INPUT 1用) ※1  AUDIO (INPUT 2、3用) ※2 	AUDIO (INPUT 4、5用) ※3 
		音声ケーブル(市販品) 	
モニター 	RGB映像 入力端子	RGBケーブル(付属品または市販品) 	OUTPUT 
アンプ、オーディオ機器 	音声入力端子	音声ケーブル(ピンジャックφ3.5ステレオミニタイプ、市販品) 	AUDIO OUTPUT 

コンピュータを接続する

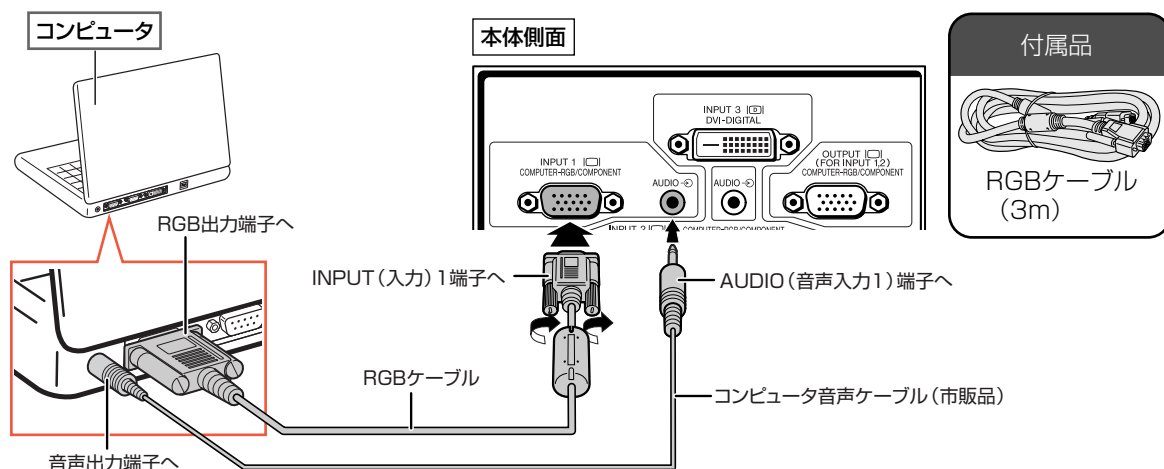
接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わった後で、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

メモ

- 対応しているコンピュータの表示モードについては、**98ページ**「RGB入力信号（推奨信号）一覧表」をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。
- 推奨タイプ以外のコンピュータを接続すると、プロジェクターおよびコンピュータが損傷する恐れがあります。
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様相談センターへお問い合わせください。
- お使いのコンピュータによっては、出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。外部出力への切り換え方法についてはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

RGBケーブルを使って接続する



メモ

- この接続でお使いの場合、シンクオングリーン信号には対応しておりません。
- コンピュータ音声ケーブルはφ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。
- モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。

「プラグ&プレイ」機能（15ピン端子に接続する）

- 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信（通信）しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ

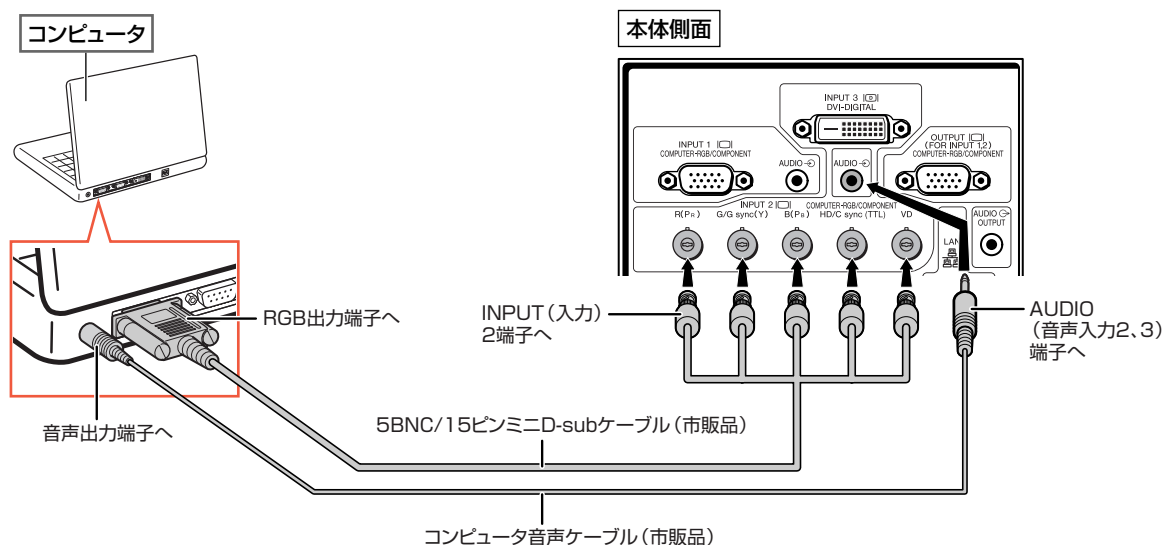
- 本機のDDCプラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

コンピュータを接続する(つづき)

5BNC/15ピンミニD-subケーブルを使って接続する

本機は画質の低下を防ぐために、5BNC入力を採用しています。

プロジェクターの入力端子とコンピュータを直接接続する場合は、5BNC/15ピンミニD-subケーブル(市販品)を使って、R(P_R)・G/G sync (Y)・B(P_B)・HD/C sync・VDのケーブルをプロジェクターの入力端子に正しく接続してください。

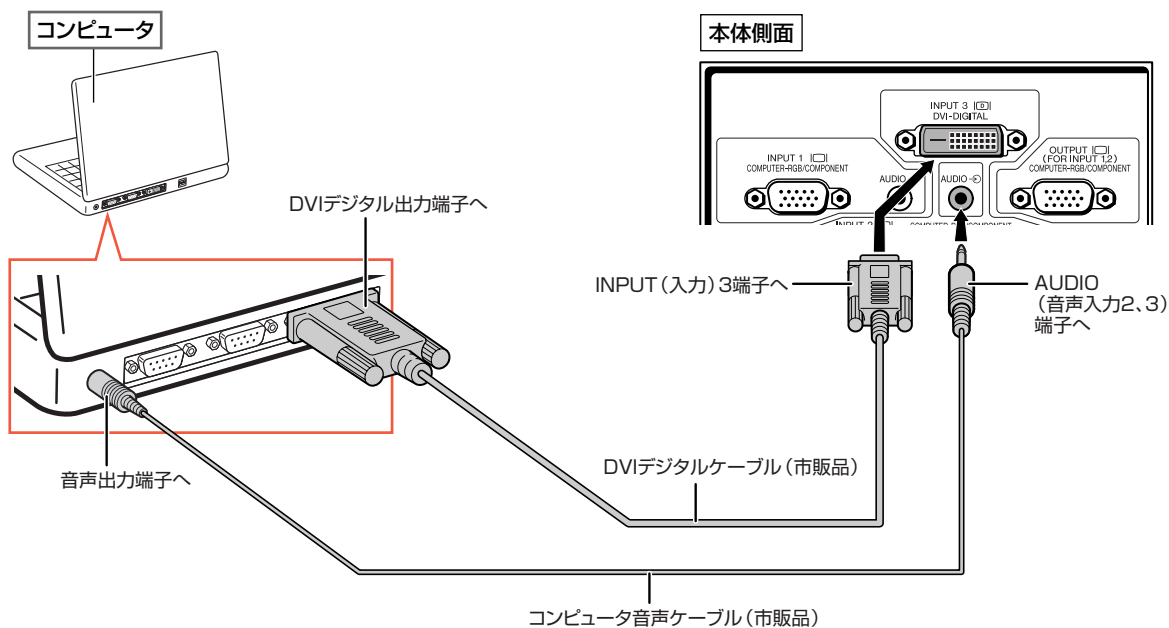


メモ

- コンピュータ音声ケーブルはφ3.5ステレオミニタイプ(市販品)をご使用ください。
- モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。
- 本機をIBM-PC(VGA/SVGA/XGA/SXGA/UXGA)または互換機(ワークステーション)に接続する場合は、別ケーブルが必要になる場合があります。詳細は販売店にお問い合わせください。
- HD/C sync端子はTTL信号専用の入力端子です。

DVIデジタルケーブルを使って接続する

本機はコンピュータのデジタル映像信号を直接入力できるDVIデジタル入力端子を標準装備しています。
(コンピュータのアナログRGB信号を入力しても映像は投射されません。)



メモ

- 本機とコンピュータをこの方法で接続したときは、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を「D. PC RGB」に設定してください。
- コンピュータ音声ケーブルはφ3.5ステレオミニタイプ (市販品) をご使用ください。
- モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。

ビデオ機器を接続する

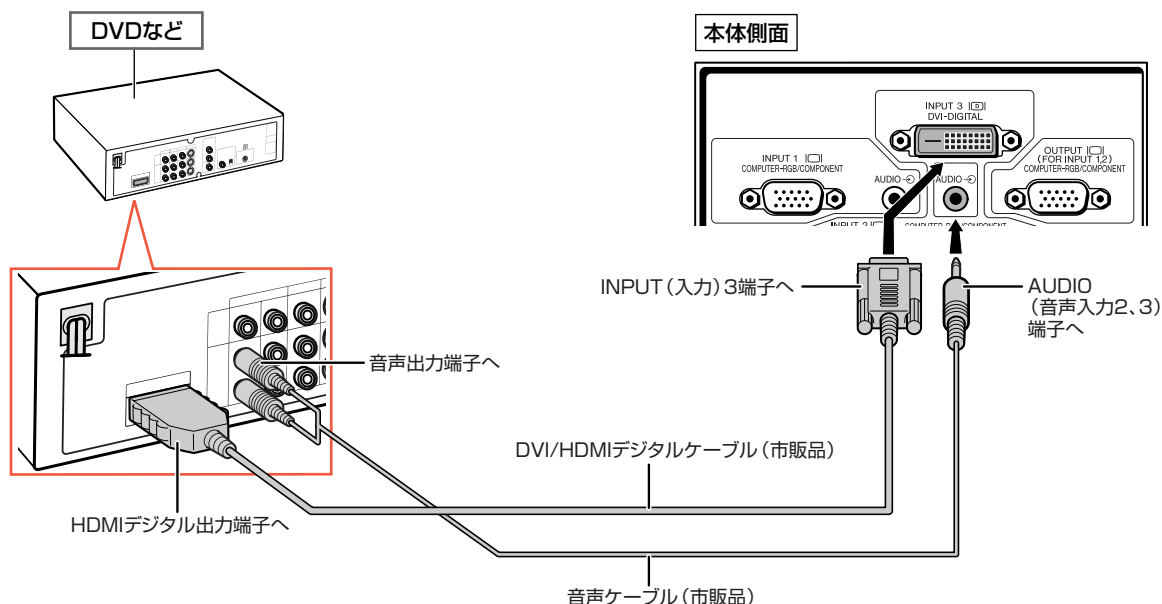
接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わった後で、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。

本機はDVIデジタル映像、コンピュータRGB映像、色差(コンポーネント)、S映像、映像に対応した入力端子を装備しています。接続する機器の端子に合わせ、次のように接続してください。

コンピュータRGB映像や色差(コンポーネント)映像の出力端子を装備した機器と接続するときは本機のコンピュータRGB/色差(コンポーネント)端子(INPUT(入力)1または2)と接続することをおすすめします。

HDMIデジタル出力端子付きビデオ機器を市販のDVI/HDMIデジタルケーブルを使って接続する

HDMIデジタル出力端子のある機器を市販のDVI/HDMIデジタルケーブルを使ってINPUT(入力)3端子に接続します。

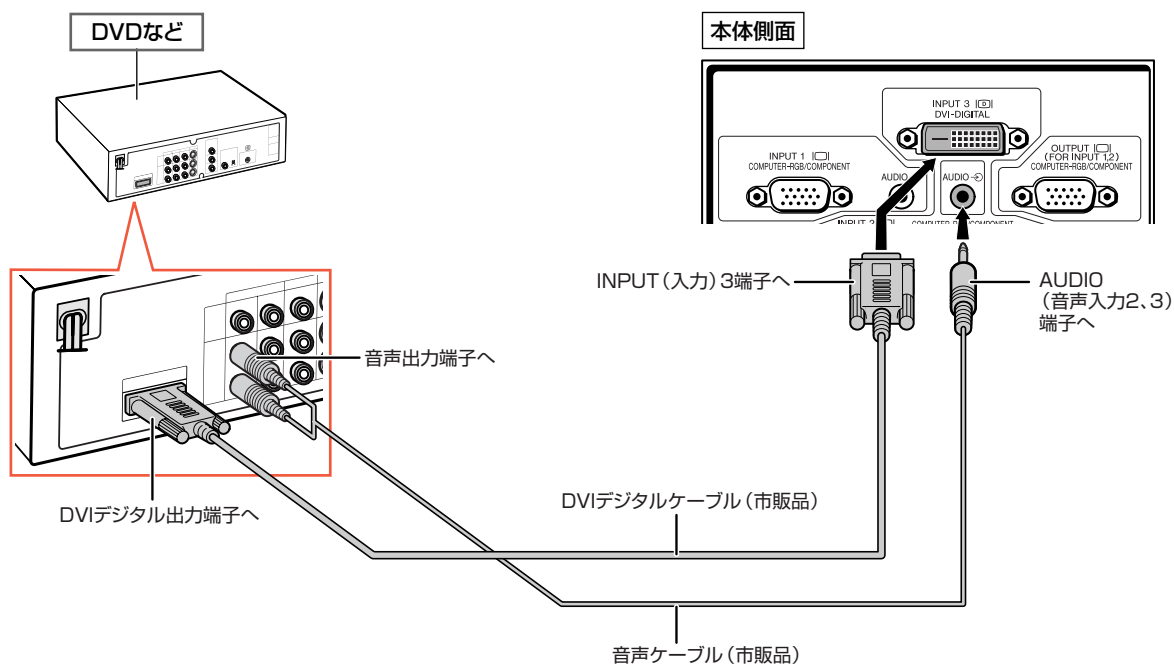


メモ

- ビデオ機器に合わせて、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を設定してください。詳しくは65ページをご覧ください。
- HDMI出力端子付きのAV機器を本体のDVI入力端子に接続したとき、本機に入力される信号はデジタル映像信号のみです。(音声は、AUDIO (音声入力2、3) 端子に別に接続してください。)
- 音声ケーブルはピンジャック-φ3.5ステレオミニタイプ(市販品)をご使用ください。

DVIデジタル出力端子付きビデオ機器を市販のDVIデジタルケーブルを使って接続する

DVIデジタル出力端子のある機器を市販のDVIデジタルケーブルを使ってINPUT (入力) 3端子に接続します。



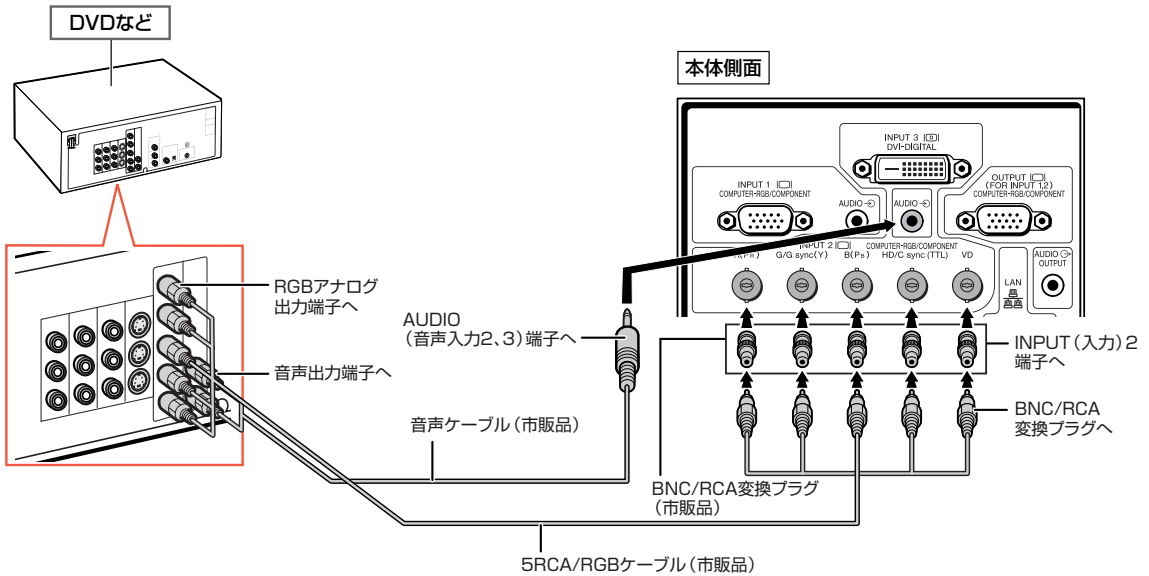
メモ

- ビデオ機器に合わせて、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を設定してください。詳しくは65ページをご覧ください。
- 音声ケーブルはピンジャック-φ3.5ステレオミニタイプ (市販品) をご使用ください。

ビデオ機器を接続する(つづき)

RGBアナログ出力端子付きビデオ機器を市販の5RCA/RGBケーブルを使って接続する

RGBアナログ出力端子のある機器を市販の5RCA/RGBデジタルケーブルを使ってINPUT (入力) 2端子に接続します。

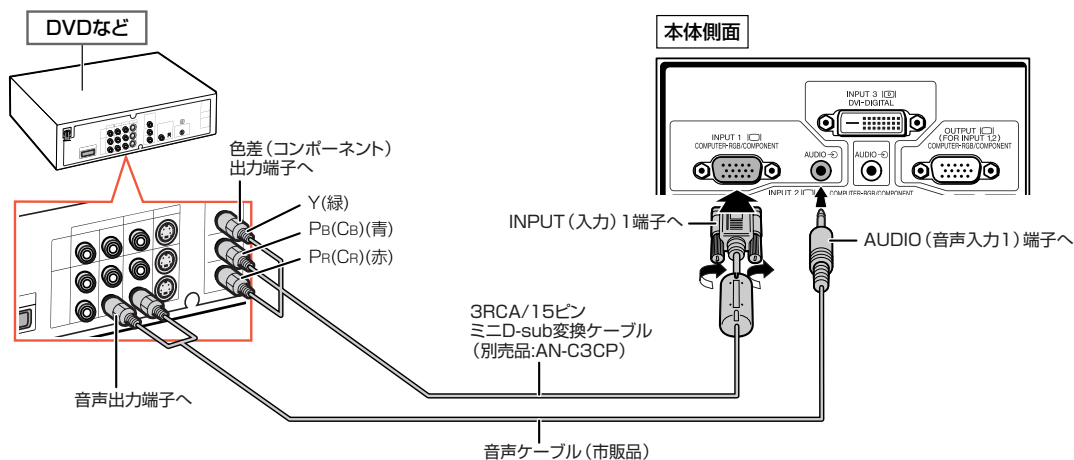


メモ

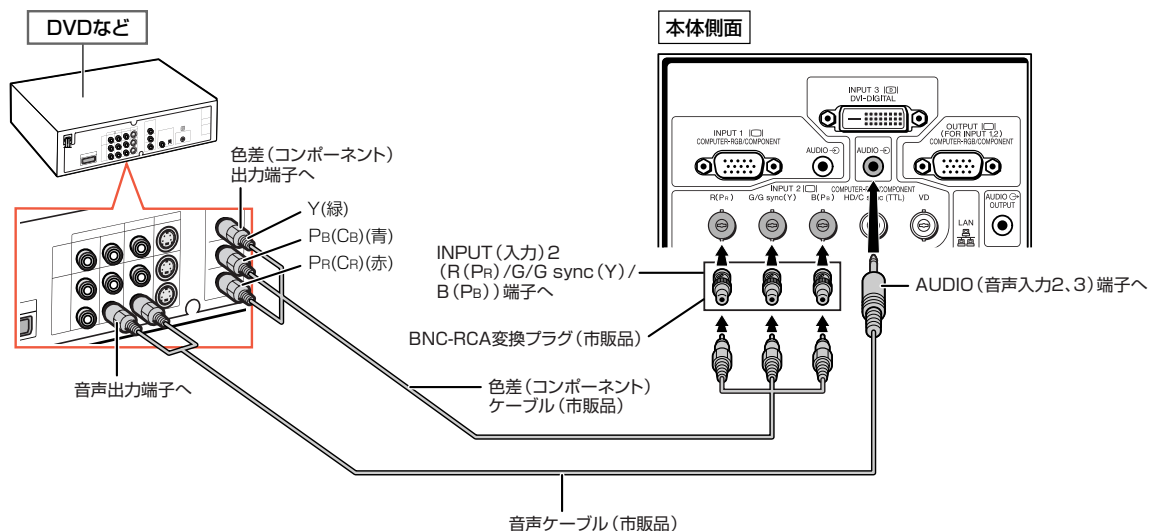
- 「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を「RGB」に設定してください。詳しくは65ページをご覧ください。
- プロジェクターに接続するRGBアナログ出力端子付き機器の仕様によっては、HD/CやVD端子を使用する場合があります。詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 音声ケーブルはピンジャックφ3.5ステレオミニタイプ(市販品)をご使用ください。
- HD/C sync端子はTTL信号専用の入力端子です。

色差(コンポーネント)出力端子付きビデオ機器と接続する

BSビデオデジタルチューナーやDVDプレーヤーなど、色差(コンポーネント)出力端子のある機器をINPUT(入力)1端子に接続するときは、別売の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル(AN-C3CP)を使って接続します。



BSチューナーやDVDプレーヤーなど、色差(コンポーネント)出力端子のある機器をINPUT(入力)2端子に接続するときは、市販のBNC-RCA変換プラグを使って接続します。

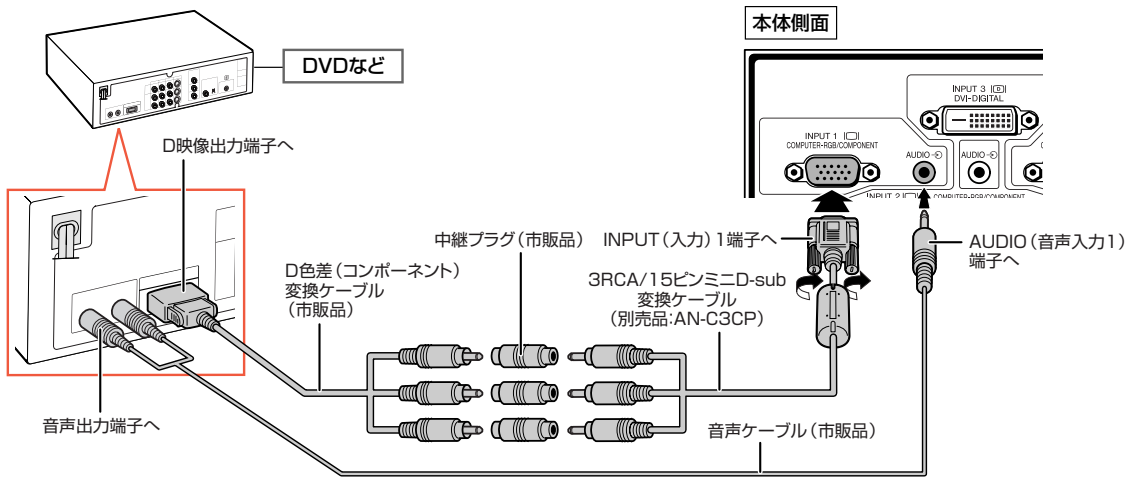


メモ

- 必要に応じて「同期調整」メニューの「特殊モード」を「480P/525P」や「576P/625P」に設定してください。(69ページ参照)
- 音声ケーブルはピンジャックφ3.5ステレオミニタイプ(市販品)をご使用ください。

ビデオ機器を接続する(つづき)

BSチューナーやDVDプレーヤーなど、D映像出力端子のある機器をINPUT(入力)1端子に接続するときは、市販のD色差(コンポーネント)変換ケーブル、市販の中継プラグ、別売の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル(AN-C3CP)を使って接続します。

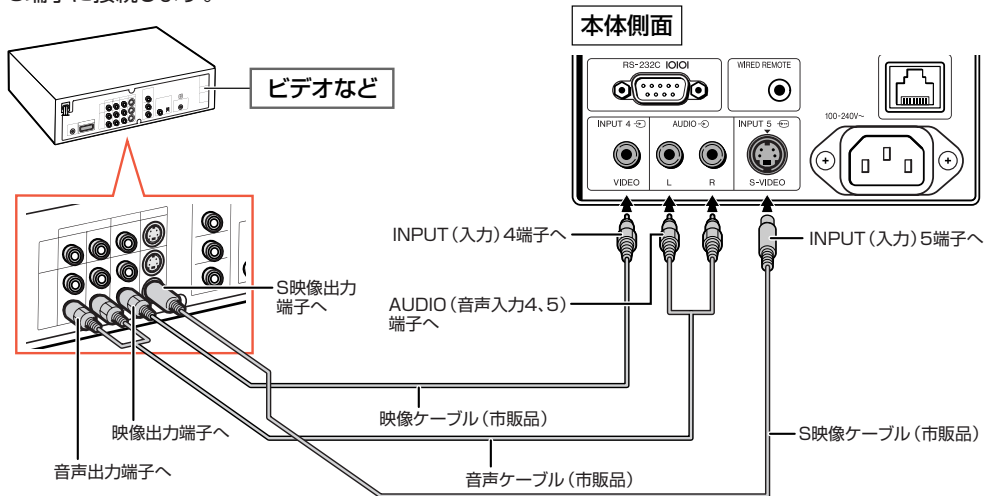


メモ

- 音声ケーブルはピンジャックφ3.5ステレオミニタイプ(市販品)をご使用ください。

S映像ケーブルや映像ケーブルを使って接続する

ビデオやレーザーディスクプレーヤーなどを市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使ってINPUT(入力)4/5端子に接続します。



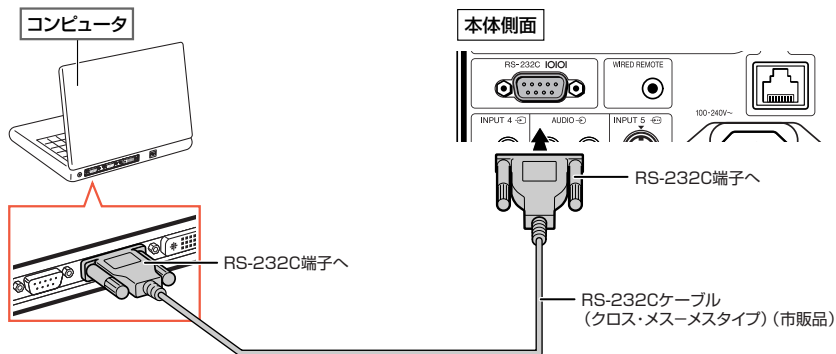
メモ

- S映像出力端子付き機器と接続するときは、S映像ケーブル(市販品)を使い接続します。映像ケーブル(市販品)で接続するときよりも、きれいな映像が楽しめます。
- 音声ケーブル(市販品)は、RCA音声ケーブルをご用意ください。

プロジェクターをコンピュータで制御する

プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル (RS-232C) ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。また、LAN端子にLANケーブルを接続すると、ネットワーク経由でプロジェクターを制御することができます。詳しくは同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。

コンピュータをRS-232Cケーブルを使って接続するとき



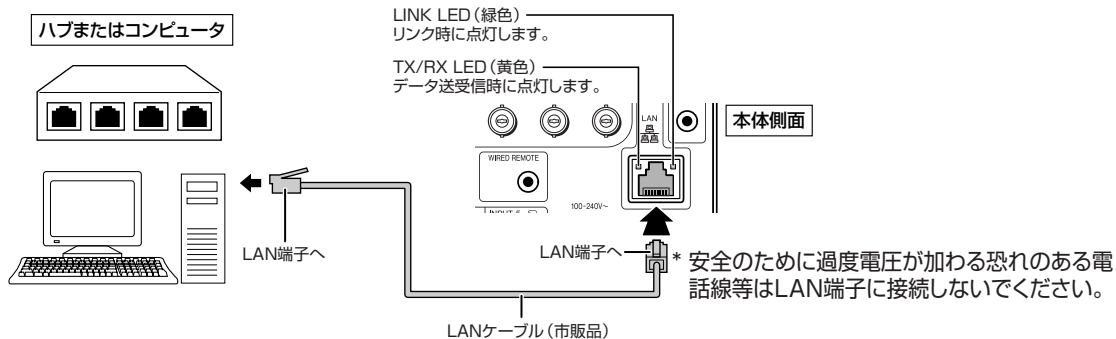
メモ

- RS-232C端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- RS-232Cの仕様とコマンドについては、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。

お知らせ

- コンピュータ側のシリアル (RS-232C) ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

プロジェクターのLAN端子にLANケーブルを接続するとき

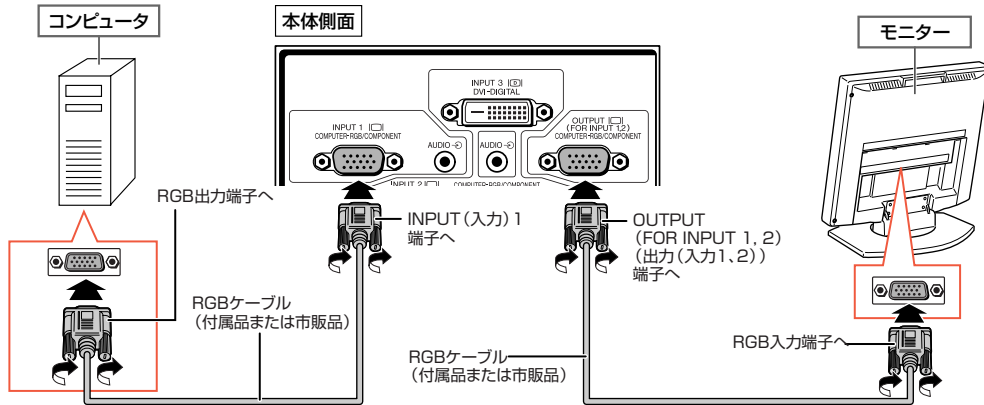


メモ

- LANケーブルはカテゴリ5を使用してください。
- コンピュータと本機を1対1で接続する場合には、クロスタイプのケーブルを使用してください。
- ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのケーブルを使用してください。

RGB入力端子付きモニターを接続する

本機はRGBケーブルを使って、入力する映像をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。

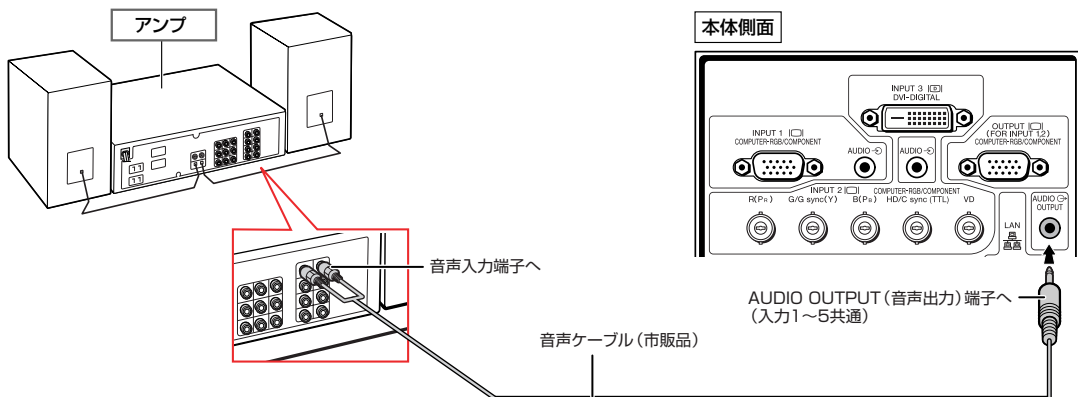


メモ

- INPUT (入力) 1 端子またはINPUT (入力) 2端子 のRGB信号および色差 (コンポーネント) 信号をモニター出力することができます。

アンプやその他のオーディオ機器と接続する

本機各AUDIO INPUT (音声入力) 端子に接続されている機器から入力された音声をオーディオ機器などへ出力することができます。出力される音声は、選ばれた入力モードの音声が出力されます。



メモ

- 音声ケーブルはピンジャックφ3.5ステレオミニタイプ (市販品) をご使用ください。
- アンプ等と接続して使用している場合、電源を切るときはアンプの電源を切ってから、プロジェクターの電源を切ってください。
- 音声を出力する際は、本機の音声に連動して音声出力が可変する音声出力可変と音声出力固定の2つの方法があります。詳しくは72ページをご覧ください。

電源の入れかた/切りかた

電源コードを接続する

AC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。(29～38ページ)

レンズキャップを外し、本体の **ON** またはリモコンの **ON**

を押す

- 電源表示が緑色で点灯します。
- ランプが点灯するとランプ表示が緑色点灯します。ランプ表示が緑色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。
- システムロックが設定されているときは、キーコード入力画面が表示されます。設定したキーコードを入力してください。詳しくは79ページをご覧ください。

メモ

ランプ表示について

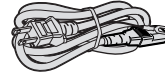
- 動作状況を以下のようにお知らせします。
 - 緑色点灯: ランプ点灯中
 - 緑色点滅: ランプ起動中
 - 赤色点灯: ランプが正常に起動しない(点灯しない)/ランプ交換
- 電源を入れ、ランプが起動してから約1分間は、まれに投影画像がちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
- プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ(光源)が起動するまで多少時間がかかる場合があります。

電源を切る(待機状態にする)とき

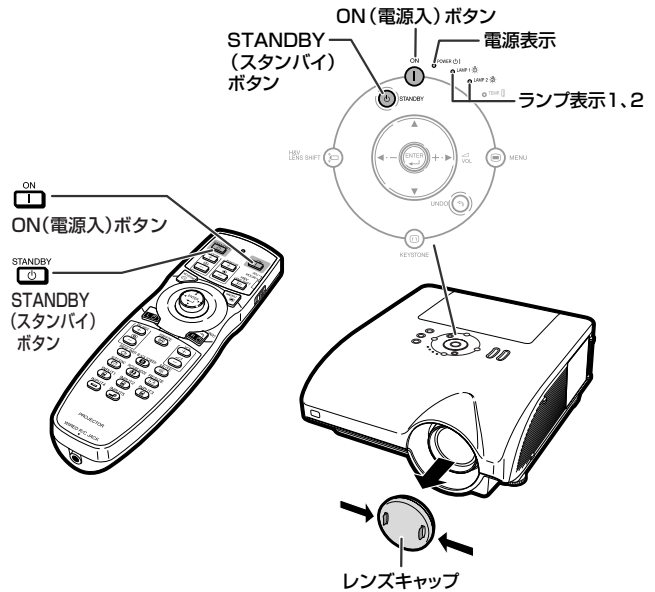
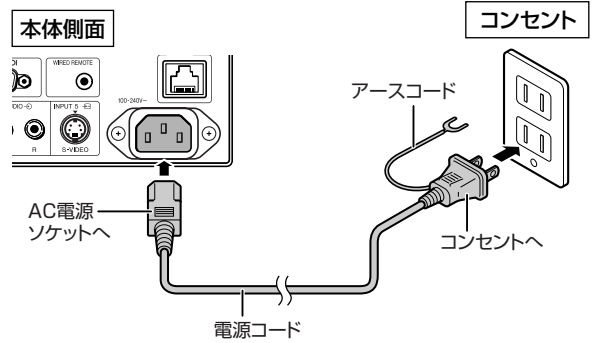
1 本体の **STANDBY** またはリモコンの **STANDBY** を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

2 冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜く

付属品



電源コード (1.8m)



▼画面表示



待機状態にしますか?

決定: もう一度押す 中止: 少し待つ

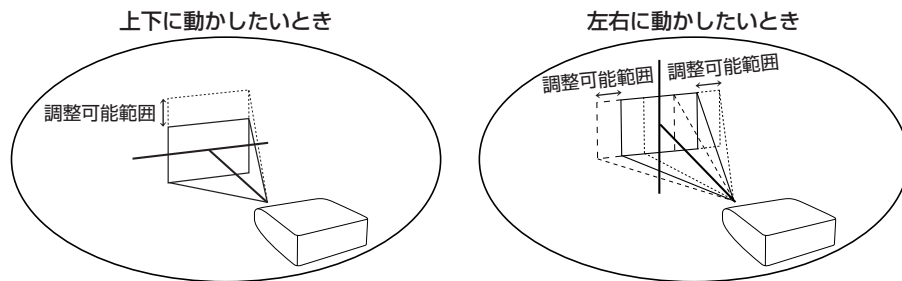
お知らせ

- 投影中および冷却ファンの動作中(待機状態にした後、約90秒間)は、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に停止するため、温度上昇により故障の原因となります。

投映のしかた

レンズシフト機能を使って投映位置を調整する

ズーム機能やアジャスターを利用した投映角度調整に加え、光学レンズシフト機能により、投映位置を調整できます。設置場所の条件によりスクリーンを動かさない場合などに便利な機能です。



レンズの調整可能範囲

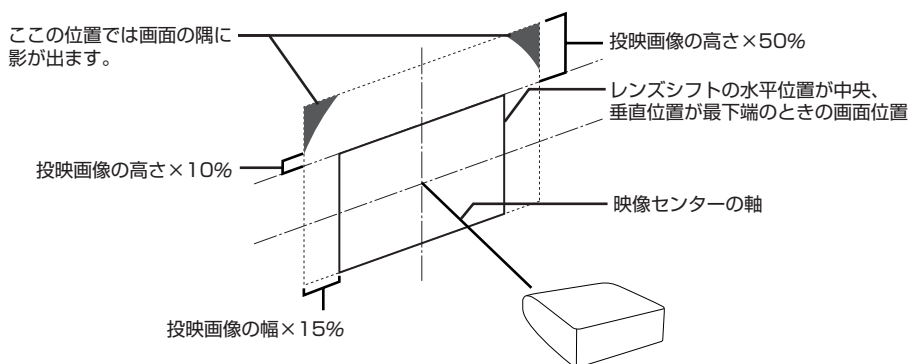
本機のレンズシフトの調整可能範囲は、以下のようになります。

水平方向: $\pm 15\%$

垂直方向: $\pm 50\%$ (上向)

上記範囲内であっても一部制限があります。



イメージは図のようになります。



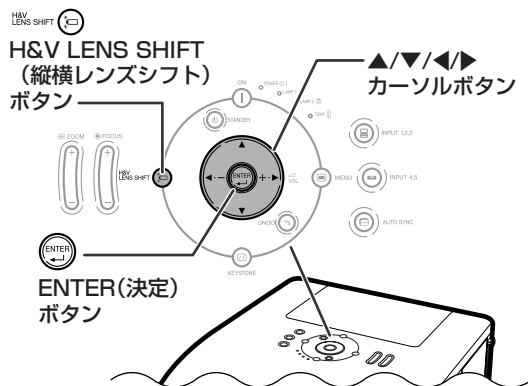
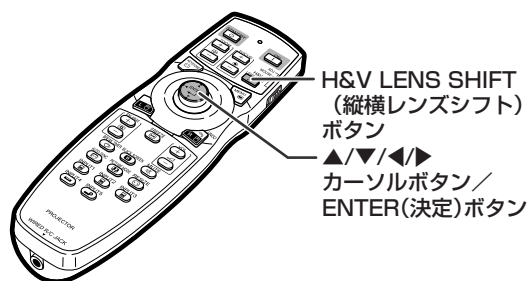
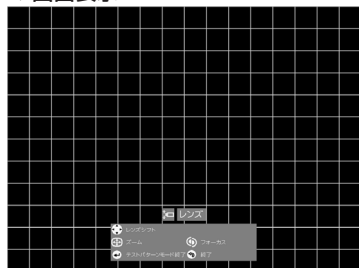
メモ

- オプションレンズのAN-PH1EXについては、上記の条件と異なります。詳しくはAN-PH1EXの取扱説明書をご覧ください。

1 本体の またはリモコンの を押す

- 本体の  またはリモコンの  を押すと、テストパターンが表示されます。テストパターンはより正確な調整をするときに便利です。

▼画面表示



2 本体またはリモコンの を押し、調整する

アジャスターを使って投映角度を調整する

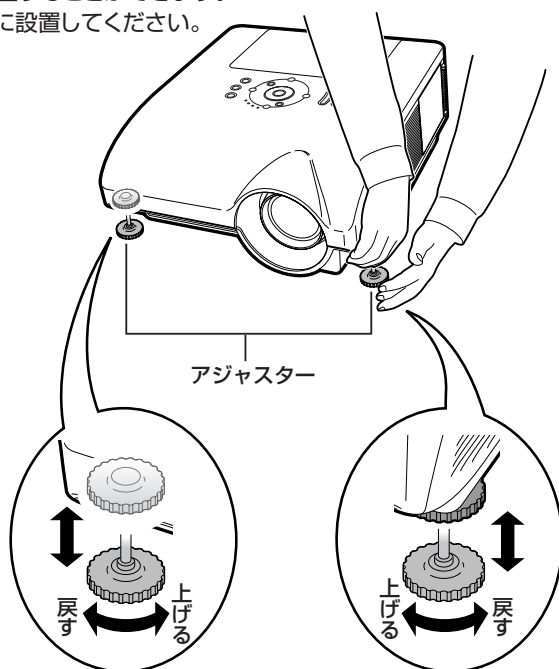
- レンズシフト機能を使っても投映位置が調整できないようなときにアジャスターを使って角度を調整します。
- プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときや、スクリーンに傾斜があるとき、または設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。
- プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

1 プロジェクターを持ち上げたまま、アジャスターを回す

- 設置位置から約9度まで角度調整ができます。

2 プロジェクターを下へおろし、アジャスターを回して微調整する

- プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。





つづく

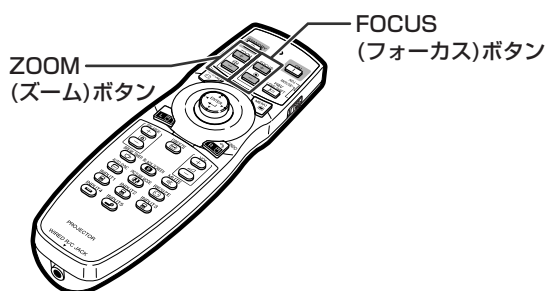
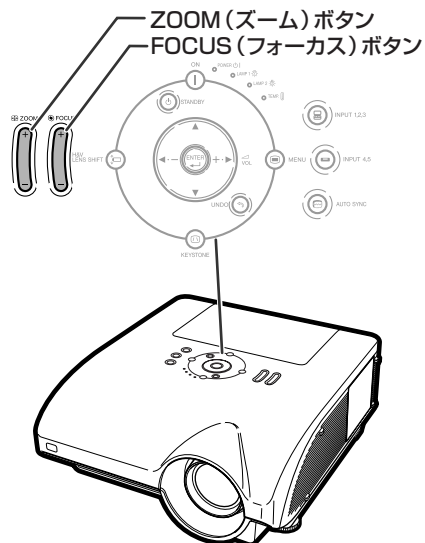
使ってみる

投映のしかた(つづき)



フォーカス(ピント)を調整する

本体の  またはリモコンの  を押してフォーカス(ピント)をあわせる

▼画面表示



投映画像の大きさを調整する

本体の  またはリモコンの  を押して画面サイズをあわせる

▼画面表示



メモ

- 本体またはリモコンのFOCUS (フォーカス) ボタンやZOOM (ズーム) ボタンを押した後に、ENTER (決定) ボタンを押すとテストパターンを表示できます。より正確な調整をするときに便利です。
- H&V LENS SHIFT (縦横レンズシフト)、FOCUS (フォーカス)、ZOOM (ズーム) ボタンを使って調整するとき、ボタンを押してから約1秒間は微調整のため小さく動きます。大きく動かしたいときは、ボタンを押し続けてください。

画面の台形歪みを補正する (キーストーン補正)



映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投射すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。

キーストーン補正には2つの方法があります。

- 1) 4点補正
…4点を指定して台形歪みを補正する
- 2) H&Vキーストーン・イメージリサイズ
…上下/左右の2軸を補正する

キーストーン補正の方法を選択する

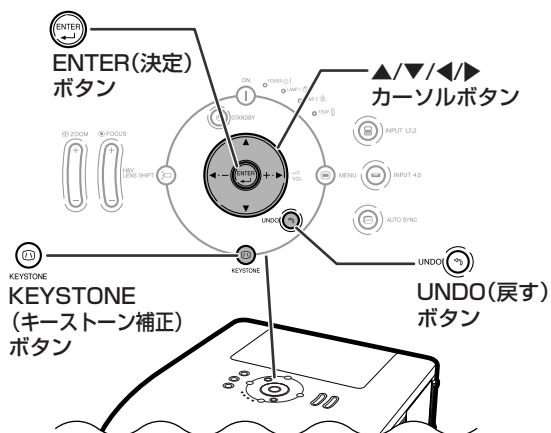
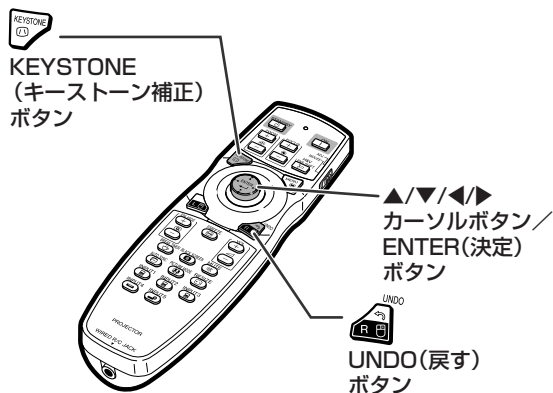
本体の  またはリモコンの  を押す

- 「4点補正」画面が表示されます。
-  または  を押すたびに、以下の順番で切り換わります。

「4点補正」 → 「H&Vキーストーン」



↑
補正メニュー終了 ← 「イメージリサイズ」

4点補正	画面の4点を指定し、歪みを補正する機能です。
H&Vキーストーン	H：水平方向の歪みを補正します。 V：垂直方向の歪みを補正します。
イメージリサイズ	画面の歪みを調整します。「H&Vキーストーン」の値が「0」以外のときに働きます。







投映のしかた(つづき)

4点補正を行う

1 「4点補正」画面が表示されるまで、本体の  またはリモコンの  を繰り返し押す

2 下記のボタンを押して、投映画像の位置/大きさ/ピントの調整を行う

- ・スクリーンの縁が緑色の領域に重なるように調整してください。
- ・▲/▼/◀/▶を押した時は、レンズシフトが行えます。
- ・本体の  またはリモコンの  を押した時は、ズーム調整が行えます。
- ・本体の  またはリモコンの  を押した時は、ピント調整が行えます。





3 本体の  またはリモコンの  を押す

4 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映したい画面の左上の位置を調整する

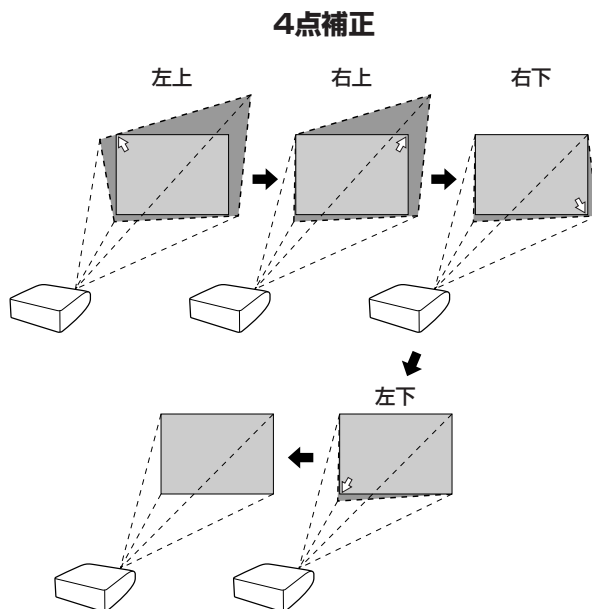
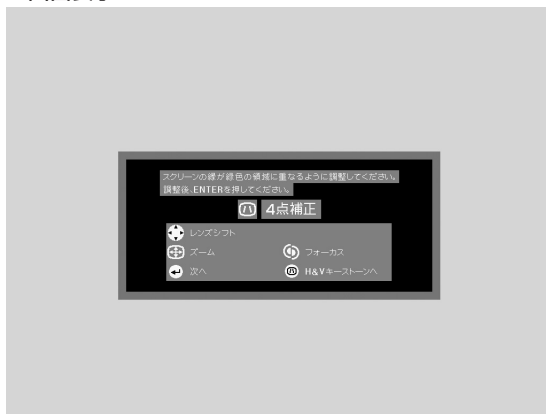
- ・黄色枠の左上がスクリーンの左上に合うように調整してください。

5  または  を押して位置を確定する

6 同じ手順で、投映したい画面の右上、右下、左下の位置も調整する

- ・このとき本体の  またはリモコンの  を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- ・左上を調整する前に  または  を押すと、リセット確認画面が表示されます。
- ・左下の位置を調整すると画面の補正が行われ「4点補正」モードを終了します。

▼画面表示



H&Vキーストーンを行う

1 「H&Vキーストーン」画面が表示されるまで、本体の  またはリモコンの  を繰り返し押す

- 「4点補正」モードで補正済みの場合は、「H&Vキーストーン」に入る前に、リセットするかどうかの確認画面が表示されます。

2 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映画面の上下/左右の2軸を調整する

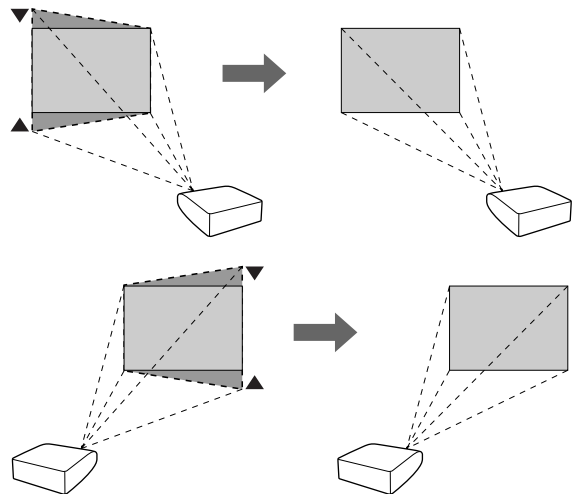
3  または  を押して「H&Vキーストーン」モードを終了する

- 「H&Vキーストーン」の設定値が「0」以外のときは下記の「イメージリサイズ」モードに入ります。

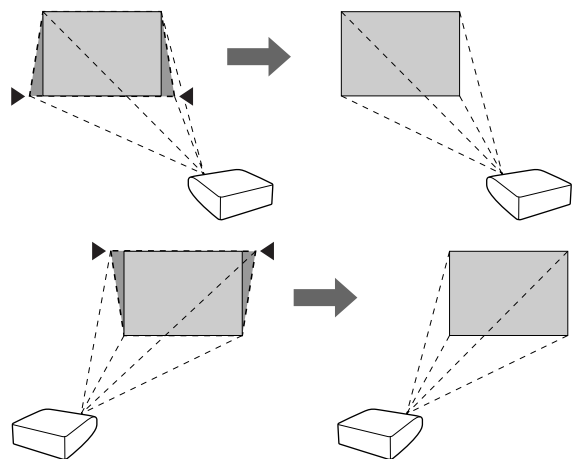
▼画面表示



H(横)キーストーン(◀▶で調整)



V(縦)キーストーン(▲▼で調整)



投映のしかた(つづき)

イメージリサイズを行う

「H&Vキーストーン」の値が「0」以外のときに働きます。

1 「イメージリサイズ」画面が表示されるまで、本体の  またはリモコンの  を繰り返し押す

2 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映画面の歪みを調整する

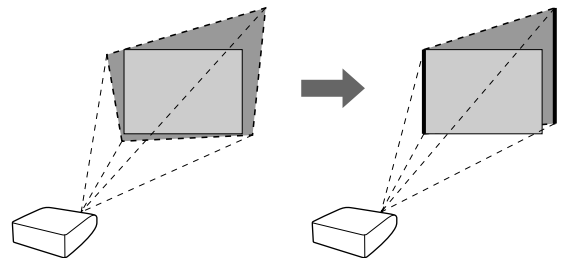
3  または  を押して「イメージリサイズ」モードを終了する

▼画面表示

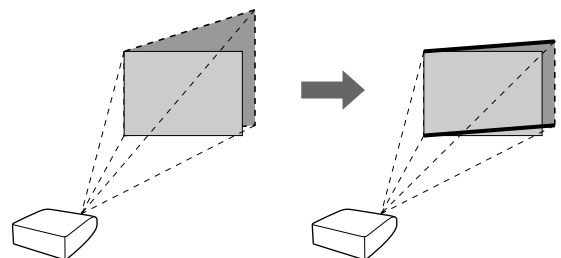


斜めから投映する際にH&Vキーストーンで調整する方法

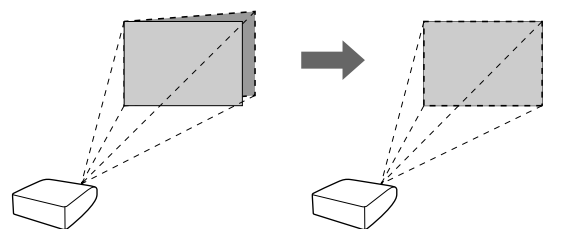
1 本体またはリモコンの▲/▼を押して、投映画面の左右の辺が平行になるように調整する。



2 本体またはリモコンの◀/▶を押して、投映画面の上下の辺が平行になるように調整する。



3 本体またはリモコンのKEYSTONEを押して、「イメージリサイズ」モードにし、本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映画面の歪みを調整する。



入力を切り換える

接続した機器にあわせて、入力モードを選択します。

リモコンの **INPUT1**、**INPUT2**、**INPUT3**、**INPUT4** または **INPUT5** を押し、入力モードを選ぶ

• 本体の **INPUT 12,3** を押すと、

→入力1→入力2→入力3→

の順番で切り換わります。

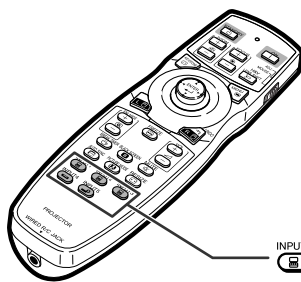
• 本体の **INPUT 4,5** を押すと、入力4と入力5が交互に切り換わります。

メモ

- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けると、「判別不能」と画面表示されます。
- 「オプション(1)」メニューの「自動入力サーチ」が「ON」になっていると、信号が入力されている入力モードを自動検出し、表示することができます。(78ページ)
- 「オプション(1)」メニューの「OSD表示」が「レベルA」または「レベルB」に設定されていると、入力モードは表示されません。(75ページ)

入力モードについて

入力1/入力2 (RGB/色差(コンポーネント))	INPUT(入力)1または2端子に接続した機器のRGB信号または色差(コンポーネント)信号を投射したいとき
入力3(デジタルPC RGB/デジタルPC色差(コンポーネント)/デジタルビデオRGB/デジタルビデオ色差(コンポーネント))	INPUT(入力)3端子に接続した機器の映像を投射したいとき
入力4 (ビデオ)	INPUT(入力)4端子に接続した機器の映像を投射したいとき
入力5 (S-ビデオ)	INPUT(入力)5端子に接続した機器の映像を投射したいとき



INPUT1 **INPUT2** **INPUT3** **INPUT4** **INPUT5**
INPUT(入力切替)
1、2、3、4、5ボタン

▼入力モード画面表示(例)

本体の **INPUT 12,3** を押したとき

入力1/2/3モード

RGB信号入力時

入力3は「入力信号タイプ」を「D. PC RGB」に設定したときの表示です。



色差(コンポーネント)信号入力時

入力3は「入力信号タイプ」を「D. PC 色差」に設定したときの表示です。



本体の **INPUT 4,5** を押したとき

入力4モード
ビデオ信号



入力5モード
S-ビデオ信号



自動入力サーチが「ON」のとき

- 本体の **INPUT 12,3** / **INPUT 4,5** を1度押すと、現在選択されている入力が表示されます。
- 再度 **INPUT 12,3** / **INPUT 4,5** を押すと、自動入力サーチが始まります。

つづく



投映のしかた(つづき)

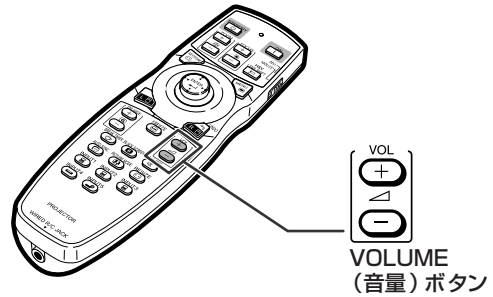
本体の音量を調整する

リモコンの  を押し、スピーカーの音量を調整する

- 本体の◀または▶を押してもスピーカーの音量を調整することができます。

メモ

-  または◀を押すと音量が小さくなります。
-  または▶を押すと音量が大きくなります。




▼画面表示

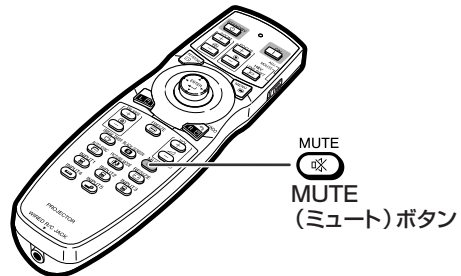


出力した音声を一時的に消す

音声を一時的に消したいときはリモコンの  を押し

メモ

- もう一度  を押し、音声もとに戻ります。





▼画面表示



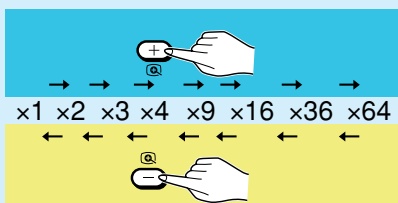
画像の一部を拡大表示する

グラフや表など画像の一部を拡大することができます。より詳しい説明をするときに便利です。

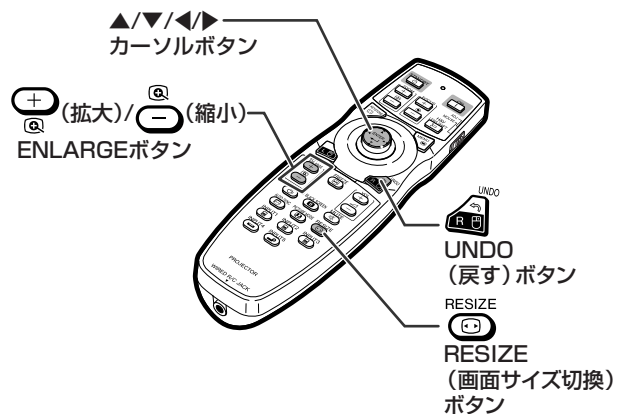
1 リモコンの を押し

- ×2の倍率に拡大されます。
-  (拡大) または  (縮小) で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

メモ



- ▲/▼/◀/▶を使って拡大部分の位置を移動することができます。





2 リモコンの を押し解除する

- 倍率は×1に戻ります。

メモ

次の場合、拡大された画像がもとの大きさ(×1)に戻ります。

- 入力切換を行ったとき
-  を押したとき
-  を押したとき
- 入力信号を変更したとき
- 入力信号の解像度やリフレッシュレート(垂直周波数)が変わったとき

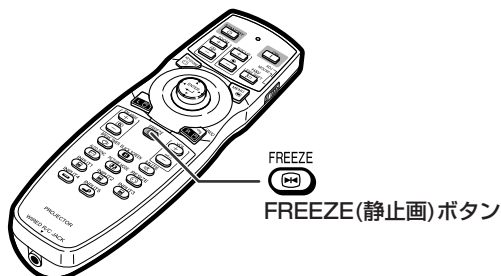
画像を静止状態にする

放映中の画像を静止画にすることができます。より詳しい説明をするときに便利です。

1 リモコンの を押す

- 放映中の画像が静止画になります。

2 を再度押すと、接続した機器の現在の画像に戻る



放映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

映画やゲームなど放映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。


リモコンの を押す

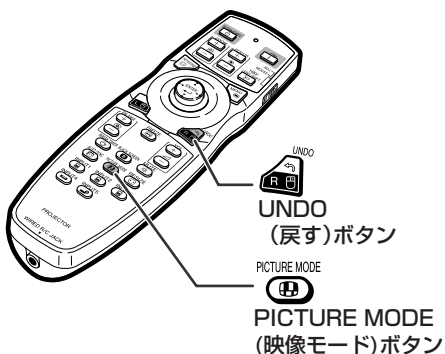
- 押すたびに

→標準→プレゼンテーション→シネマ→ユーザー設定

の順番で切り換わります。

メモ

-  を押すと「標準」に戻ります。
- 映像モードについて、詳しくは62ページをご覧ください。




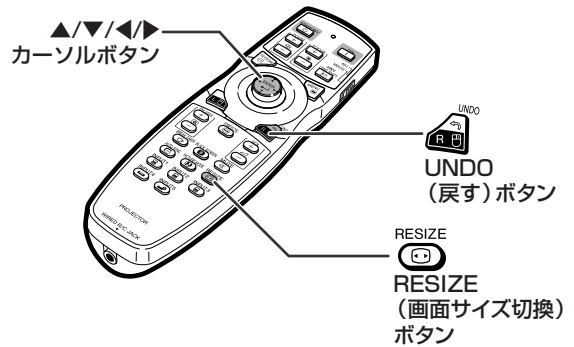
投映のしかた(つづき)

入力された信号の種類に合わせて、画面サイズ(「標準」・「フル」・「ドットバイドット」・「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ワイド」)を切り換えることができます。表を参考に最適な画面サイズを選んでください。

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

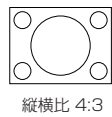
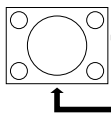
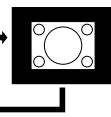
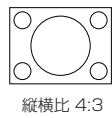
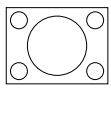
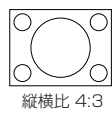
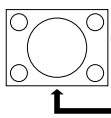
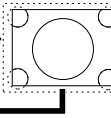
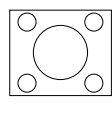
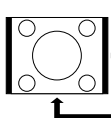
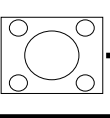
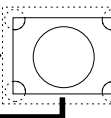
リモコンの を押す



- 押すたびに、画面サイズは表のように変わります。
- 初期の状態に戻すには、「画面サイズ」が画面に表示されているときに  を押してください。
- メニューで操作する場合は74ページを参照してください。



コンピュータ

		標準	フル	ドットバイドット
縦横比 4:3	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	—	800 × 600
	XGA (1024 × 768)	1024 × 768	—	—
	SXGA (1280 × 960)	1024 × 768	—	1280 × 960
	UXGA (1600 × 1200)	1024 × 768	—	1600 × 1200
その他	SXGA (1280 × 1024)	960 × 768	1024 × 768	1280 × 1024

入力信号		表示イメージ		
コンピュータ	画像タイプ	標準	フル	ドットバイドット
XGAより 解像度が低い	 縦横比 4:3		—	
XGA	 縦横比 4:3		—	—
XGAより 解像度が高い	 縦横比 4:3		—	
SXGA (1280 × 1024)				

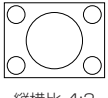
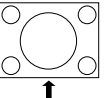

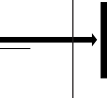
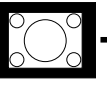
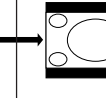
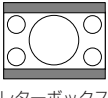
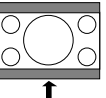

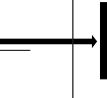
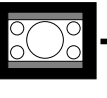
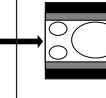
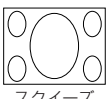
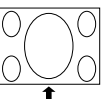

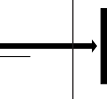
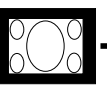
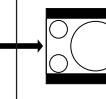
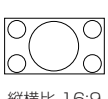
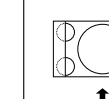
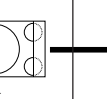
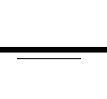

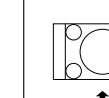
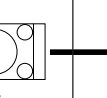

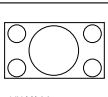

 : マスクされ映像がない部分
 : パネルからはみ出た信号部分

ビデオ

入力信号		ズーム	フル	標準	スクイーズ (フル)	ワイド
縦横比4:3	525I, 525P, 576I, 576P, NTSC, PAL, SECAM	1024 × 768	—	768 × 576*	1024 × 576*	1024 × 576*
縦横比16:9	540P	—	1024 × 768	—		—
縦横比16:9	750P, 1125I, 1035I	—	—	—		—

• 750Pや1125I、1035Iの映像信号を入力したときは、スクイーズ (フル) に固定されます。

* これらの画像でデジタルシフト機能を使用できます。

入力信号		表示イメージ				
DTV/ビデオ	画像タイプ	ズーム	フル	標準	スクイーズ (フル)	ワイド
525I, 525P, 576I, 576P, NTSC, PAL, SECAM	 縦横比 4:3					
	 レターボックス					
	 スクイーズ					
540P	 縦横比 16:9	—				—
	 縦横比 16:9 (16:9スクリーンに4:3 の画像を投射)	—				—
750P, 1125I, 1035I	 縦横比 16:9	—	—	—		—

■ : マスクされ映像がない部分

■ : 元の信号自体に映像がない部分

本機に入力される信号と表示について

DVD やデジタルビデオなどAV機器から入力される信号を、本機はINPUTボタンを押したときに表示します。表示される信号は、有効走査線数と総走査線数を表示しますので、次のようになります。

入力信号	本機の表示 (有効走査線数/総走査線数)
525I	480I/525I
525P	480P/525P
750P	720P/750P
1125I	1080I/1125I

投映のしかた(つづき)

投映画面を黒にする (ブラックスクリーン)

この機能は投映された画像を一時的に消したいときに使います。

1

BLACK SCREEN

 を押す

- 画面が黒になり、「ブラックスクリーン」の文字が画面に表示されます。

2

元の投映画面に戻すには、 をもう一度押す

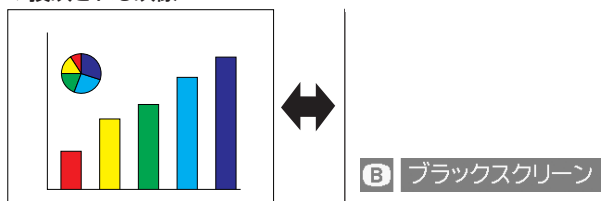


BLACK SCREEN



BLACK SCREEN
(ブラックスクリーン)
ボタン

▼投映される映像



休憩時間を表示する

この機能は、会議中に休憩の残り時間を表示したいときに使います。


1

BREAK TIMER

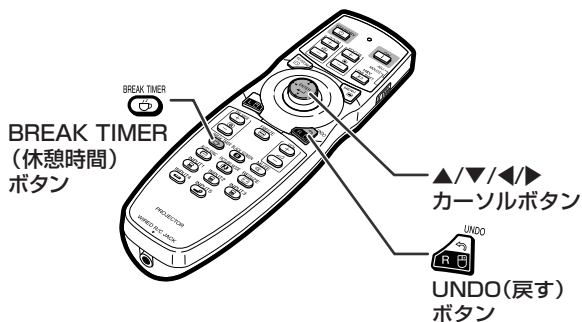
 を押す

- 休憩時間のカウントが始まります。

2

「」が表示されているときに▲または▼、◀、▶を押し、休憩時間を設定する。

- 1分から60分の間で設定できます。(1分単位)
- 休憩時間は▲、▼、◀、▶を押すとすぐに秒読みを始めます。



BREAK TIMER

BREAK TIMER
(休憩時間)
ボタン


▲/▼/◀/▶
カーソルボタン

 UNDO
(戻す)
ボタン

▼表示画面

 4:50

メモ

-  を押すと休憩時間表示が解除されます。
- 休憩時間中は無信号自動電源オフ機能が一時無効になります。
休憩終了後に無信号状態が15分続くと、電源が自動的に待機状態になります。
- 休憩時間は、オープニング画面の上に表示されます。休憩時間中に表示されている画面を変更したいときは、オープニング画面を設定し直してください。(77ページ)
- スタック設定(84ページ)で本機をスレープに設定した場合、休憩時間は表示されません。

メニュー内容一覧

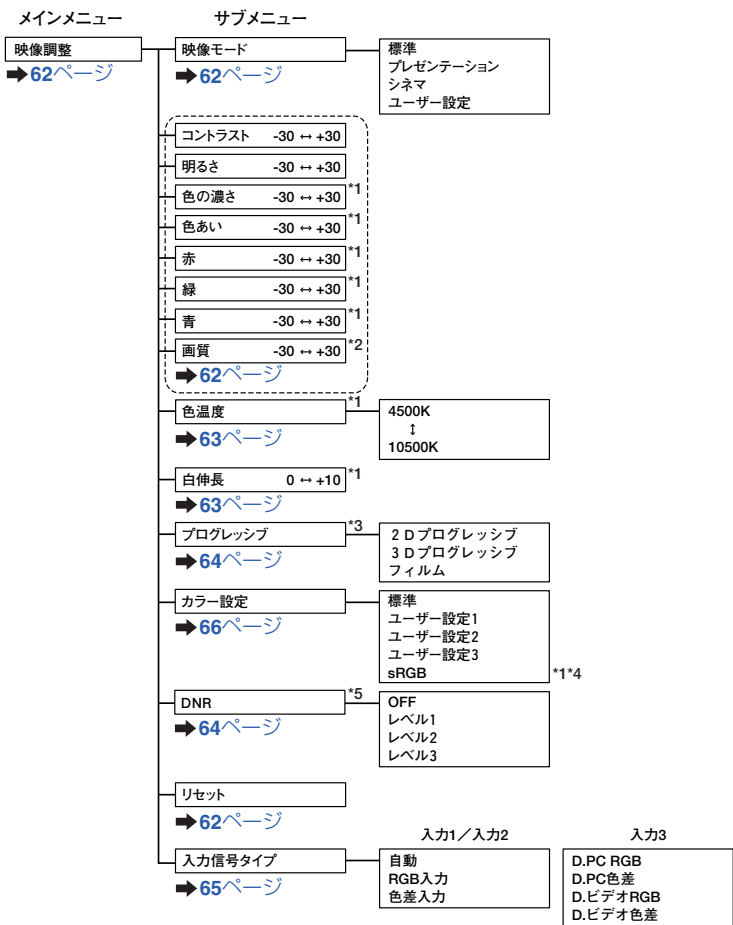
次の項目が本機で設定できます。

「映像調整」メニュー

入力1/入力2/入力3



▽ボタンを押すと、さらに下の項目が表示されます。



- *1 「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、以下の項目の調整は行なえません。
「色の濃さ」「色あい」「赤」「緑」「青」「色温度」「白伸長」
- *2 「画質」は、525I、525P、540P、576I、576P、750P、1125I、1035Iのいずれかの信号が入力されているときのみ設定できる項目です。
- *3 「プログレッシブ」は525I、576I信号が入力されているときのみ設定できる項目です。
- *4 「sRGB」は以下のいずれかのときのみ選択できる項目です。
 - ・「入力信号タイプ」が「RGB入力」「D.PC RGB」「D.ビデオRGB」のいずれかに設定されている場合。
 - ・「入力信号タイプ」が「自動」に設定されていて、かつ入力されている信号が「RGB入力」と判別された場合。
- *5 「DNR」は以下の信号が入力されているときのみ設定できる項目です。
525I、525P、576I、576P

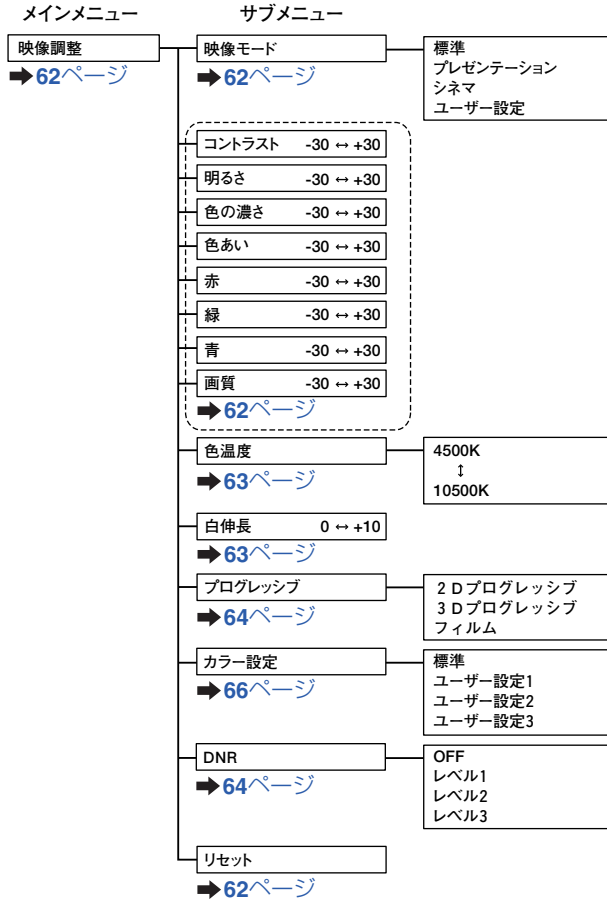
メニュー内容一覧(つづき)

「映像調整」メニュー

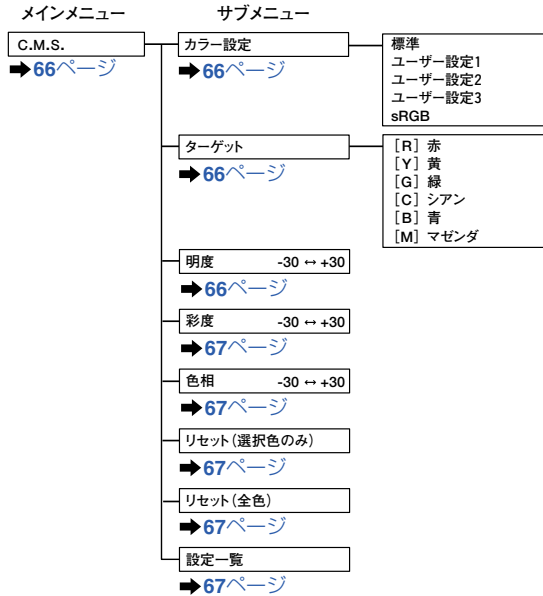
入力4/入力5



▽ ボタンを押すと、さらに下の項目が表示されます。

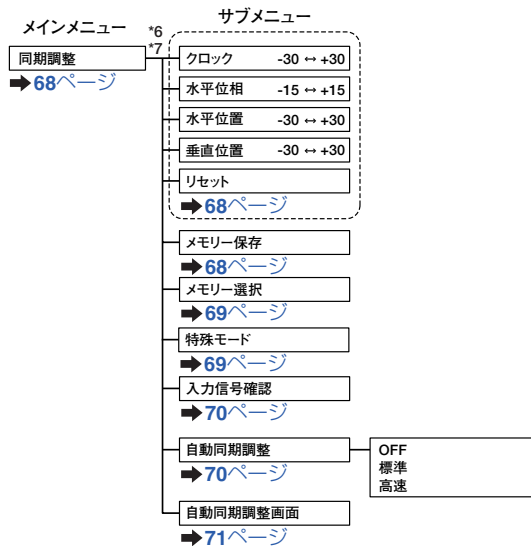


「C.M.S.」メニュー



「同期調整」メニュー

入力1/入力2/入力3

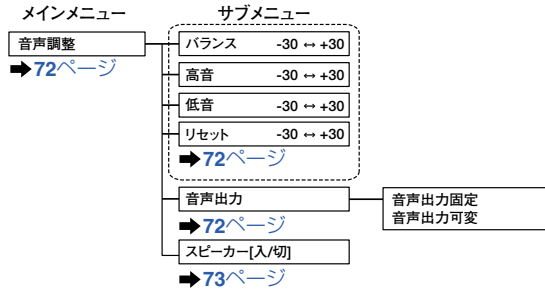
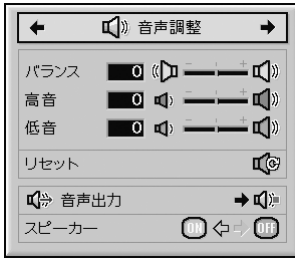


*6 「同期調整」メニューは本機の入力がINPUT(入力)1/2/3のときのみ表示されます。

*7 以下の項目は、入力1あるいは2のときのみ設定できる項目です。
「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」「リセット」
「メモリー保存」「メモリー選択」「特殊モード」

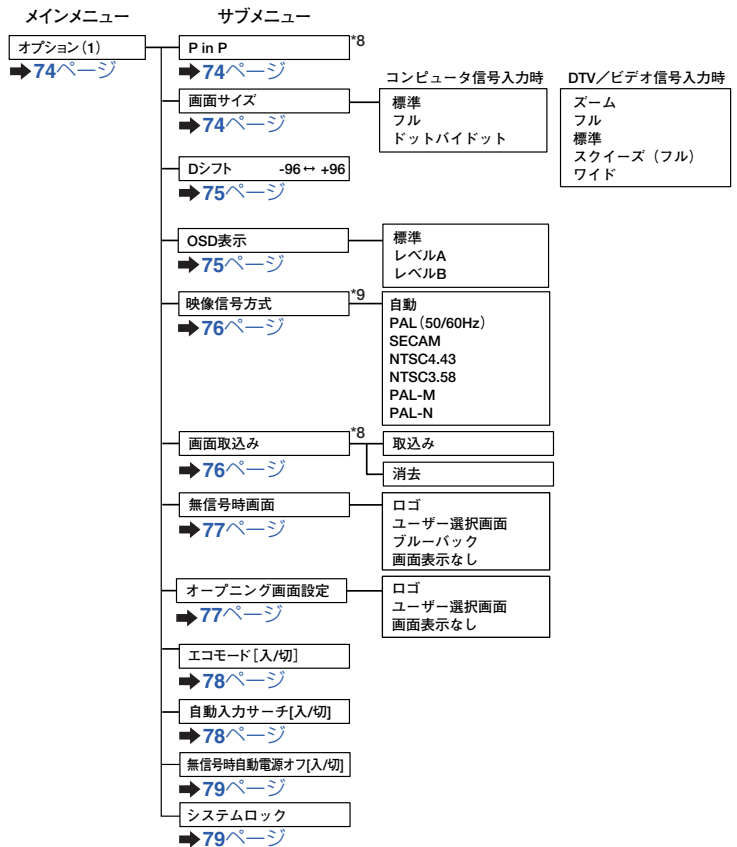
メニュー内容一覧(つづき)

「音声調整」メニュー



「オプション (1)」メニュー

入力1/入力2/入力3



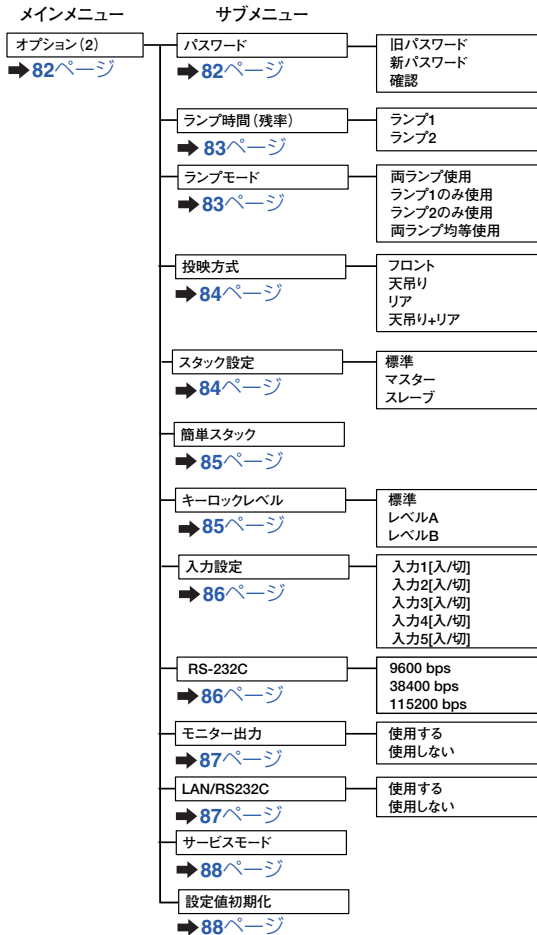
入力4/入力5



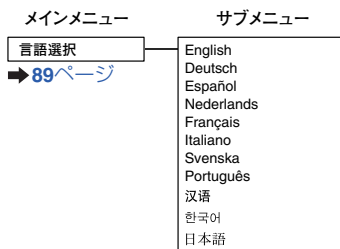
*8 入力1、入力2あるいは入力3にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。

*9 入力4あるいは入力5を選択しているときに設定できる項目です。

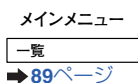
「オプション (2)」メニュー



「言語選択」メニュー

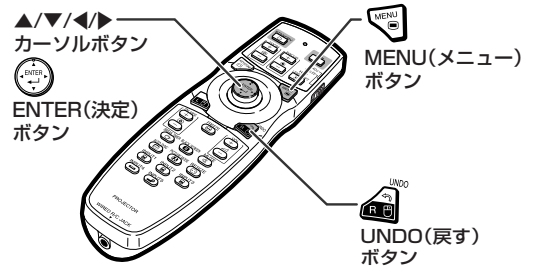
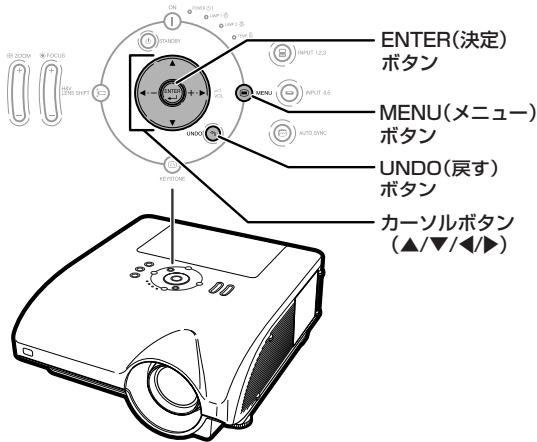


「一覧」メニュー



メニュー操作のしかた

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。調整は次の手順に従って行います。
(設定方法は60～61ページをご覧ください。)



メニュー画面で調整する

例:「明るさ」を調整するとき

• 本体のボタンを使って操作することもできます。

1 MENUを押す

• 選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ◀または▶を押し、調整するメニュー項目を選ぶ



• メニュー項目は下記の項目があります。

メニュー項目	
	映像調整
	C.M.S.
	同期調整
	音声調整
	オプション
	オプション
	言語選択
	一覧

メモ

• 入力4または入力5のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例



3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

- 「映像調整」では「青」から▼を押しと残りの映像調整項目が表示されます。

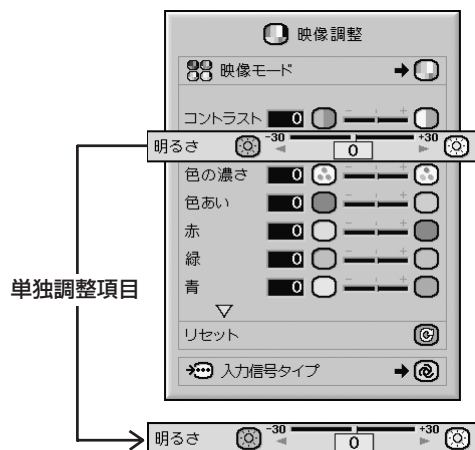
投映している画像を見ながら調整したいとき

ENTER を押す

- 選んだ単独調整項目(例:「明るさ」など)だけが表示されます。
- この項目の状態で▲または▼を押しと次の項目(「明るさ」の次は「色の濃さ」)が表示されます。

メモ

- UNDO を押しと、前の画面に戻ります。



4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- 調整した内容が保存されます。

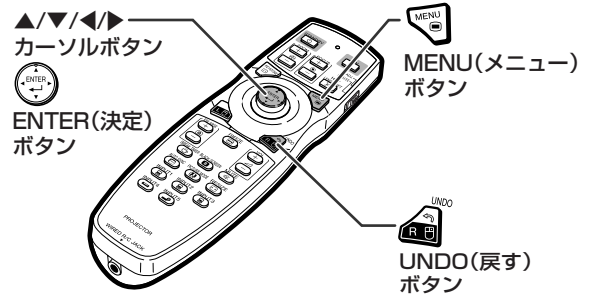
5 MENU を押す

- メニュー画面が消えます。



メニュー操作のしかた(つづき)

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。設定は次の手順に従って行います。(調整方法は58～59ページをご覧ください。)



メニュー画面で設定する

例:「OSD表示」を設定するとき

- 本体のボタンを使って操作することもできます。

1

MENU を押す

- 選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例



2

◀または▶ を押し、調整するメニュー項目を選ぶ

- メニュー項目は下記の項目があります。



例:「オプション(1)」を選んだとき




メモ

- 入力4または入力5のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

3 ▲または▼を押し、設定する項目を選ぶ

- 「映像調整」では「青」から▼を押しと残りの映像調整項目が表示されます。

メモ

-  を押しと、前の画面に戻ります。
- 項目によっては、◀または▶を押し「▶」でアイコンを選び設定します。


4 ▶を押し、カーソルをサブメニューに動かす

5 ▲または▼を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ

6 を押す

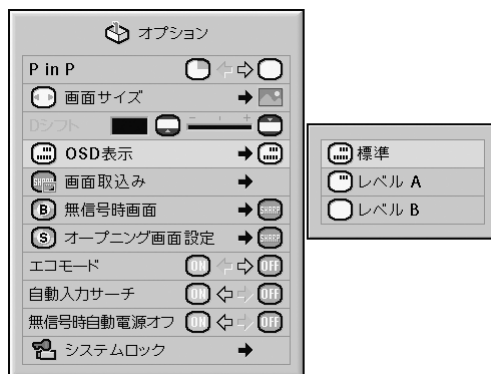
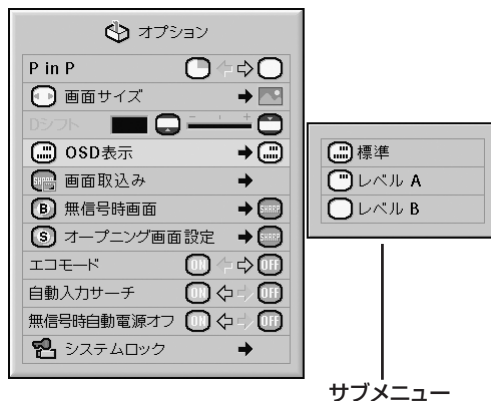
- 選んだ項目が設定されます。

メモ

- メニューの項目によっては、設定内容の確認画面が表示されます。
項目を設定するときは◀または▶で「はい」または「OK」を選び、 を押します。

7 を押す

- メニュー画面が消えます。



投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。

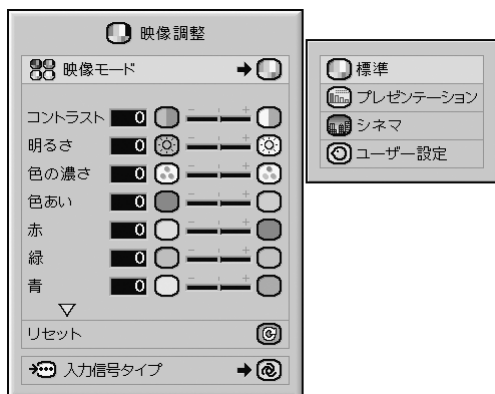
映像モードを選ぶ

部屋の明るさや投映する画像の内容に合わせて映像モードを選ぶことができます。

また、映像モードごとに、お好みの映像に調整することができます。調整内容はそのまま記憶されます。

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB) モードの「映像調整」メニュー画面例



映像モード設定の詳細

選択項目	内容
標準	標準の設定です。
プレゼンテーション	明るくメリハリを効かせたいときに設定します。
シネマ	自然な色合いで投映したいときに設定します。
ユーザー設定	工場出荷状態では、「標準」と同じ映像調整値になります。 専用のソフトウェアを使用することにより、ガンマカーブを調整することが可能です。専用ソフトウェアに関して詳しくは、弊社下記インターネットサイトを参照してください。 http://sharp-world.com/projector/

メモ

- リモコンのPICTURE MODE (映像モード) ボタンでも設定できます。(49ページ)

見やすい映像に調整する

調整するときは、先に映像モードを選んでから行ってください。

操作方法⇒58ページ参照

入力1 (RGB) モードの「映像調整」メニュー画面例



調整項目の詳細

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	コントラストを弱くします。	コントラストを強くします。
明るさ	画像を暗くします。	画像を明るくします。
色の濃さ ^{*1}	うすい色にします。	濃い色にします。
色あい ^{*1}	紫がかった色あいにします。	緑がかった色あいにします。
赤 ^{*1}	赤みを弱くします。	赤みを強くします。
緑 ^{*1}	緑を弱くします。	緑を強くします。
青 ^{*1}	青みを弱くします。	青みを強くします。
画質 ^{*2}	画像の輪郭をやわらかくします。	画像の輪郭をくっきりさせます。

^{*1} 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、「色の濃さ」、「色あい」、「赤」、「緑」、「青」の調整は行えません。(66ページ)

^{*2} 「画質」は、入力1、入力2あるいは入力3に525I、525P、540P、576I、576P、750P、1125I、1035I のいずれかのDTV信号が入力されているとき、または入力4あるいは入力5を選択しているときに設定できる項目です。

メモ

- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び を押します。

色味を変える(色温度設定)

操作方法⇒58ページ参照

入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例



色温度設定の詳細

選択項目	内容
4500K	赤みがかった映像になります。 (温かい感じの色にしたいとき)
↑↓	↑↓
10500K	青みがかった映像になります。 (冷たい感じの色にしたいとき)

メモ

- 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、色温度設定は行えません。(66ページ)

白レベル(白伸長)を調整する

映像の明るい部分をより明るくします。

操作方法⇒58ページ参照

入力1 (RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例



白伸長調整の詳細

◀ボタン	▶ボタン
数値を低くすると色再現性が良くなります。	数値を高くすると明るさが増加します。

メモ

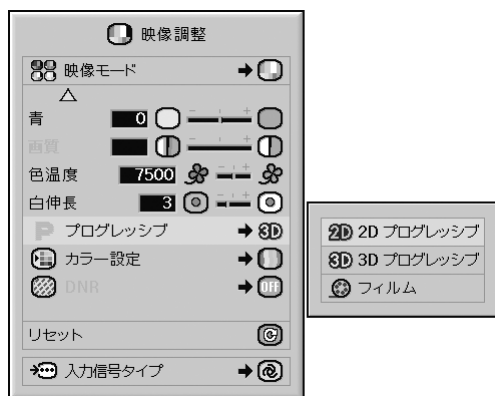
- 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、「白伸長」は調整できません。(66ページ)

投映した映像を調整・設定する (映像調整メニュー) (つづき)

プログレッシブモードを選択する

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB) モードの「映像調整」メニュー画面例



プログレッシブの詳細

選択項目	内容
2Dプログレッシブ	スポーツやアクション映画など、動きの速い映像を投映するのに適しています。
3Dプログレッシブ	ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を投映するのに適しています。
フィルム	フィルムイメージ* 映像ソフトを再生するに適しています。

※ 24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

メモ

- 映像信号方式がNTSCまたはPAL60Hzの機器でフィルムイメージ映像ソフトを再生すると、「3Dプログレッシブ」に設定していても、自動的にフィルムモード機能が働きます。
- 映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。
- プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。

ドットのちらつきやノイズを軽減する(DNR)

デジタルノイズリダクション (DNR) を使うことで、微細なドットのちらつきやクロスカラーノイズを軽減できます。

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB) モードの「映像調整」メニュー画面例



DNR設定の詳細

選択項目	内容
OFF	DNRを働かせないとき
レベル1~3	DNRのレベルを設定するとき

メモ

- 映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定してください。
- 次のような場合は「OFF」に設定します。
 - 画像がぼやけて見えるとき
 - 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
 - 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき

お知らせ

- INPUT (入力) 4またはINPUT (入力) 5に信号が入力されているときに設定が行えます。
- INPUT (入力) 1、2または3を選んでいるときは、入力された信号が525I、525P、576I、576PのときにDNRの設定が行えます。

INPUT(入力)1/2/3端子に接続した機器の信号タイプを設定する(入力信号タイプ設定)

INPUT1(入力)1/2/3端子に接続した入力信号に合わせてRGBか色差(コンポーネント)を選択します。

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB) モードの「映像調整」メニュー画面例



入力信号タイプ設定の詳細

入力1/入力2

選択項目	内容
自動	入力されている信号がRGB信号か、色差(コンポーネント)信号かを自動的に判別します。
RGB入力	RGB信号を入力したときに設定します。
色差入力	色差(コンポーネント)信号を入力したときに設定します。

入力3

選択項目	内容
D. PC RGB	デジタルPC RGB信号をコンピュータから入力したときに設定します。
D. PC 色差	デジタルPC色差(コンポーネント)信号をコンピュータから入力したときに設定します。
D. ビデオRGB	デジタルビデオRGB信号を映像機器から入力したときに設定します。
D. ビデオ色差	デジタルビデオ色差(コンポーネント)信号を映像機器から入力したときに設定します。

カラーマネージメント機能(C. M. S.メニュー)

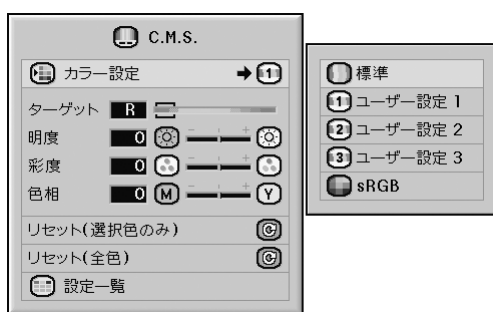
赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの6色それぞれを個別に調整できる機能です。

カラー設定モードを選ぶ

投映画像の色あいを設定します。

操作方法⇒60ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例



カラー設定の詳細

選択項目	内容
標準	標準の設定
ユーザー設定 1~3	「明度」、「彩度」、「色相」を6色それぞれに調整可能
sRGB	原画像に基づいた自然な色あい

メモ

- sRGBはIEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「カラー設定」を「sRGB」に設定すると、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。
- 「カラー設定」が「sRGB」に設定されているとき - 「映像調整」メニューの「色の濃さ」、「色あい」、「赤」、「緑」、「青」、「色温度」、「白伸長」は調整できません。
- sRGB機能についての詳しい情報は、<http://www.srgb.com/>を参照してください。

お知らせ

- 「カラー設定」を「sRGB」に設定すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

ユーザー設定で6色それぞれの特性を個別に調整する対象の色を選ぶ

特性を調整する対象の色を選びます。

操作方法⇒58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例



ターゲットの詳細

R	赤を選びます。	C	シアンを選びます。
Y	黄を選びます。	B	青を選びます。
G	緑を選びます。	M	マゼンタを選びます。

対象色の明るさを設定する

対象として選んだ色の明るさを設定します。

操作方法⇒58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例



明るさの詳細

◀ボタン	▶ボタン
選んだ色を暗くします。	選んだ色を明るくします。

対象色の彩度を設定する

対象として選んだ色の彩度を設定します。

操作方法⇒58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例



彩度の詳細

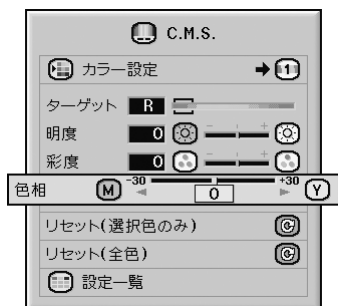
◀ボタン	▶ボタン
選んだ色を淡くします。	選んだ色を濃くします。

対象色の色相を設定する

対象として選んだ色の色相を設定します。

操作方法⇒58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例



色相の詳細

◀ボタン	▶ボタン
選んだ色の赤みを増します。	選んだ色の黄みを増します。

色の設定をリセットする

色の設定をリセットします。

操作方法⇒58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例



リセットの詳細

選択項目	説明
リセット(選択色のみ)	ターゲットで選択している色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定がリセットされます。
リセット(全色)	すべての色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定がリセットされます。

色の設定値を確認する

色の設定値を確認します。

操作方法⇒58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例



	R	Y	G	C	B	M
明度	0	0	0	0	0	0
彩度	0	0	0	0	0	0
色相	0	0	0	0	0	0

コンピュータの画面を調整・設定する(同期調整メニュー)

同期調整と表示モードの設定や入力信号の確認が行えます。

縦縞模様やチラツキを軽減する

(同期調整)

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

操作方法⇒58ページ参照




入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



同期調整の詳細

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します(トラッキング調整)。
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させます。

メモ

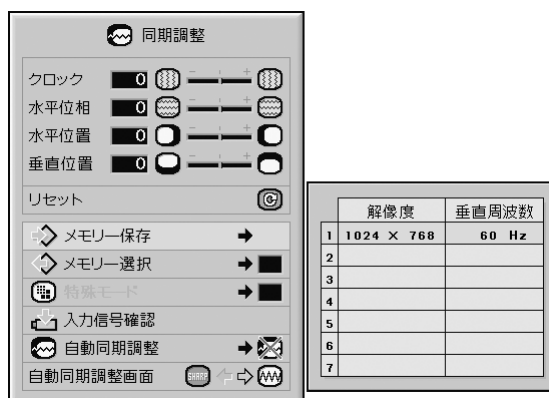
- コンピュータの映像は「同期調整」メニューの「自動同期調整」を「標準」または「高速」にするか、本体の  またはリモコンの  を使うと、簡単に調整できます。詳細については70ページをご覧ください。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び  を押します。

画面調整の内容を登録する

いろいろなコンピュータと接続して使用できるように、調整内容を7種類まで登録できます。

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例

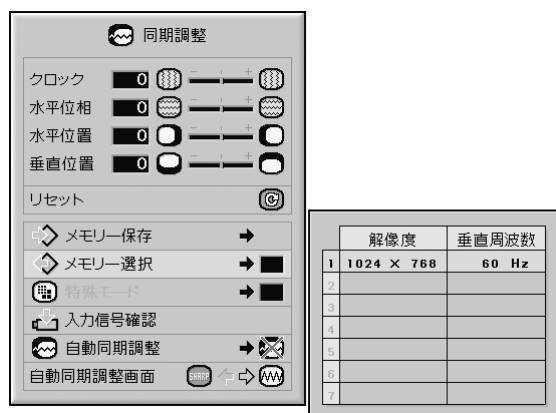


登録した調整内容を読み出す

プロジェクターに登録した画面調整の内容を読み出して設定することができます。

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



メモ

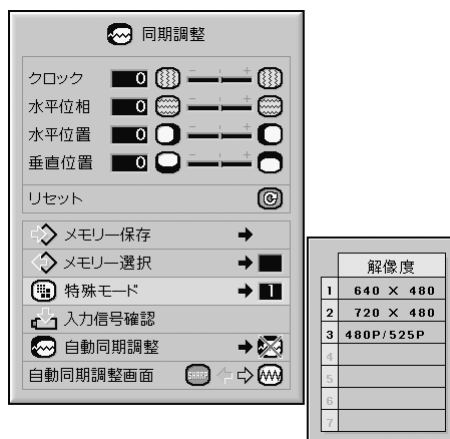
- メモリー番号を設定しなければ、解像度と垂直周波数は表示されません。
- 「メモリー選択」項目で、すでに登録済みの調整内容を読み出すと、プロジェクターを登録済みの調整内容に設定できます。

入力信号に合わせた解像度を選ぶ (特殊モード設定)

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



メモ

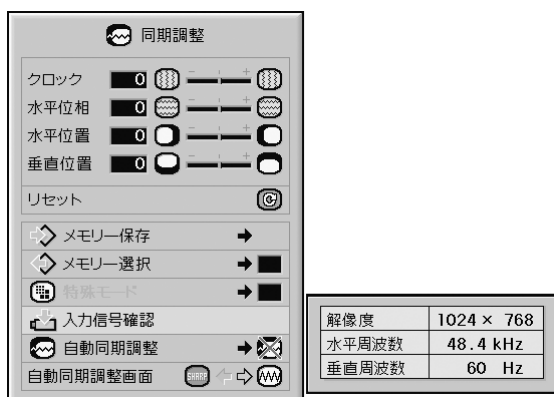
- コンピュータの1ラインおきに繰り返されるパターン（水平方向の縞模様）を表示させると、チラツキがおこり、画面が見にくくなる場合があります。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、「入力信号の情報を確認する（入力信号確認）」(70ページ)をご覧ください。

コンピュータの画面を調整・設定する (同期調整メニュー) (つづき)

入力信号の情報を確認する (入力信号確認)

操作方法 ➡ 58ページ参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



メモ

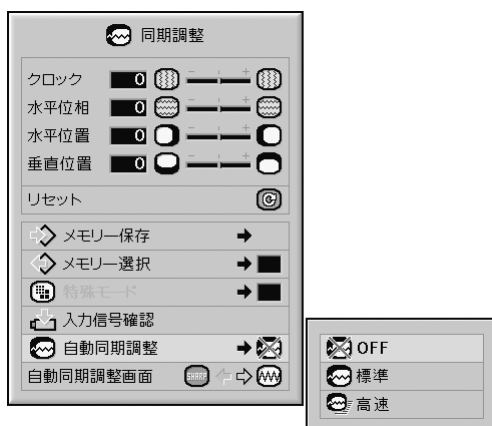
- DVDやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号では、有効走査線数と総走査線数を表示します。

入力信号	本機の表示 (有効走査線数/総走査線数)
525I	480I/525I
525P	480P/525P
750P	720P/750P
1125I	1080I/1125I

コンピュータの画面を自動調整する (自動同期調整機能)

操作方法 ➡ 60ページ参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



自動同期調整機能の詳細

選択項目	内容
OFF	自動同期調整を行いません。
標準	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
高速	「標準」は「高速」に比べて、正確に同期調整を行います。そのため、同期調整の時間が若干長くなります。

メモ

- 自動同期調整は本体の またはリモコンの を使って行うこともできます。
- 自動同期調整は投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整 (68ページ) を行ってください。
- 自動同期調整を「高速」または「OFF」に設定しているとき を押し、高速モードで自動調整を行います。1分以内に再度押し、標準モードで自動調整を行います。

自動同期調整時の画面表示機能

自動同期調整中に表示される画面を設定します。

操作方法 ➡ [58ページ](#)参照

入力1 (RGB) モードの「同期調整」メニュー画面例



自動同期調整画面の詳細

選択項目	内 容
—	無信号時画面で設定されている画面が投映され ず。(77ページ参照)
	調整中のコンピュータ画面が表示されます。

出力した音声を調整・設定する(音声調整メニュー)

音声を調整することができます。

音声を調整する

好みの音声を調整することができます。

操作方法⇒58ページ参照

「音声調整」メニュー画面例



調整項目の詳細

選択項目	◀ボタン	▶ボタン
バランス	左側のスピーカーからの音量が大きくなる。	右側のスピーカーからの音量が大きくなる。
高音	高音が弱くなる。	高音が強くなる。
低音	低音が弱くなる。	低音が強くなる。

メモ

- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び を押します。

音声出力を設定する(音声出力設定)

AUDIO OUTPUT (音声出力) 端子から出力される音声レベルを固定するか、VOLUME (音声) に連動して可変させるかを設定します。

操作方法⇒60ページ参照

「音声調整」メニュー画面例



音声出力機能の詳細

選択項目	内容
音声出力固定	入力された音声信号をそのまま出力します。
音声出力可変	本機の音量調整に連動して、出力される音声信号が可変します。

お知らせ

- 音声出力を「音声出力可変」に設定したときは、本機の音量を最小にしてから、電源の入/切、入力切替を行ってください。

メモ

- オーディオ機器と接続したとき
- オーディオ機器と本体を接続したときは、音声出力固定にすることをおすすめします。音声信号をそのまま出力しますので、より良い音質で楽しむことができます。
 - 音声出力固定を選択したときは、音声と映像が多少ずれる場合があります。
 - デレイタイム設定機能のあるオーディオ機器と接続したときは、最適になるようにデレイタイムを設定してください。
 - デレイタイム設定機能のないオーディオ機器などに接続したとき、映像と音声のずれが気になる場合は、音声出力可変に設定してください。映像と音声のずれを自動補正します。

内蔵スピーカーのオン／オフを設定する(スピーカー設定)

外部アンプと本機を接続した場合など、内蔵スピーカーの音声をオンにするか、オフにするかを設定します。

操作方法 ➡ [58ページ](#)参照

「音声調整」メニュー画面例



スピーカー設定の詳細

選択項目	内容
ON	内蔵スピーカーから音声が出ます。
OFF	内蔵スピーカーから音声が出なくなります。

本機を楽しむための設定をする(オプション(1)メニュー)

「オプション(1)」メニュー画面を使ってさまざまな設定を行うことができます。

2つの画像を表示する(P in P)

同一の画面に2つの画像を表示することができます。入力1、2あるいは3から入力された画像の中に、入力4あるいは5から入力された画像を子画面として表示します。

操作方法⇒58ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例

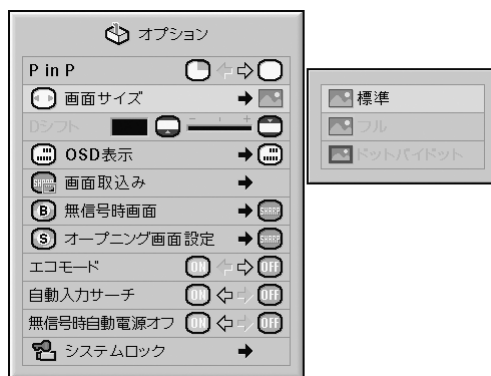


入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える(画面サイズ設定)

入力された信号の種類に合わせて、画面サイズを切り換えることができます。

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例

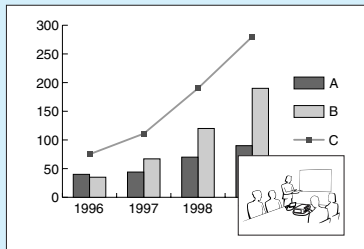


画面サイズの選択項目


コンピュータ信号入力時	DTV/ビデオ信号入力時
標準	ズーム
フル	フル
ドットバイドット	標準
—	スクイーズ(フル)
—	ワイド

メモ

- 子画面用の信号は、NTSC/PAL/SECAMのコンポジット信号とS映像信号です。
- 子画面の音声はプロジェクターのスピーカーから出力されます。
- ピクチャーインピクチャー機能が働いている間は、静止画機能以外の機能は使用できません。なお、静止画機能は子画面に対してのみ使用できます。
- 親画面に入力されている信号が次のような場合、ピクチャーインピクチャー機能は動きません。
 - 入力信号がUXGA、SXGA、SXGA+の場合
 - 入力信号が525I、525P、540P、576I、576P、750P、1125I、1035Iの場合
 - 入力信号がRGB信号で、インターレースのモードになっている場合
- 画面サイズがドットバイドットの場合
- INPUT (入力) 1~3の信号が無信号になったときや、解像度、リフレッシュレート(垂直周波数)が変更された場合



メモ

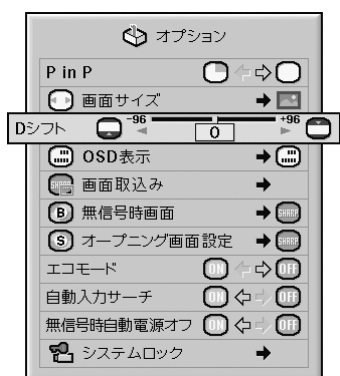
- 画面サイズについて詳しくは、50~51ページをご覧ください。
- 画面サイズはリモコンの  でも設定できます。(50ページ)

映像を上下にシフトする (デジタルシフト)

映像全体を上下にシフトすることができます。DVDやデジタルテレビからの映像(16:9)を投映するとき便利です。

操作方法⇒58ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例



デジタルシフトの詳細

◀ボタン	▶ボタン
映像の位置が下がります。	映像の位置が上がります。

メモ

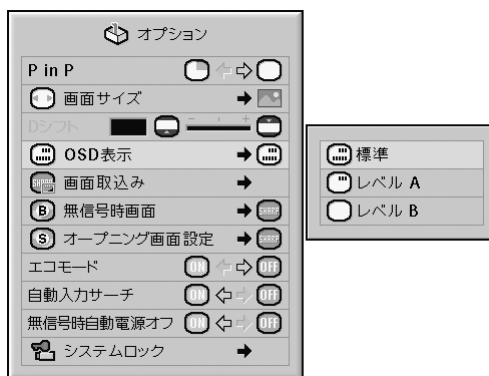
- デジタルシフト機能は、DVDやビデオなどの映像信号を「標準」、「スクイーズ(フル)」、「ワイド」モードで表示しているときに働きます。(51ページ)

画面に表示されている情報を消す (OSD表示)

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例



OSD表示の詳細

選択項目	内容
標準	画面表示のすべてが表示されます。
レベルA	入力モード表示、音量表示、ミュート表示、ブラックスクリーン表示、静止画表示、自動同期調整表示、拡大表示、「無効なボタンが押されました。」は表示されません。
レベルB	メニュー、H&Vレンズシフト、キーストーン、フォーカス、ズーム、「キーロック中です。」および警告用メッセージ以外は表示されません。

メモ

- 「キーロックレベル」が「レベルA」または「レベルB」に設定されている状態で が押された場合は、「OSD表示」の設定にかかわらず「キーロック中です。」が表示されます。

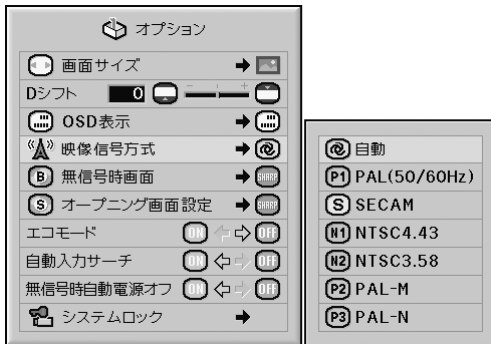
本機を楽しむための設定をする(オプション(1)メニュー)(つづき)

INPUT(入力)4/5端子に接続した機器の映像信号方式を設定する (映像信号方式設定)

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。

操作方法⇒60ページ参照

入力4(ビデオ)モードの「オプション(1)」メニュー画面例



映像信号方式設定の詳細

選択項目	内容
PAL (50/60 Hz)	PAL方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

メモ

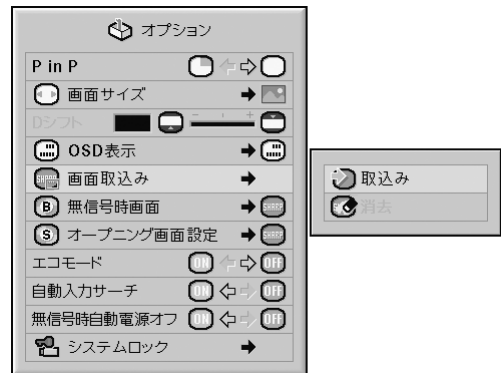
- 映像信号方式は、INPUT(入力)1~3モードでは設定できません。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、「映像信号方式」をそれぞれの入力信号に切り換えてください。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、PAL-M/PAL-N信号が入力されても、PAL表示になります。

投映画像を取り込む (カスタムイメージキャプチャ)


INPUT(入力)1、2または3に接続した機器の投映画像(RGB信号)を本機に取り込み、「ユーザー設定画面」として無信号時画面やオープニング画面として設定することができます。

操作方法⇒60ページ参照

入力1(RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例



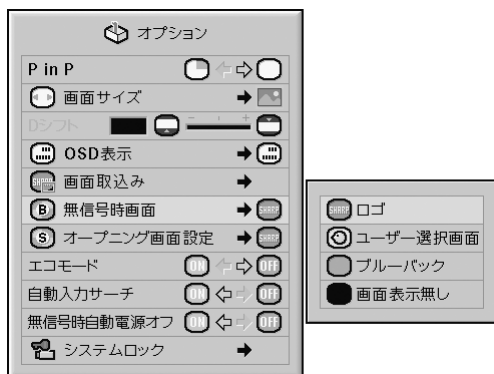
メモ

- 取り込める画像は、INPUT(入力)1、2または3モードのXGA(1024×768)ノンインターレース信号の画像だけです。
- 取り込んだ画像は256色に減色処理されます。
- INPUT(入力)4、5に接続した機器の画像は取り込みません。
- 取り込める画像は1枚だけです。
- カラーマネジメント機能を使って調整された画像を取り込むと、保存の前と後で画像の色が変わることがあります。
- 取り込んだ画像を消去するときは、サブメニュー「消去」を選び、を押してください。

無信号時に投映する画面を設定する (無信号時画面設定)

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例



無信号時画面設定の詳細

選択項目	内容
ロゴ	ロゴ画面
ユーザー選択画面	ユーザー設定画面 (例:会社のシンボルマークなど)
ブルーバック	青い画面
画面表示無し	黒い画面

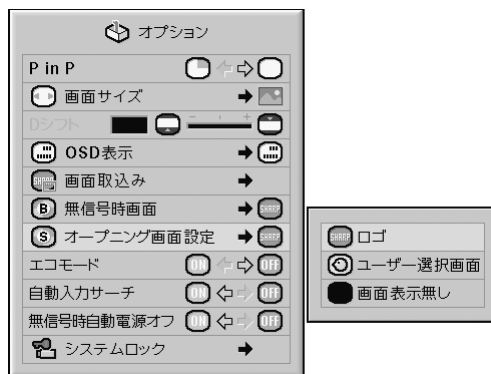
メモ

- 「画面取込み」で取り込んだ画像を設定できます。
- 「ユーザー選択画面」を選ぶと、「画面取込み」で取り込んだ画像を無信号時画面として表示できます。

オープニング時に投映する画面を設定する(オープニング画面設定)

操作方法⇒60ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例



オープニング画面設定の詳細

選択項目	内容
ロゴ	ロゴ画面
ユーザー選択画面	ユーザー設定画面 (例:会社のシンボルマークなど)
画面表示無し	黒い画面

メモ

- 「画面取込み」で取り込んだ画像を設定できます。
- 「ユーザー選択画面」を選ぶと、「画面取込み」で取り込んだ画像をオープニング画面として表示できます。

本機を楽しむための設定をする(オプション(1)メニュー)(つづき)

消費電力を低減する (エコモード設定)

操作方法⇒58ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例



エコモード設定の詳細

選択項目	輝度	消費電力(AC100Vのとき)	ランプ寿命
ON	約80%	505W	約3,000時間
OFF	100%	630W	約2,000時間

メモ

- 「ON」を選択すると、「OFF」と比べて、消費電力が低減すると同時にランプ寿命が長くなります。(投映画面の輝度も約20%低減します。)

入力信号を自動的に検出する (自動入力サーチ)

操作方法⇒58ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例



自動入力サーチ設定の詳細

選択項目	内容
ON	入力されている信号を自動的に検出し、画像を表示します。
OFF	自動入力サーチを行いません。

メモ

- 「自動入力サーチ」の実行中に本体やリモコンのボタンを押すと、サーチを中止します。サーチ動作が完全に終わってから、目的の操作ボタンを押してください。

無信号状態が続くときに電源を自動的に待機状態にする

(無信号時自動電源オフ機能)

操作方法⇒58ページ参照

入力1 (RGB) モードの「オプション(1)」メニュー画面例



無信号時自動電源オフ設定の詳細

選択項目	内容
ON	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
OFF	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

メモ

- 無信号時自動電源オフ機能が「ON」に設定されているときは、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。

プロジェクターを不正に使用できないようにする(システムロック設定)

システムロックとは、キーコード(暗証ボタン)を設定することにより、本機を不正に使用できないようにするための機能です。システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。設定したキーコードは必ずメモしてください。

お知らせ

- キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができませんので、設定したキーコードは、必ずメモしてください。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。詳しくは修理相談センター(103ページ)にご相談ください。

操作方法⇒60ページ参照


入力1 (RGB) モードの「オプション(1)」メニュー画面例



旧コード	- - - -
新コード	- - - -
確認	- - - -

キーコードを設定する

1 「オプション(1)」メニューの「システムロック」を選び、▶を押す

- メッセージが表示されます。
- メッセージをお読みになり、を押してください。

2 本体またはリモコンのボタンを押し、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

- はじめて設定するときは、本体の▼ボタンを4回押してください。

旧コード	■ - - - -
新コード	- - - -
確認	- - - -

つづく

本機を楽しむための設定をする(オプション(1)メニュー)(つづき)

メモ

- 誤ったキーコードを入力すると、「旧コード」入力行のはじめに戻ります。
- 本機はあらかじめ本体の▼ボタン4つがキーコードとして設定されています。本体の▼ボタン4つは、電源を入れたときにキーコード入力画面を表示させないようにするキーコードです。

3 本体のボタンまたはリモコンのボタン を押し、「新コード」の欄に新しい4つ のキーコードを入力する

メモ

- 次のボタンはキーコードとして設定することができません。
 - ON (電源入) ボタン
 - STANDBY (スタンバイ) ボタン
 - ENTER (決定) ボタン
 - L-CLICK (左クリック) ボタン
 - R-CLICK/UNDO (右クリック/戻す) ボタン
 - MENU (メニュー) ボタン
 - ZOOM (ズーム) ボタン
 - FOCUS (フォーカス) ボタン
 - H&V LENS SHIFT (縦横レンズシフト) ボタン
- リモコンと本体のボタンは、同じ名称のボタンでも別のボタンとして認識されます。本体のボタンをキーコードに設定した場合は、本体のボタンを押します。リモコンのボタンをキーコードに設定した場合は、リモコンのボタンを押します。

4 確認欄にもう一度同じキーコードを 入力する

メモ

電源を入れたときにキーコード入力画面を表示させたくないとき

- 手順2と3で本体の▼を4回押してください。

システムロックが設定されているとき

- 「システムロック」が設定されているときは、電源を入れた後にキーコード入力欄が表示されるので、正しいキーコードを入力してください。キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

キーコードを変更する

キーコードを変更したいときには、以下の手順で変更する

旧コード	■ - - -
新コード	- - - -
確認	- - - -

1 リモコンまたは本体のボタンを押して、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

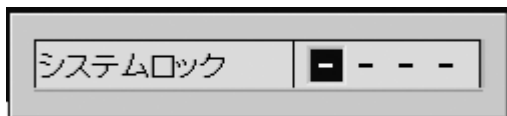
2 リモコンまたは本体のボタンを押して、新しいキーコードを入力する

3 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

システムロックを設定したとき



システムロックを設定したときは、キーコードを入力し、以下の手順で解除する

▼キーコード入力画面



メモ

- システムロックを設定したときは、電源を入れた後、キーコード入力画面が表示されます。
- キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投射されません。

1 リモコンの  または本体の  を押して、電源を入れる

2 キーコード入力画面が表示されたら、設定したキーコードを入力する

メモ

- キーコードは、本体のボタンとリモコンのボタンを区別して扱います。本体のボタンでシステムロックを設定した場合は本体のボタンで、リモコンのボタンで設定した場合はリモコンのボタンでキーコードを入力してください。

設置時に設定しておく便利な機能 (オプション(2)メニュー)

「オプション(2)」メニューを有効にするためにパスワードを設定する(パスワード設定)

- パスワードは、「オプション(2)」メニューを有効にするための4桁の数字です。
- 工場出荷時は、パスワードが未設定の状態のため、「オプション(2)」メニューは操作できるようになっていません。
- 「オプション(2)」メニューを他の人に操作されたくないときは、パスワードの設定をしてください。

操作方法⇒60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



1 「オプション(2)」メニューの「パスワード」を選び、▶を押す

- パスワード入力画面になります。

2 ▲または▼を押し、パスワード番号の1桁目の数字を選択し▶を押す

3 同様に残りの3桁を入力し [ENTER] を押す

4 確認欄にもう一度同じ数字を入力し、[ENTER] を押す

お知らせ

- 「オプション(2)」メニューを使うときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

パスワードを変更する

旧パスワード	■ - - -
新パスワード	- - - -
確認	- - - -

1 ▼、▲または▶を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、[ENTER] を押す

2 新しいパスワードを▼、▲または▶を使って入力し、[ENTER] を押す

3 確認欄にもう一度同じパスワード4桁を入力し、[ENTER] を押す

メモ

- パスワードを未設定状態にしたいときは、手順2と手順3でパスワードを入力しないで [ENTER] を押してください。
- 設定を途中で止めるときは、[UNDO] を押します。

パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除した後、あらためてパスワードを設定してください。

本体のボタン

ON | → | [ENTER] | → | ON | → | [ENTER] | → | ON | → | [ENTER] | → | [MENU] |
を順に押す

ランプ使用時間を確認する (ランプ時間(残率))

ランプの使用時間と残率が表示されます。

操作方法⇒58ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



ランプ時間(残率)の詳細

ランプ使用条件	ランプ使用可能時間	
	100%	5%
常に「エコモード」を「ON」にして使用	約3,000時間	約150時間
常に「エコモード」を「OFF」にして使用	約2,000時間	約100時間

メモ

- ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
- 上の表は、「エコモード」が「ON」または「OFF」、それぞれのモードのみで継続使用した場合を例に記載しています。
- 本機のランプ寿命は、使用状況によって変わることがあります。

ランプモードを設定する (ランプモード設定)

プロジェクターには2つのランプが搭載されています。これら2つのランプの使いかたを選ぶことができます。

操作方法⇒60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



ランプモードの詳細

選択項目	内容
両ランプ使用	両方のランプを同時に使うことで、より明るい投映にします。
ランプ1のみ使用	ランプ1のみを使います。ランプ1が切れたら、自動でランプ2に切り換えます。
ランプ2のみ使用	ランプ2のみを使います。ランプ2が切れたら、ランプ1に自動で切り換えます。
両ランプ均等使用	両ランプを一定間隔で交互に一灯ずつ使います。

設置時に設定しておく便利な機能(オプション(2)メニュー)(つづき)

投映環境に合わせた投映方式を選択する(投映方式設定)

本機は投映する環境に合わせて映像を左右／上下反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

操作方法⇒60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



投映方式設定の詳細

選択項目	内容
フロント	通常映像
天吊り	上下反転された映像
リア	左右反転された映像
天吊り+リア	左右／上下反転された映像

メモ

- この機能はプロジェクターをスクリーンの後ろから投映したり、天井に取り付けて投映する場合に設定します。(25ページ)

複数のプロジェクターを一括制御する(スタック設定)

スタック投映やビデオウォール投映をするときに、1つのリモコンで複数のプロジェクターを一括コントロールすることができます。この機能を使用するときは、複数のプロジェクターをLANケーブルで接続し、1台をマスター(親機)、その他をスレーブ(子機)として割り当てます。LANケーブルの接続については37ページをご覧ください。

操作方法⇒60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



スタック設定の詳細

選択項目	内容
標準	スタック設定を行いません。
マスター	マスター(親機)として設定します。
スレーブ	スレーブ(子機)として設定します。

メモ

- 複数のプロジェクターを一括コントロールするときは、上記の設定のほかにWebブラウザ経由での設定が必要です。設定や接続方法の詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。
- 2台のみのプロジェクターを一括コントロールするときは、「簡単スタック」を使用することにより、Webブラウザ経由での設定が不要になります。(85ページ)
- スレーブ側に設定したプロジェクターはリモコンで操作できません。リモコン操作したいときは、ワイヤード接続で操作してください。(20ページ)

2台のプロジェクターでスタック投映するための設定を簡単に行う

(簡単スタック設定)

スタック投映を行うとき、通常はWebブラウザ経由でネットワークを設定する必要があります。2台のプロジェクターでスタック投映するときのみ、Webブラウザを利用せずに簡単に設定することができます。

操作方法⇒58ページ参照

メモ

- 「スタック設定」で「マスター」または「スレーブ」をあらかじめ設定してください。

「オプション(2)」メニュー画面例



プロジェクターの操作ボタンをロックする(キーロック)

本体のボタンをロックすることができます。

操作方法⇒60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



キーロックの詳細

選択項目	内容
標準	すべてのボタンが機能します。
レベルA	入力切換、音量以外のボタンがロックされます。
レベルB	すべてのボタンがロックされます。

1 「オプション(2)」メニューの「簡単スタック」を選び、**ENTER**を押す

- 確認画面が表示されます。

2 「OK」を選択し、**ENTER**を押す

- プロジェクターのネットワーク設定が以下のように変更されます。

	マスター	スレーブ
IPアドレス	192.168.150.2	192.168.150.3
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	0.0.0.0
ユーザ名	(クリアされます)	(クリアされます)
パスワード	(クリアされます)	(クリアされます)
データポート	10002	10002

設置時に設定しておく便利な機能(オプション(2)メニュー)(つづき)

使わない入力モードをスキップする(入力設定)

使わない入力モードを選択できないように設定することで、本体のINPUT(入力切換)1、2、3ボタンまたはINPUT(入力切換)4、5ボタンを押したときに、その入力モードをスキップすることができます。

操作方法⇒60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



入力設定の詳細

選択項目	内容	
入力1~5	ON	入力1~5の選択を有効にします。
	OFF	入力1~5の選択を無効にします。

RS-232Cの通信速度を設定する(RS-232C設定)

プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。

操作方法⇒60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



RS-232Cの詳細

選択項目	内容
9600bps	通信速度が遅い ↑ ↓ 通信速度が速い
38400bps	
115200bps	

メモ

- 詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。
- コンピュータの通信速度の設定はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

電源が待機状態時の消費電力をおさえる(モニター出力設定)

モニター出力が「使用する」に設定されていると、電源が待機状態でもモニター出力が働き、電力を消費します。モニターを接続していないときは「使用しない」に設定することをおすすめします。電源が待機状態のときの消費電力を減らすことができます。

操作方法⇒60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



モニター出力の詳細

選択項目	内容
使用する	電源が待機状態時でも、モニター出力機能が働きます。
使用しない	電源が待機状態時には、モニター出力機能をオフにします。

電源が待機状態時の消費電力をおさえる(LAN/RS232C設定)

LAN/RS232Cが「使用する」に設定されていると、電源が待機状態でもLAN/RS232C機能が働き、電力を消費します。LAN/RS-232Cを使用していないときは「使用しない」に設定することをおすすめします。電源が待機状態のときの消費電力を減らすことができます。

操作方法⇒60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



LAN/RS232Cの詳細

選択項目	内容
使用する	電源が待機状態時でも、LAN/RS232C機能が働きます。
使用しない	電源が待機状態時には、LAN/RS232C機能をオフにします。

メモ

- LAN/RS232Cで本機を制御する場合には、「使用する」に設定してください。

設置時に設定しておく便利な機能(オプション(2)メニュー)(つづき)

プロジェクター修理時に使う設定 (サービスモード)

サービスモードは、サービスマンまたは設置業者が使用するメニューです。お客様は、選択しないでください。

「オプション(2)」メニュー画面例



設定値を工場出荷状態に戻す

この機能を使って、設定内容を初期化することができます。

操作方法⇒58ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例



メモ

ネットワーク設定について

「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、その他のネットワーク設定項目も初期化されます。

次の項目は初期化されません。

- 「C.M.S.」(カラーマネージメント)メニュー
 - ・ 「C.M.S.」メニューのユーザー設定1～3に個別に保存された「明度」、「彩度」、「色相」
- 「同期調整」メニュー
 - ・ 特殊モード
- 「オプション(1)」メニュー
 - ・ システムロック
- 「オプション(2)」メニュー
 - ・ ランプ時間(残率)
- 「言語選択」メニュー
- 画像取り込みした画像

その他の機能（言語選択メニュー／一覧メニュー）

画面に表示する言語を選択する （言語選択）

本機は表示画面の言語として英語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、日本語に切り換えることができます。

操作方法 ➡ 60ページ参照

「言語選択」メニュー画面例



調整内容を一覧で確認する（一覧）

調整した設定内容すべてを一覧で確認することができます。

操作方法 ➡ 60ページ参照

「一覧」メニュー画面例

映像調整 / 音声調整	同期調整	オプション / その他	
映像モード 7500 色温度 クロック コントラスト プロテクト 明るさ カラー設定 色の選び DNR 音あり 入力源タイプ 音量 バランス 赤 音声 緑 低音 青 音声出力 白 白平衡	クロック 0 水平位相 0 水平位置 0 垂直位置 0 メモリ選択 特殊モード 1 エコモード 自動同期探索 自動同期調整画面	画面サイズ ランプ 1 Dソフト ランプ 2 OSD表示 ランプモード 無番号時画面 投影方式 オープニング画面設定 スタック設定 キーロックレベル 1,2,3,4,5 自動入力ガード 無線LAN 115200bps RS-232C	モニター出力 LAN/RS232C XG-PH50X プロジェクター 192.168.150.2 IPアドレス 08:00:1f:98:eb:68 MACアドレス ファームウェア1 0.90 ファームウェア2 シリアルNo.

メモ

- 本機のネットワーク情報（プロジェクター名やIPアドレス、MACアドレス）は、この「一覧」表示で確認することができます。

表示項目	内容
プロジェクター	本機に設定しているプロジェクター名が表示されます。（出荷設定:XG-PH50X）
IPアドレス	本機に設定しているIPアドレスが表示されます。（出荷設定値:192.168.150.2）
MACアドレス	本機のMACアドレスが表示されます。

- プロジェクター名とIPアドレスの変更のしかたについては同梱のCD-ROMに収録の「セットアップガイド」をご覧ください。

PDF取扱説明書の見かた(Windows®, Macintosh®)

本機に付属のCD-ROMの中には、PDF取扱説明書が収録されています。このPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAdobe® Reader®が必要です。お持ちのコンピュータ(Windows®やMacintosh®コンピュータ)にAdobe® Reader®がインストールされていない場合は、インターネット (<http://www.adobe.co.jp>) からAdobe® Reader®をダウンロードしてください。

PDF取扱説明書にアクセスする

Windowsコンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② “マイコンピュータ” アイコンをダブルクリックする。
- ③ “CD-ROM” ドライブをダブルクリックする。
- ④ プロジェクターの取扱説明書を見たいときは
 - 1) “MANUALS” フォルダをダブルクリックする。
 - 2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。
 - 3) “PH50_J.PDF” ファイルをダブルクリックする。

セットアップガイドを見たいときは

- 1) “SETUP” フォルダをダブルクリックする。
- 2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。
- 3) “S_PH5_J.PDF” ファイルをダブルクリックする。

Macintoshコンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② “CD-ROM” ドライブをダブルクリックする。
- ③ プロジェクターの取扱説明書を見たいときは
 - 1) “MANUALS” フォルダをダブルクリックする。
 - 2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。
 - 3) “PH50_J.PDF” ファイルをダブルクリックする。

セットアップガイドを見たいときは

- 1) “SETUP” フォルダをダブルクリックする。
- 2) “JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。
- 3) “S_PH5_J.PDF” ファイルをダブルクリックする。

お知らせ

- ・マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Adobe Readerをまず起動させてから、“ファイル” “開く” メニューを使ってPDFファイルを開いてください。

セットアップガイド (PDFファイル) のもくじ

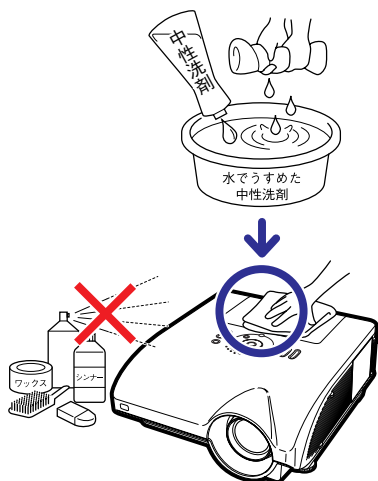
セットアップガイドはCD-ROMに入っています。

スクリーンを設置する	2	RS-232CまたはTelnet経由で	
画面サイズと投映距離	3	本機を制御する	31
本体のコネクターのピン配置	10	スタック投映	38
RS-232C仕様とコマンド	12	ビデオウォール投映	41
本機のネットワーク設定をする	17	困ったときは	50
本機をLAN経由で制御する	23	寸法図	53
RS-232CまたはTelnet経由で			
本機を設定する	28		

お手入れのしかた

キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットをお手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

レンズのお手入れのしかた



- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



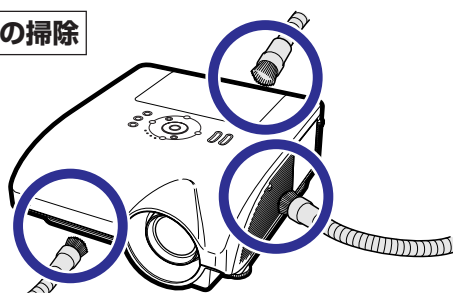
通風孔や吸気孔カバーのお手入れのしかた

- 排気孔や吸気孔、吸気孔カバー(底面)の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。

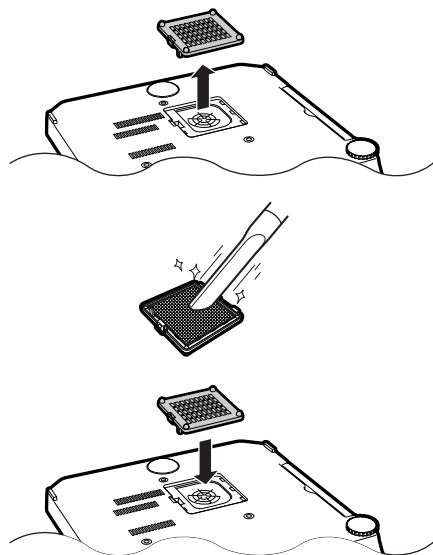
お知らせ

- プロジェクターの動作中に通風孔や吸気孔カバーの掃除を行う場合は、本体の  STANDBY またはリモコンの  STANDBY を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まってから、電源プラグを本機から抜いて行ってください。

通風孔の掃除



吸気孔カバーの掃除

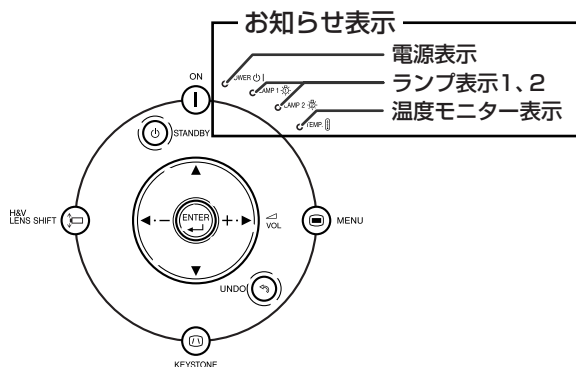


メモ

- 吸気孔カバーは、約100時間を目安に掃除を行ってください。特にほこりやタバコの煙などが多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。
- 吸気孔カバーはしっかり取り付けてください。正しく取り付けられていないと、電源が入りません。(電源表示が赤で点滅します。)

お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターもしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について





設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「**温度**」が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、90秒のファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「**温度**」の表示が出た時点で**93ページ**の表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について



ランプ2の場合は、「ランプを交換してください。(ランプ 2)」のメッセージが表示されます。

- ランプ残率が5%以下になると、「 (黄色)」と「ランプを交換してください。(ランプ 1/2)」が画面に表示されます。
- ランプ残率が0%になると、「 (赤色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ(光源)が消灯し、ランプ表示が赤色点灯します。ランプを交換せずに電源を入れ直すと、**4回目からは残率が0%になったランプは点灯しなくなりますのでご注意ください。**

お知らせ表示			現 象	考えられる原因	処置のしかた
正 常	異 常				
温度モニター表示	消 灯	赤色点灯待機状態	内部温度が高温になっている	● 通風孔がふさがれている	● 正しい設置場所に設置してください。(13ページ)
				● 冷却ファンの故障 ● 内部回路の故障 ● 内部通風孔の目づまり ● 吸気孔カバーの目づまり	● 販売店、またはもよりのシャープお客様相談窓口(103ページ)に修理を依頼してください。 ● 排気孔や吸気孔、吸気孔カバーのお手入れをしてください。(91ページ)
ランプ表示 1、2	緑色点灯 (緑色点滅は光源起動中)	赤色点灯	ランプが正常に起動(点灯)しない	—	● 電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。
		赤色点灯待機状態	ランプ交換時期	● ランプ残率が5%以下になった	● ランプを交換してください。(95ページ)
			ランプ(光源)が点灯しない	● ランプ(光源)が切れた ● ランプ(光源)点灯回路故障	● ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様相談窓口(103ページ)にお問い合わせください。 ● ランプを交換するときは、注意して行ってください。
電源表示	赤/緑色点灯	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	● 吸気孔カバーが外れている(確実に取り付けられていない)	● 吸気孔カバーをしっかりと取り付けてください。 ● 吸気孔カバーをしっかりと取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープお客様相談窓口(103ページ)にお問い合わせください。

お知らせ

- 温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、温度モニター表示が点灯します。排気孔や吸気孔がふさがれていないことを確認(13ページ)し、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(10分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

ランプを交換する

ランプについて

- 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプユニット（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプユニットと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（83ページ参照）
- ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコモードON：ランプ残率約67% / エコモードOFF：ランプ残率約50%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 別売のランプユニット1（形名：AN-PH5LP1）やランプユニット2（形名：AN-PH5LP2）は、お買いあげの販売店でご購入ください。

⚠ 警告

- ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



ランプ使用上のご注意

- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。

⚠ 警告

- 当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。



ランプ交換時のご注意

⚠ 警告

- ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
- ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。



ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。

*なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。



* 新しいランプユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

ランプ交換のしかた

お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプユニットを取り外してください。ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- ケガやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ランプユニットカバーとランプユニット以外のネジは絶対に外さないでください。(銀色のネジ以外はゆるめないでください。)

1 本体の またはリモコンの を押しプロジェクターを待機状態にする

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。

警告

- ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

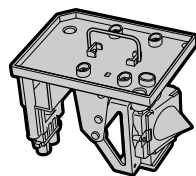
2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- 電源コードをAC電源ソケットから外します。
- ランプユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

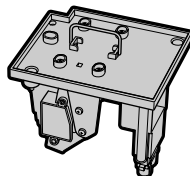
3 ランプユニットカバーを取り外す

- ランプユニットカバーを固定しているランプ交換用ネジをゆるめます(①)。矢印の方向にスライドさせてランプユニットカバーを取り外します(②)。

別売品

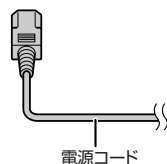
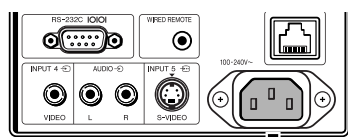
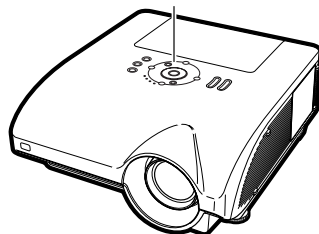
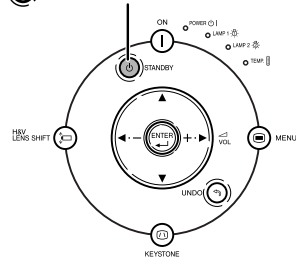


ランプユニット1
形名
AN-PH5LP1

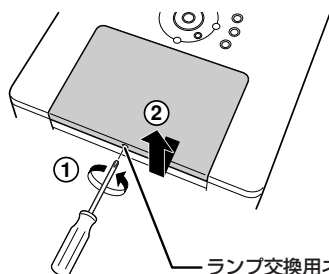


ランプユニット2
形名
AN-PH5LP2

STANDBY (スタンバイ) ボタン



電源コード

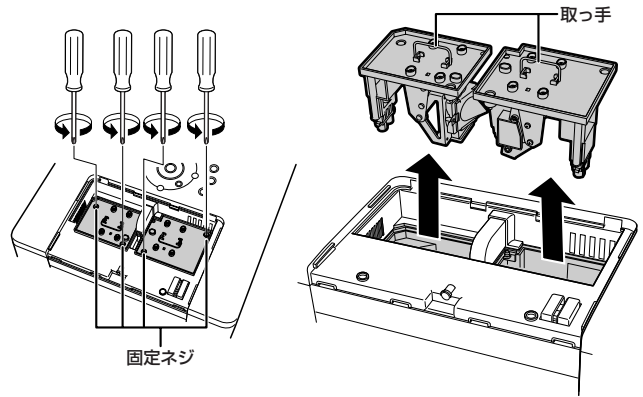


ランプ交換用ネジ

ランプを交換する(つづき)

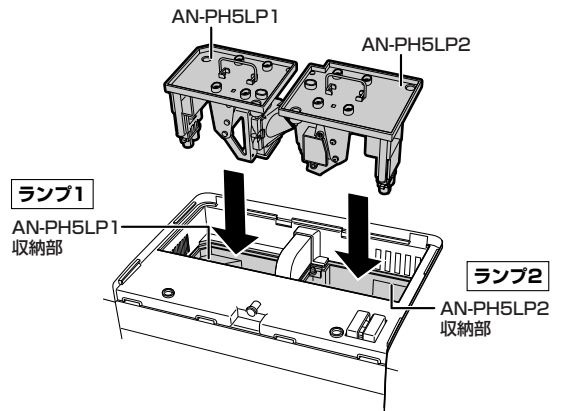
4 ランプユニットを取り外す

- ランプユニットの固定ネジ(それぞれ2ヶ所)をゆるめ、取っ手をつかんでランプユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。



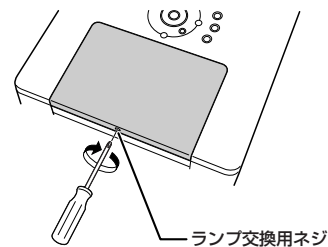
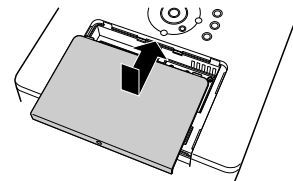
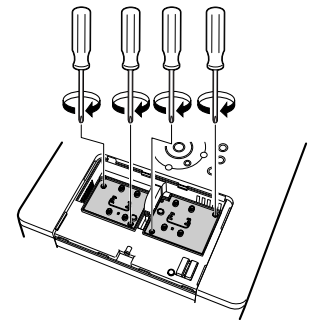
5 新しいランプユニットを挿入する

- ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめめます。
- ランプユニットを交換するときは、AN-PH5LP1、AN-PH5LP2、それぞれの収納部に合ったランプユニットを使用してください。



6 ランプユニットカバーを取り付ける

- ランプユニットカバーを本体に合わせてからスライドさせランプユニットカバーを取り付けます。ランプ交換用ネジを閉め、ランプユニットカバーを固定します。



お知らせ

- 電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

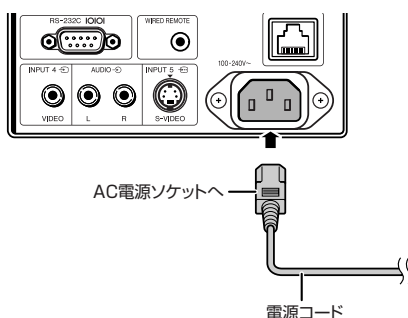
ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

お知らせ

- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外に行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。

1 電源コードをプロジェクトターに接続する

- 電源コードをプロジェクトターのAC電源ソケットに接続します。



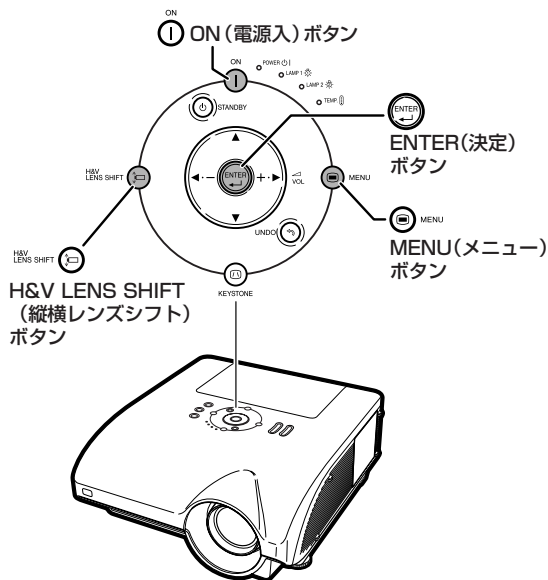
2 ランプ使用時間をリセットする

ランプ1

- AN-PH5LP1側をリセットするときは、本体の H&V LENS SHIFT (H&V) と ENTER (決定) を同時に押しながら、ON (電源入) を押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP1 100%」が表示されます。

ランプ2

- AN-PH5LP2側をリセットするときは、本体の MENU と ENTER (決定) を同時に押しながら、ON (電源入) を押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP2 100%」が表示されます。



RGB入力信号(推奨信号)一覧表

下表は本機が対応している信号モード一覧です。映像が乱れる、映らない等の問題がある場合は、下表を参考にコンピュータなどの出力信号を調整してください。

コンピュータ

- 幅広い信号に対応
 水平周波数：15kHz～126kHz
 垂直周波数：43Hz～200Hz
 ドットクロック：12MHz～230MHz
 同期信号：TTLレベルに対応。
- シンクオングリーン信号に対応。
- 高品位圧縮表示により、UXGA、SXGA+、SXGAに対応。
- AICSリサイズ技術（高品位圧縮表示／拡大表示技術）採用。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA規格	DVIサポート信号	ディスプレイ	
PC	VGA	640 × 350	27.0	60			拡大表示
			31.5	70			
			37.9	85	✓		
		720 × 350	27.0	60			
			31.5	70		✓	
			37.9	85	✓	✓	
	640 × 400	27.0	60		✓		
		31.5	70		✓		
		37.9	85	✓	✓		
	720 × 400	27.0	60		✓		
		31.5	70		✓		
		37.9	85	✓	✓		
	640 × 480	26.2	50				
		31.5	60		✓		
		34.7	70				
		37.9	72	✓	✓		
		37.5	75	✓	✓		
		43.3	85	✓	✓		
		47.9	90				
		53.0	100				
		61.8	120				
		78.5	150				
		80.9	160				
		100.4	200				
	SVGA	800 × 600	31.4	50			
			35.1	56	✓	✓	
			37.9	60	✓	✓	
			44.5	70			
			48.1	72	✓	✓	
			46.9	75	✓	✓	
			53.7	85	✓	✓	
			56.8	90			
			64.0	100			
			77.2	120			
			98.3	150			
			102.1	160			
XGA	1,024 × 768	125.6	200				
		35.5	43		✓		
		40.3	50				
		48.4	60	✓	✓		
		56.5	70	✓	✓		
		58.1	72				
		60.0	75	✓	✓		
		68.7	85	✓	✓		
		73.5	90				
		77.2	96				
		80.6	100				
		98.8	120				
113.2	140						
PC	SXGA	1,152 × 864	54.3	60		✓	高品位圧縮表示
			64.0	70			
			64.1	72			
			67.5	75	✓	✓	
			75.7	80			
			77.3	85			
		1,152 × 882	90.2	100			
			54.8	60			
			65.9	72			
			67.4	74			
			64.0	60	✓	✓	
			74.6	70			
	1,280 × 1,024	78.1	74				
		80.0	75	✓			
		91.1	85	✓			
		108.4	100				
		SXGA+	1,400 × 1,050	64.0	60		
				74.7	52		
	UXGA	1,600 × 1,200	75.0	60	✓		
			81.3	65	✓		
			87.5	70	✓		
			90.1	72			
			93.8	75	✓		
			106.3	85	✓		
PC/MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67			拡大表示
PC/MAC 19"	XGA	1,024 × 768	48.4	60	✓	✓	リアル表示
			60.0	75	✓	✓	
PC/MAC 21"	SXGA	1,280 × 1,024	80.0	75	✓		高品位圧縮表示
MAC 16"	SVGA	800 × 600	46.8	75			拡大表示
			49.6	75			
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.5	75			高品位圧縮表示
HP (WS)	SXGA	1,280 × 1,024	78.1	72			
PC (WS)			60.0	60	✓		
WS			1,280 × 960	85.9	85		
SGI (WS)	1,280 × 1,024	53.5	50				
SUN (WS)		1,152 × 900	71.9	76			
			76.8	72			
			60.9	66			






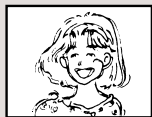
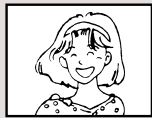
メモ

- 本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型コンピュータからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータ側で液晶表示をオフにして「CRTのみ」モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型コンピュータの取扱説明書に記載されています。
- 本機は640×350 VESA 形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では「640×400」と表示されます。
- RGB形式のインターレース映像信号を本機のINPUT (入力) 1または2に入力して投映するとき、「入力信号タイプ」を「自動」または「RGB」に設定していると、映像信号によってはお客様が意図した映像にならない場合があります。そのような場合は、S映像入力、ビデオ入力をご使用ください。

DTV

入力信号(有効走査線数)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	DVIサポート信号 (HDCP対応)
480I/525I	15.7	60	
480P/525P	31.5	60	✓
540P	33.8	60	
576I/625I	15.6	50	
576P/625P	31.3	50	✓
720P/750P	45.0	60	✓
720P/750P	37.5	50	✓
1035I/1125I	33.8	60	✓
1080I/1125I	33.8	60	✓
1080I/1125I	28.1	50	✓

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない、 またはプロジェクター が始動しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	39
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	●表示させる画面の選択(入力モード)がまちがっていませんか。	47
	●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。	29~38
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	19
	●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	29
 音声は出るが映像が出ない	●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。	29~38
	●映像調整の「明るさ」が「-(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	62
	●ブラックスクリーン画面になっていませんか。	52
 色がうすい、色あいが悪い	●映像調整は、正しく調整されていますか。	62
	<入力1/入力2/入力3のとき> ●入力信号タイプのRGB/色差(コンポーネント)が正しく設定されていますか。 <入力4/入力5のとき> ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	65 76
 映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカス(ピント)は合っていますか。	42
	●投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	24
	<コンピュータ入力のとき> ●同期調整(クロック調整)を行ってください。 ●同期調整(水平位相調整)を行ってください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	68 68 -
	●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。	29~38
 映像は出るが音が出ない	●音量が最小になっていませんか。	48
	●ミュートの機能が働いていませんか。	48
	●メニューの音声調整項目のスピーカーがOFFになっていませんか。	73
	●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。	29~38
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示が点灯する	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	92
本体ボタンで電源を入/待機状態にできない	●キーロックが設定されていませんか。 レベルAまたはBに設定されている場合、すべてのボタンまたは特定のボタンが働きません。リモコンで操作してください。	85
プロジェクター本体とリモコンのボタンがすべて使えない	●スタック設定でスレープに設定し、さらにキーロックレベルをBに設定した場合、プロジェクター本体とリモコンのすべてのボタンは働きません。 リモコンをワイヤード接続して操作してください。	20、84、 85

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1／入力2の色差(コンポーネント)モードで画面が緑がかる	●入力信号タイプが正しく設定されていますか。	65
入力1／入力2／入力3のRGBモードで画面がピンクがかる		
映像が明るすぎて白っぽくなる	●映像調整は、正しく調整されていますか。	62
ファンの音が大きくなる	●内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。	-
電源を入れてもランプが点灯しない	●ランプ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	92
使用中に突然ランプが消灯した		
映像が時々ちらつくことがある	●接続状態や接続機器に問題はありませんか。 ●頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。	29～38 95
電源を入れるとき、ランプが点灯するまで時間がかかる	●ランプは消耗品です。 寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなる場合があります。ランプを交換してください。	95
映像が暗い		

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。正常に動作しないときは、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約5分おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直してください。

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
 - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
 - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。
(6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(103ページ)にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」(100ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	マルチメディアプロジェクター
形名	XG-PH50X (標準ズームレンズ付き) XG-PH50X-N (レンズなし)
お買いあげ日	:(年月日)
故障の状況	:(できるだけ具体的に)
ご住所	:(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前	:
電話番号	:
ご訪問希望日	:

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

便利メモ

お客様へ...
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話 () —

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検



長年ご使用のプロジェクターの点検を！ こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。
- 画面が映ったり、消えたりする。
- 映像が乱れたり、色がきれいに不出ない。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター(沖縄・奄美地区を除く)

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話/PHSでのご利用は	一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は	F A X	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

- ◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にて承っております。

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後5時30分(祝日など弊社休日を除く)

(但し、沖縄・奄美地区)は……*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分(祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(05.04)

仕様

品名	マルチメディアプロジェクター	
形名	XG-PH50X (標準ズームレンズ付き) / XG-PH50X-N (レンズなし)	
表示方式	単板DMD™ 3倍速カラーホイール色分離方式	
パネル	パネルサイズ	0.7 型
	画素数	786,432 (横1024×縦768) ドット
標準ズームレンズ (XG-PH50X標準装備)	1.2倍電動ズーム/フォーカスレンズ F1.8~F2.0 f=25.6mm~31.3mm	
ランプ	250W 2個	
音声出力	3.0W (ステレオ)	
スピーカー	円型 4.5cm 2個	
定格電圧	AC100V~240V	
定格周波数	50/60Hz	
入力電流	6.3A (AC100V時)	
消費電力	AC100V時: 630W (エコモードがOFFの時) / 505W (エコモードがONの時) AC240V時: 600W (エコモードがOFFの時) / 485W (エコモードがONの時)	
消費電力(電源スタンバイ時)	0.75W (AC100V) ~ 1.25W (AC240V) (モニター出力とLAN/RS232Cを使用しない時)	
使用温度範囲	5℃~40℃	
保管温度範囲	-20℃~+60℃	
入力・出力端子	コンピュータRGB/色差(コンポーネント)入力端子 (INPUT1/INPUT2)	RGB分離型アナログ信号/色差(コンポーネント)信号 : 15ピンミニD-sub端子 (INPUT1用) : 5BNC端子 (INPUT2用) : Y1.0Vp-p (75Ω) : Pb0.7Vp-p (75Ω) : Pr0.7Vp-p (75Ω)
	RGBデジタル入力端子 (INPUT3)	DVIデジタル信号(HDCP対応) : DVI端子24ピン
	ビデオ入力端子 (INPUT4)	映像: 1.0Vp-p、75Ω、同期負: RCAピン端子
	S映像入力端子 (INPUT5)	輝度信号入力: 1.0Vp-p、75Ω、同期負: 4ピンミニDINコネクター 色信号入力: 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	音声入力端子 (AUDIO)	音声: 0.5Vrms、22kΩ以上 : φ3.5ステレオミニジャック端子 (INPUT1用、INPUT2/3用) RCAピン端子 (INPUT4/5用)
	RGB出力端子 (OUTPUT)	RGB分離型アナログ信号/色差(コンポーネント)信号 : 15ピンミニD-sub端子 (INPUT1/2用) : Y1.0Vp-p (75Ω) : Pb0.7Vp-p (75Ω) : Pr0.7Vp-p (75Ω)
	音声モニター出力端子 (AUDIO OUTPUT)	音声: 0.5Vrms、2.2kΩ以下 : φ3.5ステレオミニジャック端子 (INPUT1/2/3/4/5用)
RS-232C端子	9ピンD-sub	
LAN端子	8ピンRJ-45モジュラコネクター	
キャビネット	プラスチック	
外形寸法	幅 410mm、奥行 471mm、高さ 180mm (突起部除く)	
質量	XG-PH50X: 14.8kg / XG-PH50X-N: 13.6kg	

お願い

- DMD™素子は非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

C.M.S. (カラーマネージメント) (66ページ)

赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの6色の特性を個別に調整できる機能です。

Pin P (ピクチャーインピクチャー) (74ページ)

コンピュータからの画面の上に、ビデオからの入力映像を子画面で表示することができます。

sRGB (66ページ)

IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「カラー設定」を「sRGB」に設定すると、DLPの特性を考慮した色変換を行い、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。

色温度 (63ページ)

プロジェクターに入力された映像のタイプに合わせて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を表現したいときは、色温度を下げ、温かさ、赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいときは、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調します。

画面サイズ (50ページ)

入力された映像の画質をよくするために、画面サイズを切り換えることができます。「標準」、「フル」、「ドットバイドット」、「ズーム」、「スクイーズ (フル)」、「ワイド」から選択できます。

映像モード (62ページ)

映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。「標準」、「プレゼンテーション」、「シネマ」、「ユーザー設定」から選択できます。

キーストーン補正 (43ページ)

プロジェクターの映像を投映したとき、台形に歪んだ映像をデジタル補正するための機能です。

キーロック (85ページ)

いたずら防止のため、プロジェクター本体のボタン (キー) 操作をロックできます。

クロック (68ページ)

コンピュータ入力時、映像の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

高品位圧縮表示/拡大表示 (98ページ)

解像度が低い、または高い映像を投映する場合、プロジェクターの解像度に合わせて映像の画像サイズを調整します。

システムロック (79ページ)

プロジェクターに設定されたキーコードを入力しないと、信号を入力しても画像を投映できなくなる機能です。

自動同期調整 (70ページ)

コンピュータの画像を最適な状態で投映する機能です。

水平位相 (68ページ)

同じ解像度を保ったまま、走査のタイミングを調整します。水平位相が最適でないとき、横方向のノイズをともなって、映像がチカチカします。

スクイーズ (フル) (51ページ)

16:9のワイド画像を4:3 (縦長サイズ) に圧縮したスクイーズ映像を投映するとき、映像を均一に左右に引き伸ばして、16:9スクリーンいっばいに投映するモードです。

スタック設定 (84ページ)

複数のプロジェクターから同じ映像を同じスクリーンに投映するための設定です。1台のプロジェクターを親機、その他のプロジェクターを子機として設定することで、一括コントロールができます。

縦横比 (50ページ)

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

ドットバイドット (50ページ)

映像をもとの解像度で投映するモードです。

標準 (50ページ)

コンピュータ入力信号の場合

- 投映比率を維持したまま、4:3スクリーンの内側いっばいに画像全体を投映します。

ビデオ入力信号の場合

- 4:3画像を16:9スクリーンの内側いっばいに投映します。(画面の両端がマスクされます。)

プログレッシブ (64ページ)

プログレッシブ変換のモードを選択できます。「2D プログレッシブ」、「3D プログレッシブ」、「フィルム」から選択できます。

無信号時画面 (77ページ)

信号が入力されていないときに投映される初期設定映像です。

レンズシフト (40ページ)

スクリーンの設置場所に合せて、レンズの投映角度を上下左右に動かし、投映位置を補正することができます。

ワイド (51ページ)

4:3の映像を投映するとき、映像の中心部付近の縦横比を維持しながら、周辺部分だけを引き伸ばして、16:9スクリーンいっばいに投映するモードです。

索引

記号英数

4点補正	44
AC電源ソケット	39
ADJ./MOUSE (調整/マウス) 切替スイッチ	20
AUDIO (音声入力1) 端子	29
AUDIO (音声入力2、3) 端子	30
AUDIO (音声入力4、5) 端子	36
AUDIO OUTPUT (音声出力) 端子	38
AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン	70
BLACK SCREEN (ブラックスクリーン) ボタン	52
BREAK TIMER (休憩時間) ボタン	52
C.M.S. (カラーマネージメント) (メインメニュー)	66
DNR	64
Dシフト (デジタルシフト)	75
ENLARGE (拡大/縮小) ボタン	48
ENTER (決定) ボタン	58
FOCUS (フォーカス) ボタン	42
FREEZE (静止画) ボタン	49
H & V LENS SHIFT (縦横レンズシフトボタン)	41
H & V キーストーン	45
INPUT (入力) 1 端子	29
INPUT (入力) 2 端子	30
INPUT (入力) 3 端子	31
INPUT (入力) 4 端子	36
INPUT (入力) 5 端子	36
INPUT (入力切替) ボタン	47
KEystone (キーストーン補正) ボタン	43
LAN/RS232C	86
LAN 端子	37
L-CLICK (左クリック) ボタン	21
MENU (メニュー) ボタン	58
MUTE (ミュート) ボタン	48
ON (電源入) ボタン	39
OSD 表示	75
OUTPUT (FOR INPUT 1, 2) (出力(入力1、2)) 端子	38
P in P (ピクチャーインピクチャー)	74
PICTURE MODE (映像モード) ボタン	49
RESIZE (画面サイズ切替) ボタン	50
R-CLICK (右クリック) ボタン	21
RGB ケーブル	29
RS-232C	86
RS-232C 端子	37
sRGB	66
STANDBY (スタンバイ) ボタン	39
UNDO (戻す) ボタン	58
VOLUME (音量) ボタン	48
WIRED R/C JACK (ワイヤードリモコン) 端子	20
WIRED REMOTE (ワイヤードリモコン) 端子	20
ZOOM (ズーム) ボタン	42

ア行

アジャスター	41
一覧 (メインメニュー)	89
イメージリサイズ	46
色温度	63
映像信号方式	76
映像調整 (メインメニュー)	62
映像モード	62
エコモード	78
オープニング画面設定	77
オプション (1) (メインメニュー)	74
オプション (2) (メインメニュー)	82
音声出力	72
音声調整 (メインメニュー)	72
温度モニター表示	92

カ行

カーソルボタン	58
画面サイズ	50
画面取込み	76
カラー設定	66
簡単スタック	85
キャリングハンドル	15
キーストーン補正	43
キーロックレベル	85
クロック	68
言語選択 (メインメニュー)	89
高品位圧縮表示/拡大表示	98

サ行

サービスモード	88
システムロック	79
自動同期調整	70
自動入力サーチ	78
縦横比	50
白伸長	63
ズーム (画面サイズ)	51
水平位相	68
スクイーズ (フル) (画面サイズ)	51
スタック設定	84
スピーカー	73

タ行

通風孔	91
電源コード	39
電源表示	16
投映方式	84
同期調整 (メインメニュー)	68
盗難防止用コネクター	17
特殊モード	69
ドットバイドット (画面サイズ)	50

ナ行

入力1~5モード	47
入力信号確認	70
入力信号タイプ	65
入力設定	86

ハ行

パスワード	82
標準 (画面サイズ)	50
プログレッシブ	64

マ行

マウスボタン	21
無信号時画面	77
無信号時自動電源オフ	79
メモリー選択	69
メモリー保存	68
モニター出力	87

ラ行

ランプ	94
ランプ時間 (残率)	83
ランプ表示 1、2	92
ランプモード	83
ランプユニットカバー	95
リモートマウスレシーバー	21
リモコン	19
リモコン受信部	19
レンズキャップ	15
レンズシフト	40

ワ行

ワイド (画面サイズ)	51
-------------	----

● 製品についてのお問い合わせは…

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…

[103ページ](#)記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地